

平成 26 年度

(第 41 期)

事業報告書

作成日：平成 27 年 5 月 20 日

自 平成 26 年 04 月 01 日

至 平成 27 年 03 月 31 日

社会福祉法人 さつき会

1 全体総括

(1) はじめに

第三期中期経営 3 か年計画（2013～2015）の二年目の年である平成 26 年度の当法人事業活動は、年初に掲げた 6 つの重点目標、1）個人が尊厳を持って、自立した生活が送れるように支援する、2）常に、相手の立場に立ち、安心かつ安全な生活が送れるように支援する、3）一人ひとりがプロ意識を持ち、利用者と組織に求められる人材となる努力と、その育成に努める、4）チームの目標実現のために、チーム一丸となる、5）地域住民・家族・関係機関との協働による施設運営に努める、6）法令遵守と適正利益の確保を図り、効率的・安定的な経営の努める、ことを柱に年度事業計画にそって各事業所・委員会等の活動を中心に積極的に実施され、概ね順調に遂行された。以下にその概要を報告する。

(2) 法人経営

社会福祉法人さつき会は、法人設立後、これまで 41 年間にわたり、「地域の福祉ニーズに柔軟に 대응する」ことを使命として、「利用者本位」の原則の下、社会福祉事業を経営してきた。特に、平成 12 年度以降は社会福祉構造改革や介護保険制度の導入を機に、経営環境の変化に柔軟に適応する経営基盤と自立的な経営を確立することを主眼に経営改革に傾注してきた。

この間、関係行政並びに地域の皆様の積極的なご支援、ご協力も得て、利用者・職員・組織ともに満足できる人づくり・組織づくりをビジョンに掲げ、「ケアと経営」「心と仕組み（システム）」の両立を大切にしながら、より良いケアの提供と働きがいのある職場づくりに努めてきた。

本年度は、デイセンター・ヘルパーステーション・小規模多機能ホームの運営改善、重度化・重症化リスクへの早期対応、総合職への積極的な登用、現任職員研修の充実、面談制度の推進の実施を重点的に取り組んだ。結果、職員の専門技術と多職種によるチームケアの向上により、入院者の減少と稼働率の安定が図られた。また、職場環境を一因にあげ退職した者の離職率は 8.7%（前期 8.9%）となり、これまでの「人材の確保と育成」の取り組みの成果が持続できている。

一方、積み残した課題も多く、適正利益確保の未達をはじめ、階層別研修制度の体系化、月次業績の分析・対応は、いずれも未着手・不十分な結果にとどまった為、次年度の重点課題として取り組む所存である。

(3) 施設運営

本年度は、「中重度者に対する良質高度なケアとケアマネジメントの提供」「個に根ざした自立支援介護」「住民参加型地域包括ケアの推進」を重点課題と位置づけ、部門毎の活動計画に基づき、現場職員が主体となってケアとサービスの質向上に努めることができた一年であった。

具体的には、全事業所における基礎介護力向上研修の実施、施設・自宅での積極的な終末ケア、利用者・家族の声を大切にするための満足度調査、職員の教育・サポート体制の充実、家族・地域住民との協働による行事・活動の推進などに取り組んだ。

一方、スタッフの不注意による誤投薬・転倒、介護報酬請求事務の誤り等、安全対策と業務の標準化への組織的対応が不十分であるが故の出来事と反省し、次年度の最重点課題となった。

来年度は第三期・中期経営 3 か年計画の最終年の年。現・中期経営計画の総括と新・中期経営計画を策定し、今後も「高齢者の自立した尊厳ある人間らしい生活を守る」ための福祉サービスの安定的・継続的に提供と、利用者・職員・組織がともに満足できる施設運営に努める。

2 部門別事業実績（概要）

（単位：円）

事業名 （課）	事業（課）の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
法人本部	理事会・評議員会の運営 内部監査の実施 法人全体の企画・調整 各施設・事業所の経営及び統括 経営企画に関する諸会議の運営 許認可・申請事務 特命事項 職員の教育・研修 実習、研修等の受入・調整 デイ・なごみ・えんの給食管理・実務 ボランティア・家族会の運営 地域包括支援センターへの人材派遣	—	3	理事会 6回(3) 評議員会 2回(2) 監事監査 4回(3) 経営改善会議 34回(43) 全体職員会議・研修 2回(3) 実習受入(実件数) 10件(8) (延べ人数) 208人(260) 行事食 84回(86)	12,090,494 (11,238,315)
総務課	総務・人事・会計の管理・実務 施設運営の企画 施設設備の維持管理 施設内の衛生管理 他部署に属さない業務	—	9	施設整備 2件(2) 総事業費 17,163,770 (3,225,075) 設備整備 2件(1) 総事業費 5,237,266 (1,720,740)	—
介護老人福祉施設事業	要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	50名	37	新規入居者 男5名(1)、女7名(3) 計12名(4) 退居者 男4名(2)、女10名(2) 計14名(4) ベッド稼働率 97.0%(98.4%) 入居待機者 53名(44)	9,274,082 (16,679,563)
短期入所生活介護事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしりを介護されている家族が、介護疲れ、病気、事故などにより、一時的に介護することができなくなった場合に、一定期間そのおとしりに特別養護老人ホームに入居していただき、家族の介護負担の軽減に努めた。	10名		実利用者数 50名(40) 実件数 193件(237) 延利用者数 1,969名(2,499) 一日平均 5.4名(6.8) ベッド稼働率 62.6%(85.6%)	▲1,682,905 (1,420,431) 生きがいショート委託費 448,290 (434,750)
通所介護事業 （はびねす）	在宅のねたきり、認知症及び虚弱等の要介護等認定者に対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消、4)家族の介護負担の軽減を図るために通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護、日常生活の相談・助言を行うことで要介護等状態の悪化予防に努めた。	30名	11	開催日数 309日(309) 実利用者数 118名(90) 延利用者数 6,028名(5,654) 新規利用者 42名(16) 週6日開館、1日平均18.9名(18.3) 稼働率 63.2%(61.0%)	▲1,249,343 (▲5,118,628)
認知症対応型 共同生活介護事業	認知症により在宅での生活が困難な方に対して、グループホームにおいて「自立と尊厳を支え」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう「利用者中心」の生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	18名	21	新規入居者 男2名(0)、女2名(3) 計4名(3) 退居者 男0名(1)、女5名(2) 計5名(3) ベッド稼働率 97.4%(99.0%) 入居待機者 11名(10)	▲46,374 (4,396,009)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (なごみの家)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりが できる限り住み慣れたわが家で暮らし が続けられるように、可能な限り自宅 やそれに替わる場所において「普通の暮 らし」が営めるような環境と継続的・総 合的なケアを提供するため、日々の「通 い」を中心に、本人の心身状態と家族 の状況に応じて、「訪問」や一時的な 「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合 的なケアの提供に努めた。	(通い) 12名 (泊まり) 6名 (訪問) 一名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 19.8名(16) 実利用者数 27名(26) 延利用者数 3,841名(2,765) 新規利用者 11名(9) 停止者 9名(10) 1日平均 10.5名(7.6) 稼働率 83.8%(63.2%) 実利用者数 20名(9) 延利用者数 1,584名(1,027) 1日平均 4.3名(2.8) 稼働率 71.6%(52.1%) 実利用者数 8名(8) 延利用者数 983名(545) 1日平均 2.7名(1.5)	▲1,862,424 (▲10,146,094)
訪問介護事業	在宅で虚弱、ねたきり、認知症のおとし より等の要介護等認定者および難病患者 の家庭等に対して、自立とより質の高 い在宅生活の継続が図られるよう、生活 援助、身体介護、相談・助言を主とする 生活支援サービスの提供に努めた。	—	9	派遣世帯数 67名(52) 訪問延回数 5,934回(4,386) 活動延時間 5,872時間(3,268) 内、生きがいヘルプ 136(109) 内、難病患者ヘルプ 0(0) 新規利用者 26名(14)	2,971,271 (▲1,265,034) 生きがいヘルプ委託費 399,840 (319,370) 難病患者ヘルプ委託費 0 (0)
居宅介護支援事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のお としよりが「住み慣れた自宅で最後まで 暮らし続けることができるよう」、本人及 び家族のニーズに即したケアプランを 作成するとともに、ケアプランに基づく 各種サービスや社会資源が確保・活用 されるよう事業者・関係機関との連絡調 整に努めた。	—	4	月平均利用者数 介護 100.1名(95.8) 予防 18.8名(21.5) 計 118.8名(117.3) 新規利用者 64名(37) 停止者 49名(28) 入院者延べ人数 65名(95)	2,739,074 (2,660,980)
ユニット型地域密着型 介護老人福祉施設事業	鷹栖町在住の要介護と認定された、ね たきり、認知症等により在宅での生活が 困難な方に対して、施設において「自 立」と「生活の質の向上」を図りながら、 快適で安心して生活できるよう生活援 助・ケアサービスの提供に努めた。	20名	22	新規入居者 男 2名(0)、女 2名(4) 計 4名(4) 退居者 0男名(1)、女 5名(4) 計 5名(5) ベッド稼働率 96.8%(96.7%) 入居待機者 21名(22)	6,110,852 (6,714,395)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (ぬくもりの家えん)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりが できる限り住み慣れたわが家で暮らし が続けられるように、可能な限り自宅 やそれに替わる場所において「普通の暮 らし」が営めるような環境と継続的・総 合的なケアを提供するため、日々の「通 い」を中心に、本人の心身状態と家族 の状況に応じて、「訪問」や一時的な 「泊まり」を組み合わせて、継続的・総 合的なケアの提供に努めた。	(通い) 12名 (泊まり) 4名 10月 から 5名 (訪問) 一名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 18名(18) 実利用者数 32名(21) 延利用者数 3,131名(3,154) 新規利用者 15名(5) 停止者 16名(6) 1日平均 8.6名(8.6) 稼働率 70.3%(72.1%) 実利用者数 21名(11) 延利用者数 1,499名(1,294) 1日平均 4.1名(3.6) 稼働率 80.8%(78.5%) 実利用者数 8名(4) 延利用者数 307名(94) 1日平均 0.8名(0.2)	▲2,923,953 (▲10,685,357)
移送サービス事業	心身の障がい・病気により、ねたきりや、 車いす上で生活されている方が、通院 等の理由により外出しなければならな く、一般の車両への乗降が難しい時 に、さつき苑に配置されている寝台、若 しくは車いすのまま乗り込むことがで きる専用車両で、自宅から目的地まで の送迎を行い、利用者の外出支援に努 めた。	—	—	実利用者数 5件(5) 延利用件数 123件(35) (内訳…町内18件、町外105件)	588,000 (175,000) 委託費収入のみ
(生きがいデイサービス) 介護予防事業	在宅の介護認定非該当の虚弱なおとし よりに対して、1)自立生活の助長、2)心 身機能の維持向上、3)社会的孤立感の 解消を図るため、デイセンター(はびね す)に通所して頂き、入浴・食事・送迎 サービス、趣味・レク活動、健康チェッ ク、養護等のサービスを提供し、要介護 状態にならないように努めた。	—	—	実利用者数 0名(2) 延利用者数 0名(6) 新規利用者 0名(2)	0 (36,000) 委託費収入のみ

※1 職員数に施設長・副施設長は含めず

※2 実績及び事業活動収支差額欄の()内は前年度実績

3 業績の状況

(1) 介護保険収入の目標対比

(単位:円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	16,891,000	17,397,187	506,187	103.0%
小 計	16,891,000	17,397,187	506,187	103.0%
介護老人福祉施設事業	206,250,000	200,319,036	▲ 5,930,964	97.1%
短期入所生活介護事業	22,240,000	20,037,666	▲ 2,202,334	90.1%
小 計	228,490,000	220,356,702	▲ 8,133,298	96.4%
訪問介護事業	14,047,000	19,572,611	5,525,611	139.3%
通所介護事業(はびねす)	48,532,000	49,052,840	520,840	101.1%
居宅介護支援事業	17,583,000	18,405,200	822,200	104.7%
小 計	80,162,000	87,030,651	6,868,651	108.6%
認知症対応型共同生活介護事業	77,756,000	77,544,015	▲ 211,985	99.7%
小規模多機能型事業(なごみの家)	30,578,000	39,374,977	8,796,977	128.8%
小 計	108,334,000	116,918,992	8,584,992	107.9%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	86,069,000	84,742,719	▲ 1,326,281	98.5%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	33,898,000	37,569,154	3,671,154	110.8%
小 計	119,967,000	122,311,873	2,344,873	102.0%
合 計	553,844,000	564,015,405	10,171,405	101.8%

※ 法人本部は経常収入計

(2) 介護保険収入の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成25年度 (A)	平成26年度 (B)	差異 (B) - (A)	伸長率 (B) / (A)
法人本部	16,535,046	17,397,187	862,141	105.2%
小 計	16,535,046	16,535,046	0	100.0%
介護老人福祉施設事業	206,310,127	200,319,036	▲ 5,991,091	97.1%
短期入所生活介護事業	24,101,062	20,037,666	▲ 4,063,396	83.1%
小 計	230,411,189	230,411,189	0	100.0%
訪問介護事業	14,186,241	19,572,611	5,386,370	138.0%
通所介護事業(はびねす)	47,047,186	49,052,840	2,005,654	104.3%
居宅介護支援事業	17,571,680	18,405,200	833,520	104.7%
小 計	78,805,107	78,805,107	0	100.0%
認知症対応型共同生活介護事業	77,911,670	77,544,015	▲ 367,655	99.5%
小規模多機能型事業(なごみの家)	28,004,654	39,374,977	11,370,323	140.6%
小 計	105,916,324	105,916,324	0	100.0%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	84,707,425	84,742,719	35,294	100.0%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	27,830,848	37,569,154	9,738,306	135.0%
小 計	112,538,273	122,311,873	9,773,600	108.7%
合 計	544,205,939	564,015,405	19,809,466	103.6%

※ 法人本部は経常収入計

(3) 収支差額の目標対比

(単位:円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	135,000	335,000	200,000	248.1%
小 計	135,000	335,000	200,000	248.1%
介護老人福祉施設事業	9,713,000	6,920,332	▲ 2,792,668	71.2%
短期入所生活介護事業	▲ 1,269,000	▲ 2,193,315	▲ 924,315	172.8%
小 計	8,444,000	4,727,017	▲ 3,716,983	56.0%
訪問介護事業	▲ 2,323,000	2,538,271	4,861,271	-109.3%
通所介護事業(はびねす)	▲ 3,585,000	▲ 1,581,924	2,003,076	44.1%
居宅介護支援事業	3,588,000	2,641,489	▲ 946,511	73.6%
小 計	▲ 2,320,000	3,597,836	5,917,836	-155.1%
認知症対応型共同生活介護事業	1,379,000	802,447	▲ 576,553	58.2%
小規模多機能型事業(なごみの家)	▲ 2,799,000	1,416,722	4,215,722	-50.6%
小 計	▲ 1,420,000	2,219,169	3,639,169	-156.3%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	5,174,000	2,862,604	▲ 2,311,396	55.3%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	▲ 2,528,000	1,348,439	3,876,439	-53.3%
小 計	2,646,000	4,211,043	1,565,043	159.1%
合 計	7,485,000	15,090,065	7,605,065	201.6%

※ 収支差額は積立預金への積立前の額

(4) 収支差額の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成25年度 (A)	平成26年度 (B)	差異 (B) - (A)	伸長率 (B) / (A)
法人本部	125,000	335,000	210,000	268.0%
小 計	125,000	125,000	0	100.0%
介護老人福祉施設事業	14,919,768	6,920,332	▲ 7,999,436	46.4%
短期入所生活介護事業	941,015	▲ 2,193,315	▲ 3,134,330	-233.1%
小 計	15,860,783	15,860,783	0	100.0%
訪問介護事業	▲ 1,566,021	2,538,271	4,104,292	-162.1%
通所介護事業(はびねす)	▲ 5,409,138	▲ 1,581,924	3,827,214	29.2%
居宅介護支援事業	2,250,411	2,250,411	0	100.0%
小 計	▲ 4,724,748	3,597,836	8,322,584	-76.1%
認知症対応型共同生活介護事業	6,049,335	802,447	▲ 5,246,888	13.3%
小規模多機能型事業(なごみの家)	▲ 6,677,461	1,416,722	8,094,183	-21.2%
小 計	▲ 628,126	▲ 628,126	0	100.0%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	3,762,957	2,862,604	▲ 900,353	76.1%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	▲ 6,234,087	1,348,439	7,582,526	-21.6%
小 計	▲ 2,471,130	4,211,043	6,682,173	-170.4%
合 計	8,161,779	15,090,065	6,928,286	184.9%

※ 収支差額は積立預金への積立前の額

1. 総括

平成 26 年度は、高齢者住宅の整備検討を進めるとともに、地域包括ケアシステムの実現を目指した取組を推進した。特に、地域包括ケアシステムの実現を目指した取組として、法人内で立ち上げた地域包括ケア推進チーム研究会での検討は、法人内の横の繋がりを強固なものとし、「住み慣れた地域で暮らし続けられる」ことの実現に大きな成果を残すことができた。

また、昨年度に引き続き、福祉系養成校の介護実習受入を積極的に行い、介護人材の養成に少なからず貢献できたものと思っている。

人材育成の面では、昨年度から実施した「総合職昇格試験」を継続して実施し、介護スタッフのレベルアップ、モチベーションアップに一定の成果を上げることができた。

また、4 回目の開催となった「サービス向上発表会」は、職員の中に定着しつつあり、比較的早い時期から準備を始める部署もあった。まじめなテーマにまじめに取り組みなながらも発表会を楽しむという雰囲気が出てきた。定着しつつある当発表会を地域の関係者や養成校の教員・学生等に発信していくためのステップとして、今回は木津理事長のほか当法人の監事、評議員にもご臨席いただくことができた。

一方で、取り組みが不十分だったものや成果を残すことができなかったものもあった。特に、4 年連続で開催してきた「サービス向上発表会」を開催できなかったことは大きな反省点である。複数の事業所にスタッフの欠員が生じていたことも開催できなかった理由の一つではあるが、早い段階からの周知ができなかった等事務局側の準備不足も大きな要因であった。

資格取得への支援については、介護支援専門員を受験する職員に対する支援が不十分であったため、平成 26 年度は合格者 3 名という低い合格率となってしまった。

その他にも取り組みが不十分だったもの等については、次年度の課題である。

2. 次年度に向けて

平成 27 年度は、高齢者住宅の整備検討とともに地域包括ケア推進チーム研究会の取組を継続し、鷹栖町における地域包括ケアの実現を更に進めていく。

また、平成 26 年度に開催できなかった「サービス向上発表会」を開催し、現場の取り組みを多くの方に知ってもらえるよう、法人の役員や評議員だけでなく、地域の関係者や養成校の教員・学生等にも案内する。

介護人材の養成及び地域への貢献という点では、福祉系養成校の介護実習受入とともに、平成 27 年度から鷹栖町が実施する介護職員初任者研修への講師派遣と実習施設の提供を行っていく。

3. 運営状況・統計資料

(1) 理事会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	26.4.24(木) 18:30～19:00	議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 常務理事の指名について 議案第3号 職務代理者の指名について	理事 6 名 監事 2 名
2	26.5.24(土) 16:30～17:30	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成 25 年度事業報告並びに決算報告について (監事監査の結果を含む) 議案第1号 平成 26 年度第 1 次補正予算 (案) について	理事 6 名 監事 2 名
3	26.8.25(月) 18:30～21:00	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成 26 年度第 1 四半期業績報告及び収支報告について (監事監査の結果を含む) 議案第1号 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑浴室改修工事について	理事 5 名 監事 2 名
4	26.9.27(土) 18:30～21:00	議案第1号 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑浴室改修工事に係る入札 結果及び工事請負契約締結について	理事 6 名 監事 2 名
5	26.11.22(土) 16:00～18:00	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 平成 26 年度第 2 四半期の業績報告並びに収支報告について 報告第3号 第 3 回監事監査報告について 議案第1号 鷹栖町特別養護老人ホーム連携型高齢者福祉あんしん住宅 整備計画 (案) について 議案第2号 鷹栖町特別養護老人ホーム連携型高齢者福祉あんしん住宅 整備計画に係る資金計画 (案) について 議案第3号 制服の導入について 議案第4号 平成 26 年度第 2 次補正予算 (案) について 議案第5号 小規模多機能ホームぬくもりの家えんスプリンクラー設置 工事について	理事 6 名 監事 2 名
6	27.2.16(月) 18:30～18:50	議案第1号 小規模多機能ホームぬくもりの家えんスプリンクラー設置 工事に係る入札結果及び工事請負契約締結について	理事 4 名 監事 2 名
7	27.3.28(土) 14:00～15:25	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 平成 26 年度 第 3 四半期業績報告並びに収支報告について 報告第3号 平成 26 年度 第 4 回監事監査の結果について 議案第1号 平成 26 年度 最終補正予算 (案) について 議案第2号 平成 27 年度 経営(事業)計画並びに当初予算(案)について その他 平成 27 年度 介護保険法改正・介護報酬改定について	理事 5 名 監事 2 名

(2) 評議員会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	26.5.24(土) 15:00～16:30	報告第1号 平成25年度事業報告並びに決算報告について (監事監査の結果を含む) 議案第1号 平成26年度第1次補正予算(案)について	評議員10名 監事2名
2	26.11.22(土) 14:30～15:55	議案第1号 鷹栖町特別養護老人ホーム連携型高齢者福祉あんしん住宅 整備計画(案)について 議案第2号 鷹栖町特別養護老人ホーム連携型高齢者福祉あんしん住宅 整備計画に係る資金計画(案)について 議案第3号 制服の導入について 議案第4号 平成26年度第2次補正予算(案)について 議案第5号 小規模多機能ホームぬくもりの家えんスプリンクラー設置 工事について	評議員11名 監事2名
3	27.3.28(土) 15:40～16:20	議案第1号 平成26年度 最終補正予算(案)について 議案第2号 平成27年度 経営(事業)計画並びに当初予算(案)について その他 平成27年度 介護保険法改正・介護報酬改定について	評議員10名 監事2名

(3) 監査等の実施状況

① 監事監査

回	期 日	主な監査実施項目	監査実施者
1	26.5.16(金) 15:00～17:00	平成25年度経過報告について 平成25年度事業報告について 平成25年度決算報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
2	26.8.20(水) 15:00～17:00	平成26年度第1四半期業績報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
3	26.11.18(火) 15:00～17:00	平成26年度第2四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
4	27.3.25(水) 15:00～17:00	平成26年度第3四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名

② 社会福祉施設指導監査等

実施日	対象事業所等	主な点検項目	監査実施者
26.10.27	・法人本部 ・特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	(社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査) ・法人運営管理 ・会計基準 ・老人福祉施設運営管理・施設入所者処遇	5名(上川総合振興局保健環境部社会福祉課)
26.10.27	・介護老人福祉施設鷹栖さつき苑	(介護保険施設等実地指導) ・人員に関する基準及び勤務態勢の確保 ・身体拘束の廃止及び高齢者虐待の防止 ・介護報酬の算定及び取扱い 等	上記の内3名

③ 社会福祉等給食施設調査指導

期 日	対象事業所	主な点検項目	監査実施者
実施なし			

(4) 資格保有・取得状況

	福祉住環境コーディネーター2級	2級ヘルパー(介護職員初任者研修含む)	社会福祉主事	准看護師	看護師	保健師	介護支援専門員	管理栄養士	介護福祉士	社会福祉士
正職員	2	24	18	0	7	2	26(3)	1	64(1)	5
パート職員	0	25	4	2	3	0	0	0	17(1)	0
計	2	49	22	2	10	2	26(3)	1	81(2)	5

注：平成27年3月31日現在の在籍者、()内は平成26年度取得者（登録済）分を再掲。

(5) 諸会議

① 経営改善会議

開催日時	目 的	出席者	開催実績
毎週水曜日 10:00～11:00	安定的かつ効率的な施設・事業所経営を図るため、経営・運営上における課題や重要事項について協議・決議することを目的とする。	施設長 副施設長 介護部長 各課長	34回

②財政健全化推進チーム・地域包括ケア推進チーム研究会

開催日時	目 的	出席者	開催実績
毎月第 4 水曜日 9:00～12:00	・収入と支出のバランスが取れた安定的な財政構造の実現を図るために必要な推進（計画策定・実行・評価）を行う。 ・新たな地域ケア（地域包括ケア）に取り組むために必要な事業所の運営改善を図る。	施設長 副施設長 介護部長 各課長 各主任	10 回

③ 職員全体研修・会議

開催日時	目 的	出席者	開催実績
①全体研修 26. 10. 29・31	感染症予防を目的とした研修を開催した。 【実施内容】（ ）内は対象者・講師 ・感染症予防研修（全職員：稲井幸子、谷水さおり、藤川朋恵）	全職員	全体研修 2 回 全体会議 2 回
②全体会議 26.4.17・22	法人として職員全体に伝達すべき重要事項がある場合に適宜開催する。 【実施内容】 ・平成 26 年度経営（事業）計画・収支予算について ・給与規程の一部改正について		

④サービス向上発表会開催内容

発表事業所（発表順）	発表テーマ	発表者	審査結果
未実施			

（６）広報誌の発行（町内全戸配布）

回	発行年月日	主 な 内 容	頁数	発行部数	費用(円)
1	平成 26 年 5 月 1 日 Vol.71	①第 4 回サービス向上発表会 ②平成 25 年度経営（事業）計画書第 40 期 ③事業計画（部門計画）④組織機構図 ⑤各事業所満足度調査 ⑥ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・編集後記 ⑦スタッフインタビュー	18	3,000	226,710
2	平成 26 年 7 月 1 日 Vol.72	①お花見だよ「全員集合」 ②2014 年チャレンジデー ③各事業所行事紹介 ④大成老人会の皆様 花壇の整備と花植え ⑤さつき祭予告 ⑥ボランティア ⑦平成 25 年度 財産目録・貸借対照賞・資金収支計算書・事業活動収支計算書 ⑧新任職員紹介 ⑨ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・編集後記 ⑩第 4 回よいあいさつ大賞	12	3,000	164,003
3	平成 26 年 9 月 1 日 Vol.73	①第 27 回さつき祭 ②なごみの家出来事 ③ぬくもりの家えんの出来事④デイサービスセンターはびねす夏祭り ⑤ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・新任職員紹介・編集後記 ⑥栄養士のヘルシーレシピ	8	3,000	138,240

回	発行年月日	主 な 内 容	頁数	発行部数	費用(円)
4	平成 26 年 11 月 1 日 Vol.74	①第 25 回新秋祭 ②各事業所秋特集 ③第 34 回老人福祉施設研究発表会 ④ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・新任職員紹介・編集後記 ⑤祝長寿者紹介写真	8	3,000	138,240
5	平成 27 年 1 月 1 日 Vol.75 全頁オールカラー	①年頭挨拶 ②全職員顔写真紹介 ③特集デイサービスセンターはびねすりハビリマシーン増設 ④実習生インタビュー ⑤ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・新任職員紹介・編集後記 ⑥スタッフインタビュー	12	3,000	180,440
6	平成 27 年 3 月 1 日 Vol.76	①鷹栖さつき苑新年会 ②各事業所お正月の様子 ③鷹栖ライオンズクラブ主催『昼食会』～感謝と敬愛の念をとどけ～ ④地域のお茶の間 茶話会 ⑤各事業所節分 ⑥ボランティア・寄贈・寄付金・お誕生日・新入居者紹介・編集後記 ⑦スタッフインタビュー	8	3,000	138,240
			計	18,000	985,873

(7) 実習生等受入状況

実習日程	人数	実習名	実習生所属学校等
6 月 30 日～7 月 5 日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 専攻科 福祉専攻
7 月 28 日	4	認知症介護実践者研修他施設実習	北海道 GH 協認知症介護実践者研修
9 月 1 日～10 月 4 日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 生活学科 生活福祉専攻 2 年
9 月 2 日～9 月 4 日	3	職場実習	北海道鷹栖高等学校
10 月 14 日～10 月 16 日	1	認知症介護実践リーダー研修他施設実習	北海道 GH 協主催 (北海道デイ協共催) 認知症介護実践リーダー研修
11 月 11 日、13 日、17 日	6	鷹栖町役場新任職員「町内福祉施設体験実習」	鷹栖町役場
10 月 8 日～10 月 9 日	6	職場体験学習	鷹栖中学校 2 年生
11 月 4 日～12 月 1 日	3	介護実習	旭川大学短期大学部 専攻科 福祉専攻
2 月 9 日～3 月 7 日	1	介護実習	旭川大学短期大学部 生活学科 生活福祉専攻 1 年
延べ人数	199		

(8) 苑外研修・会議参加状況

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
4	11	平成 26 年度第 1 回喀痰吸引等研修実施委員会	札幌市	施設長
	14	道北老施協監事監査	旭川市	施設長
	30～5/1	デイサービス運営改善研究会	茨城県	施設長、谷、藤川
5	9	道北老施協幹事会・定期総会	旭川市	施設長
	15	鷹栖社協理事会	鷹栖町	施設長

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
6	1	認知症専門医から学ぶ周辺症状に振り回されない認知症ケア 1・2	札幌市	西江、畑山、佐々木彰
	6	道老施協第1回研修委員会・実行委員会	札幌市	施設長
	11～12	介護支援専門員更新研修	旭川市	秋保
	11～12	新任介護職員研修	札幌市	藤原、畠山、西江
	18	社会保険算定基礎届事務講習会	旭川市	佐藤健
	24	道老施協第1回正副会長会議・幹事会	札幌市	施設長
7	8～9	道北地区老人福祉施設協議会事務職員研修会	美深町	大庭
	10～11	全道老人福祉施設研究大会	札幌市	施設長
	10～11	新任介護職員研修	旭川市	小野友、吉田、佐藤雪、茂田、岡本、常田、宮原、加藤
	17	北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会	札幌市	施設長
	22～25	認知症実践者研修施設実習	旭川市	室橋、柳原
	29	道北老施協栄養士調理員研修会(東神楽町、鈴木さ、已上)、	東神楽町	鈴木さ、已上
	30～31	地域包括ケア研究会事務局会議	東京都	施設長
	31	鷹栖社協監査	鷹栖町	施設長
8	1	鷹栖社協監事監査	鷹栖町	施設長
	2	経営管理セミナー	札幌市	施設長
	5～6	フロイデ総合サポートセンター視察研修	茨城県	谷口、中山、松原
	9	地域包括ケア・地域リハビリ研修会	札幌市	施設長
	18～19	管理者研修	旭川市	菅原景、設楽
	21～22	介護支援専門員更新研修	旭川市	秋保
9	2～4	介護支援専門員更新研修(旭川市～4日、尾上、秋保)、	旭川市	秋保、尾上
	4～5	新任職員介護研修	札幌市	大倉、伊藤玲、長多、林
	5～8	第10回全国高齢者ケア研究会・第3回全国地域包括ケア研究会 in 鳥取米子	鳥取県	施設長、尾上、河田
	10	相談員研修	鷹栖町	尾上
	16	社会福祉施設管理・運営セミナー	札幌市	施設長
	16	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	旭川市	副施設長
	19	キャリア段位制度アセッサー集合講習	札幌市	谷本、秋保
	29～30	老人福祉施設研究発表会	札幌市	施設長、鈴木さ、菅原景、坂原、谷水、佐々木彰
	30	道老施協第2回研修委員会	札幌市	施設長

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
10	2	上士幌すずらん荘見学研修	上士幌町	尾上、米澤
	3	鷹栖社協理事会	鷹栖町	施設長
	7	上川管内老施協役員会	剣淵町	施設長
	10～11	認知症介護指導者会議・研修会	札幌市	施設長
	20	北海道高齢者虐待防止推進研修会	札幌市	秋保
11	3～4	平成 26 年度老人福祉施設管理者スキルアップ講座-四恩園視察研修	札幌市他	施設長、部長、尾上、秋保、谷
	7	地域ケア策定委員会	鷹栖町	尾上
	12	福祉施設のためのリスクマネジメント研修	旭川市	大庭
	14	鷹栖町危安協懇談会	鷹栖町	大庭
	14	道北老施協総会・施設長研修	旭川市	施設長
	15～16	介護福祉士実習指導者特別研修	札幌市	谷口、設楽
	18	行政改革委員会	鷹栖町	施設長
	25	年末調整説明会	旭川市	佐藤健
	26	地域福祉計画策定委員会	鷹栖町	尾上
	26	平成 26 年度社会福祉法人・社会福祉施設経理取扱実務研修会	札幌市	大庭、佐藤健
	29～30	介護福祉士実習指導者特別研修	札幌市	谷口、設楽
12	3～5	主任ケアマネ研修(前期)	札幌市	伊賀
	5	平成 26 年度ブロック老施協正副会長会議	札幌市	施設長
	5	安全運転管理者講習	旭川市	山内
	8	モチベーション向上セミナー	札幌市	古屋、藤原
	11	くもん全国育成士&管理者研修	旭川市	林崎、高橋拓
	15	道老施協介護力向上研修会事務局会議	札幌市	施設長
	16	道老施協介護力向上研修会	札幌市	施設長
	16～17	平成 26 年度法人役員・施設長専門研修	札幌市	前井監事、大庭
	18	鷹栖社協理事会	鷹栖町	施設長
1	15	鷹栖町介護保険策定審議会	鷹栖町	副施設長
	15	道老施協主催老人福祉施設長研究セミナー	札幌市	施設長、谷本、尾上、秋保
	15～17	主任ケアマネ研修(中期)	札幌市	伊賀
	19	地域福祉実践会議	鷹栖町	尾上
	29	鷹栖町介護保険事業計画策定会議	鷹栖町	副施設長
	29～30	道デイ協主催北海道デイサービスセンター施設長研修	札幌市	施設長、谷

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
2	1～4	第6回全国先端ケア研究会in静岡沼津	静岡県	施設長、谷本、鈴木さ、已上、佐々木 彰、佐久間、設楽
	3～5	介護支援専門実務研修	旭川市	米澤、松原、藤川
	12	鷹栖町介護保険策定会議	鷹栖町	副施設長
	24	道デイ協第1回認知症介護実践研修推 進委員会	札幌市	施設長
	28	地域在宅医療推進講座	旭川市	佐々木恵子、河田、伊賀、坂林
3	3～5	介護支援専門実務研修	旭川市	米澤、松原、藤川
	4	かみかわユニットケア、サテライトケア研 究会実践発表セミナー	旭川市	施設長、副施設長、部長、尾上、鈴木 さ、後山、西太輔、谷水、松本
	4	新会計基準決算処理説明会	旭川市	山内政
	4	Docuworks 説明会	旭川市	山内政
	4～6	介護支援専門員実務研修	札幌市	山本忠
	9～11	主任ケアマネ研修(後期)	札幌市	伊賀
	10	鷹栖社協役員協議会	鷹栖町	施設長
	13	鷹栖社協役員協議会	鷹栖町	施設長
	13	地域福祉策定会議	鷹栖町	尾上
	19	認知症介護実践研修等新カリキュラム 説明会	札幌市	施設長
	24	危安協役員会	鷹栖町	大庭
	27	介護事業計画策定審議会	鷹栖町	副施設長
				延べ 148 名

平成 26 年度 法人本部（給食部門）事業報告

1. 総括

H26 年度は（1）美味しく楽しめる食事の提供、（2）衛生管理の徹底、（3）各事業所に合わせた食事の提供の実施、（4）関係職種との連携機能の強化の 4 つを重点目標とし取り組んだ。

（1）美味しく楽しめる食事を提供するための取り組みとしては、嗜好調査や日々の利用者とのコミュニケーションを図り、より利用者の嗜好に沿った食事が提供できるよう取り組んだ。また、デイサービスにおいては毎月メニューのリクエストを聞き取り、食べたい料理を提供できるように利用日に合わせた献立の作成を実施した。

（2）衛生管理の徹底では厨房内の点検、食中毒予防研修の実施、委託業者との定期的なミーティングの実施により、より安全で安心な食事提供を心がけ食中毒を起こすことなく提供することができた。また、ぬくもり家えんの調理業務を行うことにより、現状の把握と衛生の強化を行うことができた。

（3）各事業所に合わせた食事提供の実施では、日々の確認と各会議の中で問題点を探り改善をおこなった。なごみの家グループホームでは逆流性食道炎の方にあった献立の提供ができた。またソフト食の研修を行い見た目のきれいなソフト食の提供に取り組むことができた。ぬくもりの家えんでは 5 月より夕食の主食を 100%玄米ご飯、玄米粥での提供を実施することができた。さらに酵素を使用して食材を柔らかくする調理法を導入することで食べやすい食事の提供ができた。（4）関係職種との連携機能の強化では、デイサービスと連携を取りバイキングや手作りおやつを提供した。また、各事業所の会議に参加するようになった事で、多くの情報を共有することができるようになり迅速に対応できるようになった。

2. 運営状況・統計資料

（1）平成 26 年度給食運営会議開催状況

～はぴねす・なごみの家・ぬくもりの家えん～

月日	内容	参加者
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 4 月 11 日（金）	① 5.6 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 食事満足度調査の結果について ⑧ 鉄強化味噌の経過報告について	副施設長 なごみ 1 名 デイサービス 1 名 シダックス 1 名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 5 月 9 日（金）	① 6.7 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告	副施設長 えん 1 名 なごみ 1 名 デイサービス 1 名

	⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 食事アンケートについての集計結果について ⑧ 朝食の既製品についての試食会	総務 1 名 シダックス 1 名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 6 月 13 日（金）	① 7.8 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 食中毒予防研修について ⑧ シダックスより冷蔵庫使用の注意点	副施設長 なごみ 1 名 えん 1 名 デイサービス 1 名 総務 1 名 シダックス 1 名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 7 月 11 日（金） 議案書をもとに 議事録を作成	① 8.9 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 食中毒予防研修の実施状況について ⑧ 食材の鮮度について	未実施（資料配付のみ）
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 8 月 8 日（金）	① 9.10 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 旭一食販の野菜の鮮度状況について ⑧ シダックスより	副施設長 なごみ 1 名 えん 1 名 シダックス 1 名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 9 月 12 日（金）	① 10.11 月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ・ランチバイキング実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 給食会議のあり方について	副施設長 なごみ 1 名 えん 1 名 デイサービス 1 名 シダックス 1 名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 10 月 10 日（金）	① 11.12 月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 給食会議の方向性について	副施設長 なごみ 1 名 デイサービス 1 名 総務 1 名 シダックス 1 名 栄養士

デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 11月 議案書をもとに 議事録を作成	① 12・1月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ実施報告について ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ 年末年始の食数報告について ⑧ 1月の献立について	入力者 えん なごみ デイサービス 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 12月 議案書をもとに 議事録を作成	② 1・2月の行事予定について ② デイサービス 忘年会、手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑨ 日常の献立、食事について ⑩ 日常の献立・食事について良かった事 ⑪ 年末年始の食数報告について ⑫ 年末年始の食材の納品について	入力者 えん なごみ デイサービス 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 1月 議案書をもとに 議事録を作成	② 2・3月の行事予定について ② デイサービス、手作りおやつ・新年メニュー実施報告 ③ なごみの家 正月献立、手作りおやつ実施報告について ③ ぬくもりの家えん 正月献立、手作りおやつ実施報告について ④ 日常の献立・食事について ⑤ 日常の献立・食事について良かった事 ⑥ 満足度調査（食事アンケート）について実施方法について	入力者 えん なごみ デイサービス 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 2月 議案書をもとに 議事録を作成	① 3・4月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑧ その他・満足度調査について	入力者 えん なごみ デイサービス 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 3月 議案書をもとに 議事録を作成	② 4・5月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ③ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ④ 日常の献立・食事について ⑤ 日常の献立・食事について良かった事 ⑥ 食事満足度調査について実施状況について	入力者 えん なごみ デイサービス 栄養士

(2) 給食関係修繕状況

月	修繕設備	整備・修繕先	費用（円）
3	デイサービス フードプロセッサ一部品交換	フジマック	4,860
合 計			4,860

(3) 行事食実施状況

月	日	行事名	内容	金額 (円)
4	11. 12	デイ 手作りおやつ	プリンアラモード	@50
	21. 22	デイ 手作りおやつ	苺のロールケーキ	@50
	17	デイ ランチバイキング	花見御膳	@293+15,000 (イベント費)
	27	GHなごみ手作りおやつ	豆腐入りパンケーキ	@52
	15	SHなごみ手作りおやつ	チョコレートパフェ	@52
	13	特養えん 手作りおやつ	どら焼き	@52
	25	小規模えん手作りおやつ	いちご大福	行事費
	11	小規模えん 昼食作り	そば・おにぎり・他1品	行事費
5	14. 15	デイ 手作りおやつ	フルーツジュレ	@50
	19. 20	デイ 手作りおやつ	白玉クリームあんみつ	@50
	16	デイ ランチバイキング	散らし寿司&天ぷら	@293+15,000 (イベント費)
	25	GHなごみ手作りおやつ	黒蜜きなこ寒天	@52
	21	SHなごみ手作りおやつ	パンプキンパイ	@52
	11	特養えん 手作りおやつ	豆腐白玉ぜんざい	@52
	26	小規模えん手作りおやつ	ピザトースト	行事費
	9	小規模えん 昼食作り	お好み焼き・おにぎり	行事費
6	10. 11	デイ 手作りおやつ	チーズ蒸しパン	@50
	19. 20	デイ 手作りおやつ	青きなこ飴	@50
	14	デイ ランチバイキング	ハイキング弁当	@293+15,000 (イベント費)
		GHなごみ手作りおやつ	中止	
	7/3	SHなごみ手作りおやつ	小倉ケーキ	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	和風パフェ	@52
	27	小規模えん手作りおやつ	おやつ餃子	行事費
	24	小規模 昼食作り	餃子・味噌汁・おにぎり	行事費
7	11. 12	デイ 手作りおやつ	フルーツヨーグルト	@50
	21. 22	デイ 手作りおやつ	プリンアラモード	@50
	14	デイ ランチバイキング	ジンギスカン	@293+15,000 (イベント費)
	27	GHなごみ手作りおやつ	バナナと餡子のフルーツ春巻き	@52
	18	SHなごみ手作りおやつ	スイートポテト	@52
	20	特養えん 手作りおやつ	うぐいす餅	@52
		小規模えん手作りおやつ	中止	
	17	小規模 昼食作り	ジンギスカン・おにぎり	行事費
8	13. 14	デイ 手作りおやつ	フルーツジュレ	@50
	3	デイ 夏祭り	助六寿司・やきそば・他	行事費
	12	デイ ランチバイキング	流しそうめん	@293+15,000 (イベント費)
	24	GHなごみ手作りおやつ	ミルクヨーグルトゼリー	@52

	16	S Hなごみ手作りおやつ	キャラメルカップケーキ	@52
	10	特養えん 手作りおやつ	クレープ	@52
	22	小規模えん手作りおやつ	冷やし白玉汁粉	行事費
		小規模 昼食作り	中止	
9	18. 19	デイ 手作りおやつ	おはぎ	@50
	3	デイ ランチバイキング	流しそうめん	@293+15,000 (イベント費)
	21	G Hなごみ手作りおやつ	コロコロおやつ	@52
	21	S Hなごみ手作りおやつ	ウインナーパン	@52
	14	特養えん 手作りおやつ	ピザトースト	@52
		小規模えん手作りおやつ	中止	
	12	小規模 昼食作り	シチュー・野菜サラダ	行事費
10	20. 21	デイ 手作りおやつ	黒糖蒸しパン	@50
	16	デイ ランチバイキング	行楽弁当	@293+15,000 (イベント費)
	26	G Hなごみ手作りおやつ	春巻きアップルパイ	@52
	18	S Hなごみ手作りおやつ	芋ようかん	@52
	12	特養えん 手作りおやつ	さつまいも団子	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	きんつば	行事費
		小規模 昼食作り	中止	
11	13	デイ 手作りおやつ	ゆず味噌せんべい	@50
	21	デイ 手作りおやつ	白玉お汁粉	@50
	7	デイ ランチバイキング	ジンギスカン	@293+15,000 (イベント費)
	23	G Hなごみ手作りおやつ	さつま芋カップケーキ	@52
	18	S Hなごみ手作りおやつ	芋団子	@52
	9	特養えん 手作りおやつ	南瓜団子	@52
	28	小規模えん手作りおやつ	どら焼き	行事費
	14	小規模えん 昼食作り	やきそば・味噌汁・おにぎり	行事費
12	23. 25	デイ 手作りおやつ	クリスマスケーキ	@50
	17. 19	デイ 忘年会	寄せ鍋	@293+15,000 (イベント費)
		G Hなごみ手作りおやつ	中止	
	18	S Hなごみ手作りおやつ	フルーツミルククレープ	@52
	14	特養えん 手作りおやつ	バナナ蒸しパン	@52
	12	小規模 昼食作り	スパゲティ・野菜スープ	行事費
1	20	デイ 手作りおやつ	南瓜蒸しパン	@50

	22	デイ 手作りおやつ	白玉お汁粉	@50
	5.6	デイ 新年メニュー	新年メニュー（弁当）	@293+15,000（イベント費）
	25	GHなごみ手作りおやつ	人参とオレンジのゼリー	@52
	15	SHなごみ手作りおやつ	ミニあんドーナッツ	@52
		特養えん 手作りおやつ	鏡開きのため中止	
	23	小規模えん手作りおやつ	おからクッキー	行事費
	9	小規模 昼食作り	すいとん汁・鶏そぼろ丼	行事費
2	13	デイ 手作りおやつ	バレンタインクッキー	@50
	21	デイ 手作りおやつ	どら焼き	@50
	28	デイ ランチバイキング	にぎり寿司	@293+15,000（イベント費）
	22	GHなごみ手作りおやつ	蒸しパン	@52
	20	SHなごみ手作りおやつ	ミルクくず餅	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	ココア蒸しパン	@52
	27	小規模えん手作りおやつ	生チョコ	行事費
		小規模 昼食作り	中止	
3	3	デイ 手作りおやつ	桜もち	@50
	20	デイ 手作りおやつ	おはぎ	@50
	12	デイ ランチバイキング	にぎり寿司	@293+15,000（イベント費）
	22	GHなごみ手作りおやつ	カップケーキ	@52
	28	SHなごみ手作りおやつ	桜もち	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	たこ焼き	@52
	27	小規模えん手作りおやつ	せんべい	行事費
	7	小規模 昼食作り	そば・いなり寿司	行事費
他、デイサービス、グループホームなごみの家、小規模特養えん、小規模多機能ホームなごみの家・えん 各月 祝祭日には祝い膳を実施				

（４）備品購入状況

（デイサービス）

年月日	食器名	個数	単価	合計金額 (税込み)	業者名
2月12日	ライラック ヒメフォーク	30	95	3,078	フジマック
合計				3,078	

(ぬくもりの家えん)

年月日	食器名	個数	単価	合計金額 (税込み)	業者名
9月12日	赤野花 小鉢	40	319	13,781	フジマック
9月12日	長手盆尺	20	825	17,820	フジマック
9月12日	市松ハイロン箸	20	137	2,959	フジマック
1月28日	抗菌カラー包丁 牛刀	2	7,260	15,682	フジマック
1月28日	主菜用 シリコン型 切り身魚型	2	1,100	2,376	フジマック
1月28日	主菜用 シリコン型 焼肉型	2	1,100	2,376	フジマック
1月28日	副菜用 シリコン型 かまぼこ型	2	660	1,425	フジマック
1月28日	副菜用 シリコン型 ドーム型	2	660	1,425	フジマック
合計				57,844	

(5) 事故関係

事業所	件数 (件)	内容	改善方法
デイはびねす	0		
なごみの家	0		
ぬくもりの家	0		

(6) 食事形態表

(デイサービス)

種別	人数
軟菜食	3
ゼリー食	0
ミキサー食	1
治療食	6
合計	10

②治療食の提供 (デイサービス)

治療食名	人数
エネルギー (1200kcal)	2
潰瘍食 (1200kcal)・減塩	1

エネルギー（1440kcal）	1
エネルギー（1440kcal）・減塩	1
減塩食	1
	6

（ぬくもりの家えん）

種別	人数
軟菜食	0
ソフト食	4
ミキサー食	0
治療食	0
合計	4

（なごみの家）

種別	人数
軟菜食	0
ソフト食	4
ミキサー食	0
治療食	1
合計	5

③代替え食の提供

※ 代替え食は献立の内容に合わせて随時決定する。

※ 個別に細かく対応している。

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名:法人本部・給食部門

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	コメント
1	(1)	食事の質の向上	生活の基本であり、楽しみの一つである食事の質を向上させるため、関係職種と連携し、食事の質・形態・提示方法の検討・見直しを行います。 また、低栄養状態のご利用者様には個別に対応し、食事摂取量の向上に努めます。	己上	計画	献立の問題点の確認・改善	→	→	→	→	→	A	献立の問題点の確認・改善	→	→	→	→	→	・日々の連携と月1回の給食運営会議にて、問題を確認し改善する。	A	・月1回の給食会議は11月より書式のみとなったが、栄養士が各ユニットの会議に参加するようになり、今まで以上に栄養状態の把握・改善へのアプローチが迅速に行えたためA評価とする。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			実施	実施	実施	実施	実施			
2	(1)	嗜好を尊重した献立作り	ご利用者ご本人の意思・嗜好を尊重した献立作りにより、満足感とQOLの向上を図るため、デイサービスセンター・なごみの家・ぬくもりの家えんにて年1回の嗜好調査を実施します。	己上	計画										嗜好調査用紙配布	嗜好調査実施・集計	嗜好調査実施・集計	広報掲載	・デイサービス・なごみの家・ぬくもりの家えんにおいて、栄養士とケアスタッフ協働による年1回の嗜好調査を実施。 ・調査結果を公表する。(広報) ・調査結果をもとに改善する。	B	・計画した調査及び広報掲載は実施できたが、集計の時期が計画とズレてしまったためB評価とする。
					実施										アンケート用紙作成・確認のみ実施	アンケート用紙配布・回収	アンケート回収	集計			
3	(1)	適温提示の徹底	食事を「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」提供することで、より食事がおいしく、楽しいものになるよう食事提示方法の作業確認を行います。	己上	計画	厨房巡回・配膳確認	→	→	→	→	→	A	厨房巡回・配膳確認	→	→	→	→	→	・主食・汁物について「冷たい」などの苦情をゼロにする。 ・麺類は直前に盛り付け出来たてを提示する。	A	・計画どおり実施し、適温提示ができたためA評価とする。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			実施	実施	実施	実施	実施			
4	(1)	見て楽しめる食事の提供	満足感とQOLの向上を図るため、献立のみでなく、食器への配慮をし、見た目に楽しく、食べやすい食事を提供します。 年2回、栄養士による手作りおやつ提供のための計画と実施。	己上	計画			手作りおやつ計画①	手作りおやつの実施①		手作りおやつ計画②	D	手作りおやつの実施②			不足食器の選定・確認	不足食器の見積り	不足食器の購入	・不足している食器がないか確認し、数が不足しているものの購入。 (新規食器は前年度購入したため、今年度は様子を見る。) ・食器の確認、見積もりまでは取ったが購入はできなかったためC評価とする。	C	・栄養士による手作りおやつは計画どおりにはアクションできなかったが、ソフト食の入居者に桜もちのソフト食の提供ができた。 ・食器の確認、見積もりまでは取ったが購入はできなかったためC評価とする。
					実施			未実施	未実施		未実施			未実施		不足食器確認	実施	食器購入未実施 ソフト食の手作りおやつ実施			
5	(2)	衛生管理および給食設備の確認と徹底	給食設備調査指導結果を基に、衛生管理および給食設備を定期的にチェックし、異物混入や食中毒防止に努めます。また、厨房器具等の見直し・必要備品の購入による改善を行います。 各現場で安全な食事が提供できるよう、食中毒予防研修を行います。	己上	計画	給食設備のチェック・厨房器具の見直し	→	ぬくもりの家えん食中毒予防研修実施	なごみ・ヘルパー食中毒予防研修実施	給食設備のチェック・厨房器具の見直し	→	A	給食設備のチェック・厨房器具の見直し	→	→	→	→	→	・給食設備の定期的(月1回)チェックと厨房器具の見直し。 ・なごみの家・ぬくもりの家えん・ヘルパーを対象とした食中毒予防研修の実施。	A	・計画どおり実施してきた。また異物混入も0件であったためA評価とする。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施(えん食器購入)			実施	実施	実施	実施	実施			
6	(3)	利用者・家族・職員が楽しめる行事食の実施	地域密着型特養ぬくもりの家えん・グループホーム鷹栖なごみの家に入居されている方には家庭の温かみがあり、季節に合わせた食事と各種行事に合わせた食事の提案・提供をします。 デイサービスご利用者には、外食をしているという満足感が得られるように、月1回のイベント食の提供と、各行事に合わせた食事の提案・提供をします。	己上	計画	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	B	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	・各月に合わせた祝膳の提供。 ・季節の食材を献立に反映し季節感を出す。 ・毎月1回のイベント食実施。 ・毎月のリクエストメニュー実施。	B	・祝い膳・イベント食・季節の献立は実施できたがリクエストメニューについては途中開き取りを実施できなかったためB評価とする。
					実施	実施	実施	実施	リクエストメニューのみ未実施	リクエストメニューのみ未実施	リクエストメニューのみ未実施			リクエストメニューのみ未実施	リクエストメニューのみ未実施	リクエスト1件あり実施	リクエスト6件あり実施	リクエスト5件あり実施			
7	(4)	安全で美味しく楽しい食事の提供	摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の実施。(美味しいソフト食を3食導入) 見た目も良く美味しいソフト食の提供に向け、情報の収集と栄養士による試作を行い、その情報を各現場に提供していきます。 玄米御飯・玄米粥の試作を行い、玄米食の導入を目指します。	己上	計画	玄米御飯・粥の調査・試作	なごみ職員へソフト食の調理実習実施 えん玄米御飯&粥の導入実施	玄米御飯・ソフト食実施・評価 なごみ玄米御飯調査	玄米御飯・ソフト食実施・評価	玄米御飯・ソフト食実施・評価	えん・モニタリング なごみ玄米食・ソフト食導入	A	玄米御飯・ソフト食実施・評価	玄米御飯・ソフト食実施・評価	玄米御飯・ソフト食実施・評価	玄米御飯・ソフト食実施・評価	玄米御飯・ソフト食実施・評価	モニタリング	・見た目も美味しいソフト食が提示できているか。 ・栄養士より現場へ情報が提供できていたか。 ・玄米御飯・玄米粥を1日2回導入できたか。	S	・ソフト食の調理法の研修を行い、前年度より見た目も美味しいソフト食の提示ができた。また研修などで学んだ情報を提供できた。 さらに酵素を使用した食材の試食会を行い、えんでは導入することができたためS評価とする。
					実施	実施	実施	なごみ玄米御飯試食会実施	なごみ玄米ご飯試作実施	とろみ剤の適量の使用量について実施	なごみ新玄米ご飯導入			栄養士による酵素を入れた調理法の試作と実施	えんにて酵素を使用した食材の試食と調理法についての研修実施	実施	実施	実施			
8	(5)	関係職種との連携機能の強化	ご利用者により安全・安心・満足して頂ける食事提供のため、委託業者とのミーティングを毎日、給食運営会議を月1回実施し、関係職種との情報交換・協力体制を密にしていきます。	己上	計画	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	C	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	ミーティング 給食運営会議	・毎日の委託業者とのミーティング実施。 ・毎月1回の給食運営会議実施。	C	・委託業者とのミーティングは実施できた。給食運営会議については当初の計画どおりにはいかなかったためC評価とする。
					実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施			実施	会議の開催は行わないが記録は作成	会議の開催は行わないが記録は作成	会議の開催は行わないが記録は作成	会議の開催は行わないが記録は作成			

平成 26 年度 総務課事業報告

1. 総括

平成 26 年度は、収支状況等の会計データをリアルタイムで提出することを優先して取り組んだ。今年度から毎月開催することとなった財政健全化推進チーム研究会と連動して会計データを提出することができた。平成 26 年度の収支が昨年度より改善できたことに多少なりとも寄与できたものと考えている。

その他、平成 26 年度において成果を残すことができた取り組みは、感染症予防である。感染症対策委員会の定期開催はできなかったが、感染症予防啓発と予防対策としての手洗い、うがい、手指消毒の徹底、インフルエンザ予防接種の実施により、職員はもちろん、ご入居者についてもインフルエンザの集団感染やノロウイルス等への感染を防ぐことができた。

また、広報活動は、広報誌・ホームページ・ブログを通して情報発信を充実させ、昨年に引き続き成果を残すことができた。

事業計画以外の取り組みで総務課が大きな力を発揮した事業として、6 月に鷹栖町で開催した「第 2 回全国地域包括ケア研究会」と、同じく 12 月に開催した「第 4 回全国地域包括ケア研究会」、3 月に道内他施設も参加して開催した「在宅ケアサービスマネジメント勉強会」がある。いずれも準備や運営を支える裏方としてはあるが、当該事業の成功に大きく寄与することができたと思っている。

一方で十分にに取り組むことができなかったことも多く、次年度に多くの課題を残す結果となってしまった。特に、データ管理に関する新システムの運用面については十分に活用できなかったと感じている。また、法人パンフレットの見直しについては、その作業に取り組んだものの完成には至らなかった。

2. 次年度に向けて

平成 27 年度は、新たな体制の中で平成 26 年度の反省を踏まえ、計画のより確実な取り組みを進めていきたい。特に、作業途中のままとなっている法人パンフレットについては、平成 27 年度の早い段階での完成を目指すこととする。

また、平成 26 年度に引き続き会計データの提出に関しては、期日を厳守するとともに、財政健全化に必要なデータをリアルタイムで提出していく。

その他、新中期 3 カ年計画（平成 25 年度～平成 27 年度）及び平成 26 年度事業計画に基づき、スタッフ一人ひとりが担当業務を進められるよう、きめ細やかに進捗管理を行い、総務課の更なるレベルアップを図って行きたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 職員の状況

単位：人

役職・職種 区分		平成 26 年度 期 首	平成 26 年度 期 末	増 減
施設長		1	1	0
副施設長		1	1	0
介護部長		1	1	0
事務員	正 職 員	4	4	0
	パート職員	1	1	0
生活相談員	正 職 員	2	2	0
ケアマネジャー	正 職 員	3	4	1
出向ケアマネジャー	正 職 員	1	1	0
計画作成担当者	正 職 員	3	3	0
サービス提供責任者	正 職 員	2	2	0
介護員	正 職 員	61	60	▲2
	パート職員	24	31	7
	派遣職員	0	1	1
ホームヘルパー	正 職 員	1	1	0
	パート職員	2	2	0
	登 録	2	4	2
看護職員	正 職 員	4	5	1
	パート職員	6	5	▲1
管理栄養士	正 職 員	1	1	0
栄養士	正 職 員	1	1	0
調理員	パート職員	10	11	1
運転員	パート職員	2	1	▲1
用務員	嘱 託 職 員	1	1	0
夜間管理当直員	パート職員	2	2	0
	派 遣 職 員	1	1	0
嘱託医		1	1	0
合 計		138	147	9

注) 兼務職員については、主たる職務へカウントする。

(2) 賞与支給状況

時 期	支給月数
	正職員
6 月	0.8～1.8
12 月	1.2～2.2
計	2.0～4.0

(3) 施設整備関係

単位：円

事業完了 年月日	事業名	内 容	総事業費	補助金額
26.11.28	特養鷹栖さつき苑浴室改修工事	特浴室の改修	12,086,906	自己財源
27.3.30	小規模多機能ホームぬくもりの家えんスプリンクラー設置工事	小規模多機能型居宅介護事業所にスプリンクラーを設置	5,076,864	2,736,000
合 計			17,163,770	2,736,000

(4) 設備整備関係

単位：円

事業完了 年月日	事業名	内 容	総事業費	補助金額
26.11.28	特養さつき苑リフト浴槽購入	特浴室の改修に合わせ、特殊浴槽の入替を行った。	3,736,066	自己財源
26.11.30	デイサービスセンターはびねすりハビリマシン購入	介護予防・リハビリに効果のあるマシンを2台購入	1,501,200	自己財源
合 計			5,237,266	

(5) 寄付金関係

単位：円

区 分	件 数	総 額	摘 要
寄付金	7	335,000	法人・各事業所運営のため

(6) 環境整備・苑内修繕状況

単位：円

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用(円)	区分
4	アコーディオンカーテン修繕	後藤田建設	204,750	さつき苑
	厨房排水管修理	齋藤工業所	39,960	
	トイレナースコール改修工事	亀谷電設	48,600	
	ベッドライト交換工事	亀谷電設	10,800	
	ベッドライト、グローブラグ交換	デンザイ	20,153	
	電気保安点検	電気保安協会	66,096	

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用(円)	区分
5	全自動洗濯機修理	東芝テクノネットワーク	20,304	さつき苑
	消防設備定期点検	五光トータル防災	69,120	
	和ユニット浴室混合栓修理	大洋設備	19,440	なごみの家
	消防設備定期点検	五光トータル防災	70,200	
	調理カッターアセンブリ交換	タニコー	5,994	
6	衣類乾燥機修理	東芝テクノネットワーク	32,184	ぬくもりの家えん
	厨房殺菌ランプ	アスクル	20817	さつき苑
	浴室タイル修繕	後藤田建設	10,800	
	製氷機保守料	ホシザキ北海道	61,560	
	トイレワイヤー洗浄	齋藤工業所	10,800	
	床フローリング修繕	盛永組	367,500	なごみの家
7	冷凍冷蔵庫修理	フジマック	53,913	さつき苑
	浴槽タイル修繕	後藤田建設	8,440	
	アルミ戸修繕		10,460	
	浴場共栓破損取替	齋藤工業所	23,760	
	重油地下タンク漏洩検査	北海道検査センター	32,400	
	ベンチ・テーブル塗装	用務	21,055	なごみの家
	給湯循環ポンプ修繕	大洋設備	34,560	
	窓ガラス修繕	新栄硝子建材	198,936	
	給湯循環ポンプ漏水修繕	大洋設備	30,240	ぬくもりの家えん
	ダイニングチェア修理	谷木工	5,400	
	衣類乾燥機修理	東芝テクノネットワーク	12,495	
8	便座リモコン洗浄ユニット修理	齋藤工業所	35,640	さつき苑
	床LPレジュームコート塗布	アサヒ管材	23,760	なごみの家
	パントリー混合栓修理	大洋設備	50,760	
	食洗機修理	パナソニック	32,832	
	小規模パントリー混合栓修理	大洋設備	25,920	
	衣類乾燥機修理	日立コンシューマ	50,112	
	暖房用循環ポンプ漏水修理	大洋設備	25,920	ぬくもりの家えん
	衣類乾燥機修理	東芝テクノ	5,400	
	照明器具増設工事	亀谷電設	58,320	
9	ステージコンセント取替工事	亀谷電設	12,960	さつき苑
	居室トイレ修理	齋藤工業所	63,504	
	蛍光管購入	デンザイ	26,460	なごみの家
	汚物流し台排水修理	大洋設備	8,640	
	衣類乾燥機修理	日立コンシューマ	26,136	
	ブラインド修理	盛永組	14,040	
	洗濯機フタ修理	ヤマダ電機	9882	
	音響設備不良調整	亀谷電設	19,440	
	消防設備定期点検	五光トータル防災	59,400	ぬくもりの家えん

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用（円）	区分
10	誘導灯不具合修理	五光トータル防災	21,600	さつき苑
	消防設備定期点検		79,920	
	トイレフィッススイッチ取付工事	齋藤工業所	38,448	
	ボイラー保守	東和	182,088	
	ピット内給湯管漏水工事	大洋設備	19,224	
	掃除機修理	ヤマダ電機	8,347	
	カメラ修理	ヤマダ電機	22,663	なごみの家
	乾燥機修理代	パナソニック	31,212	
	インクジェットプリンター修理	ヤマダ電機	9,833	
11	乾燥機修理	池田精機	5,724	さつき苑
	給湯管水漏れ修理	大洋設備	21,600	
	除雪機点検	ホクレン油機サービス	68,612	
	HDD 修理	富士ゼロックス北海道	13,176	デイセンター
	ヒーターサーモバルブ修理	大洋設備	16,200	ぬくもりの家えん
12	調理用ブレンダー修理	タニコー	12,400	さつき苑
	蛍光灯	デンザイ	54,500	
	電気消毒器修理	フジマック	16,907	
	厨房網戸レール取替	盛永組	86,400	
	全自動洗濯機修理	東芝コンシューマ	8,748	ぬくもりの家えん
	芝刈り機点検整備	ホクレン油機サービス	36,310	
	除雪機点検整備	ホクレン油機サービス	49,153	
1	蛍光管	デンザイ	19,388	さつき苑
	LED 電球	ゼロックス北海道	23,328	
	浴室窓枠等修理	盛永組	254,988	
2	LED 電球	ゼロックス北海道	22,032	さつき苑
	トイレ便座修理	齋藤工業所	21,060	
	調理カッターアセンブリ	タニコー	10,649	
	消毒保管庫修理代	フジマック	5,583	
	石油給湯器修理	大洋設備	102,600	なごみの家
	石油給湯器修理	大洋設備	33,480	
3	ベッドライト修繕	亀谷電設	7,560	さつき苑
	洗面器排水修理	齋藤工業所	14,040	
	会議室換気扇修理	大洋設備	36,720	
	圧力鍋修理	フジマック	10,368	
	フードプロセッサー修理		4,860	
	給湯器修理	大洋設備	8,640	なごみの家
	車庫修理	盛永組	97,200	
	LED 電球	ヤマダ電機	10,545	
	オーブンレンジ修理	東芝コンシューマ	27,000	ぬくもりの家えん
	両開きドア設置工事	盛永組	900,000	

(7) 苦情・意見に対する改善状況

部 署	受付月	苦情・意見の内容	改善状況
総務課		なし	
特養さつき苑	11 月	ケアの内容 1 件	部署内及び関係部署の職員に確認するとともに課題共有し、必要な改善を実施。
ショートステイ	6 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
ヘルプサービス	10 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
デイサービス	8 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
介護センター		なし	
GHなごみの家		なし	
SHなごみの家		なし	
特養えん		なし	
SHえん	11 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	11 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	1 月	ケアの内容 1 件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。

平成 26 年度 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑・ショートステイさつき苑 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

今年度も予防的・総合的視点によるケア（トータルケア）を実践し、入院者および新規受診者の減少に努めた。しかしながら、年度当初よりご入居者の体調不良が相次ぎ、年間の入院者は前年度を大きく上回る 431 日間（前年比+159 日間）となった。入院者・体調不良者の内訳をみると、風邪や誤嚥による肺炎罹患者が半数を占めており、口腔ケア、食事状況の確認、感染症対策についてなど、予防できるケースが多数あったと考えられる。改めて、日々のケアチェック、状態把握と迅速かつ徹底した対応が重要であると再認識した。

一方で、これまで積み上げてきた多職種協働による取り組みにより一定の成果をあげられたものもある。重点課題の一つ排泄ケアの取り組みでは、ご入居者の自尊心の尊重、自信を取り戻していただきたいという目標を掲げた。これまで紙オムツの着用者が半数以上いたところ、毎月の会議で見直し、1 年間で約 8 割の方を普通の下着に見直すことができた。

また、認知症の周辺症状が強く出ている方に対し、細かなアセスメントを実施。嘱託医と密に連携を図りながら介護、医療、栄養の協働により対応を検討・実践し状態改善を図ることができた。心身状態が安定してきたことに併せ、入居以前より服用していた向精神薬、眠剤などの服用を約半数の方を見直すことができた。認知症の周辺症状悪化の一因ともなりうる下剤の服用についても、自然食品や補助療法の導入により、刺激性下剤の服用者は全体の 5%以下を維持している。感染症対策についてはインフルエンザの発症が同時期に 2 名あったが、迅速な対応とその後の衛生管理によりそれ以上の拡大を防ぐことができた。しかし、その間入居者やご家族、ショートステイご利用者には利用制限並びに面会制限など余儀なくされ、ご迷惑をおかけした。

「適正収益の確保」については、入院者の増加に伴い稼働が伸びず、特別養護老人ホーム事業は 97%、ショートステイ事業については、定期利用者の特養入所や他サービスへの変更、インフルエンザ発症に伴う利用制限などが影響し 62.8%であった。両部門ともに目標を達成することができなかった。

平成 26 年度はここ数年間の中では入院者や退居者が多く、また職員体制では離職者が多かった。今年度の課題を振り返り、次年度はケア・運営共に安定を図る。

2. 展望（次年度に向けて）

次年度は、ケアについては高齢者にとってリスクの高い肺炎、尿路感染、脱水予防のケアを強化し入院者の減少を目指す。介護士、看護師、管理栄養士協働によるミールラウンド（食事の定期巡回）の実施のほか、口腔ケアの徹底、オムツ失禁の改善、個別に合わせた水分管理、尿路感染の予防など、わずかな状態変化のサインを見逃さず随時カンファレンスを行い迅速に対応することで状態悪化を予防する。

また、日々の生活をより豊かにしていくため、例年実施している行事等のほか、個別にあった役割を持って頂くことで自信を持って生き活きと暮らしていただける環境を整える。

ショートステイにおいては法人内に組織している地域包括ケア推進チームへの参加により、地域にある介護ニーズを把握し、ショートステイを利用していただくことで状態を把握し、ご家族、ケアマネージャー、サービス提供事業所と協働し状態改善を図り、ご本人が在宅生活を継続していけるよう支援する。

次にスタッフ育成について、基礎介護研修を継続実施し専門的知識と技術を高めるほか、新たな取り組みとして、1年以上の経験を有するスタッフが、担当入居者のADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を図るため、アセスメント、計画、実施、評価（介護過程の展開）の手法を学び計画的に実施する。さらに振り返りの機会を持つことで個々のスタッフ自身の成長とやりがいを感じられる機会とする。その他、業務改善、会議運営の効率化、今年で6年目となるリフレッシュ休暇の取得など、楽しく働き甲斐のある職場環境づくりに努める。

最後に、安定した事業所の運営のため、特別養護老人ホーム事業の稼働率は98%、ショートステイ事業は85%以上を必達目標とし、適正収益の確保に努める。支出面には業務改善や合理化を図ることで必要人員体制の見直しするほか、消耗品や光熱水費についてコスト意識を高め削減に努める。以上を平成27年度の展望とする。

3. 業績報告

(1) ベッド稼働率

(単位：%)

事業名	目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	98.0%	97.0%	98.9%	98.4%	98.6%
短期入所生活介護事業	80.0%	62.8%	78.5%	81.3%	77.2%

(2) 延べ入居者人数

(単位：人)

事業名	目標延べ入居者数(A)	実際延べ入居者数(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度実際延べ入居者数(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	18,600	18,122	97.4%	18,667	97.0%
短期入所生活介護事業	2,336	1,980	84.7%	2,376	83.3%

(3) 事業収入（介護保険収入・介護予防事業委託費）

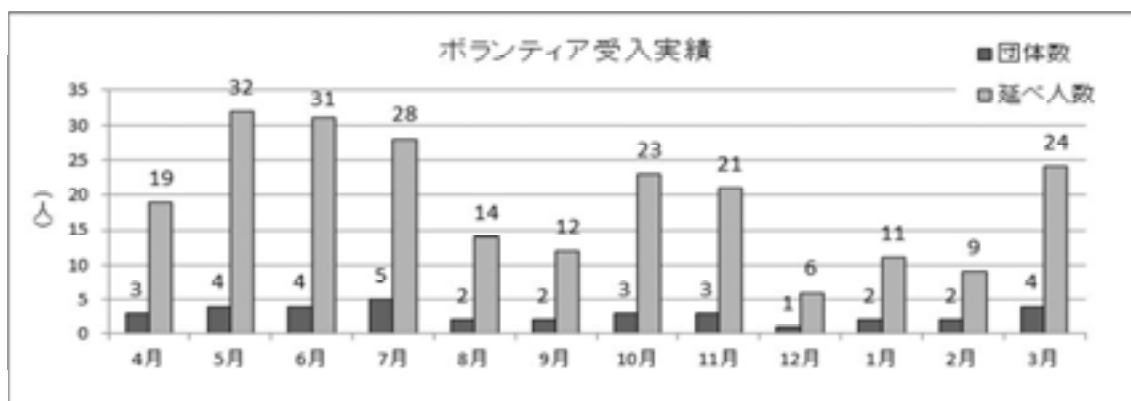
(単位:千円)

事業名	目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度収入 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	206,250	200,319	97.1%	206,310	97.1%
短期入所生活介護事業	22,240	20,037	90.1%	24,101	83.1%

4. ボランティアの状況

ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	3	4	4	5	2	2	3	3	1	2	2	4	35
延べ人数	19	32	31	28	14	12	23	21	6	11	9	24	230



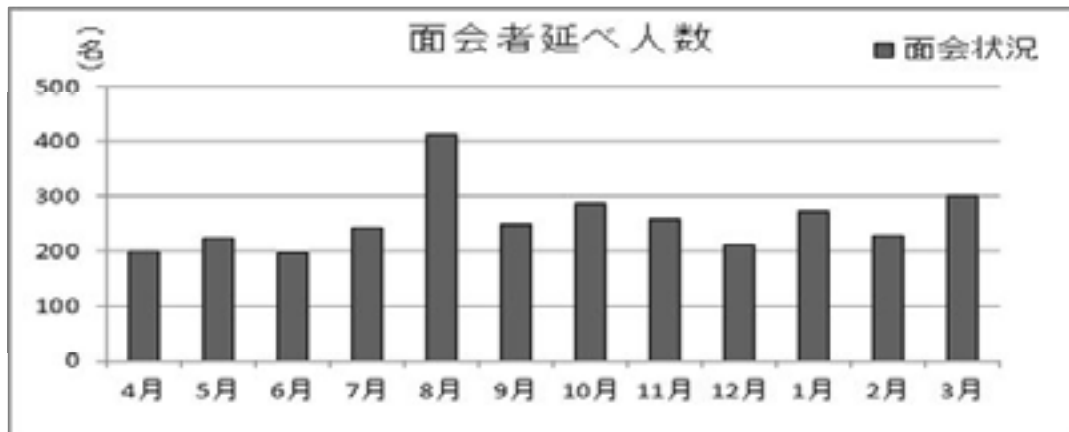
ボランティア協力団体一覧

	団体名	活動内容
町内	IZATAKA	ダンス披露
	共栄老人会	お話相手
	喜楽会	お話相手
	銀星老人会	お話相手
	十五期会	大掃除
	親交老人会	お話相手
	親睦老人会	お話相手
	大成老人会	お話相手、花壇整備
	鷹栖オサラッペ太鼓	太鼓演奏披露
	鷹栖高校吹奏楽部	楽曲披露
	鷹栖小学校スクールバンド	楽曲披露

	団体名	活動内容
	たかす吹奏楽団	楽曲披露
	鷹栖青年会	行事手伝い
	鷹栖中学校吹奏楽部	楽曲披露
	鷹栖町赤十字奉仕団	外窓拭き
	長寿老人会	お話相手
	町内老人会	お話相手
	2 区睦会	お話相手
	21 区老人会	お話相手
	8 区老人会	お話相手
	ひまわり会	シーツ交換
	藤野老人会	お話相手
	フレッシュ親睦会	お話相手
	北成老人会	お話相手
	北斗老人会	お話相手
	松平老人会	お話相手
町外	北の大地	踊り（よさこい）披露
	シダックス	行事手伝い
	照鷹会	民謡披露
	セラピードッグあさひかわ	犬との交流会
	大雪スノーベル	チアリーディング披露
	大雪風神会	踊り（よさこい）披露
学校	旭川大学短期大学部	行事手伝い
	旭川福祉専門学校	行事手伝い
	北野小学校 4 年生	交流会
	鷹栖小学校ボランティア委員会	交流会
	鷹栖高等学校	行事手伝い
	鷹栖養護学校高等部	交流会
	北海道環境福祉専門学校	行事手伝い

5. 面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者延べ人数 (名)	202	225	198	243	412	251	286	258	214	273	231	302	3,095



6. 行事

実施日	行事名	内容	担当者
平成26年5月7日	花見ツアー	午前・午後に分かれ、春光台公園、鷹栖パレットヒルズへ行き桜の花を見ながら季節を感じて頂く。	近間
5月23日	北野小学校交流会	北野小学校4年生児童が来苑し、入居者と一緒にゲームを楽しむ。	尾上・米澤
5月28日	チャレンジデー	入居者、職員共に参加しデイサービスとの対抗戦でカーリングを行う。	尾上・米澤
6月23日	すずらんユニット夜の外出ツアー	入居者とスタッフで夜にドライブをしながら外食に出かけ、いつもと違う食事や雰囲気を楽しんで頂く。	菅原・渡部・渡辺
6月24日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校2学年の生徒が来苑され、入居者と一緒にゲームを楽しむ。	尾上・米澤
7月13日	さつき祭	屋台や外部団体の余興があり、入居者がご家族や地域の方との交流を図り、1日通し夏の一時を楽しまれる。	さつき祭 実行委員会
7月15日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校1学年の生徒が来苑され、七夕飾りを一緒に作成する。	尾上・米澤
8月8日	戦没者慰霊の集い	鷹栖町で戦没された方への追悼の儀。親類や先祖への思いを託し入居者が千羽鶴を折り捧呈する。	尾上

実施日	行事名	内容	担当者
8月9日・10日	鷹栖熱夏フェスタ	熱夏フェスタに参加し、出店や花火を観て夏の雰囲気を楽しむ。	菅原
8月10日	神輿渡御	さつき苑正面玄関前の駐輿所に、鷹栖みこし会の方々による、みこし渡御が行われる。	菅原
8月22日	焼き肉	中庭でのバーベキューで夏の味覚を味わいながら、残暑を感じて頂く。	戸澤 鈴木栄養士
9月9日	鷹栖養護学校交流会	さつき苑外周の草むしりを行って下さる。	尾上
9月14日	新秋祭	入居者とご家族と一緒に、長寿を祝い食事会を行う。	中村・高橋
10月7日	北野小学校介護疑似体験	北野小学校4年生の生徒が来苑し、福祉用具に触れ学ぶことで、高齢者への理解を深める。	尾上・米澤・ 鈴木栄養士
11月7日	たんぽぽ芋煮会	ご家族を招いて入居者と一緒に鍋を囲み昼食会を行う。	角谷
11月11日	北野小学校交流会	北野小学校4年生の生徒が来苑し、ゲームや歌の披露をして下さり入居者と一緒に楽しむ。	尾上
12月25日	ライオンズ寿司会	鷹栖ライオンズの会員の皆様から、入居者の方へ感謝のお言葉と共にお寿司が振る舞われる。	尾上
12月26日	もちつき	入居者と職員とで鍋を囲み味わう。また昨年度の写真をスライドショーで観て楽しむ。	角谷・佐藤
平成27年1月16日	新年会	入居者と職員で新しい年を迎えたことを祝い、鍋や刺し盛りを囲みながら昼食会を行う。	角谷・佐藤
1月22日	鷹栖小学校ボランティア委員会	鷹栖小学校ボランティア委員会の生徒達が来苑し、入居者と一緒にゲーム等を楽しむ。	尾上

7. 会議

(1) 生活福祉課会議

月 日	議題内容	参加人数
平成26年4月9日	・平成25年度活動計画評価報告について・平成26年度事業計画について ・年間計画、行事、係担当について・業務改善（スポットパートの動きの見直し、特殊浴槽の入れ替え）その他	25人
6月11日	・事故発生報告・業務改善（下膳に関して、食事前の消毒、整容）・介護用リフト導入について・その他	23人
10月8日	・活動計画中間報告・浴室改修工事について・その他	21人

月 日	議題内容	参加人数
12 月 10 日	・新浴室の運用について・地域包括支援センターへの通報、町への報告・ 認知症の周辺症状のある方への対応について・身だしなみ、整理整頓 ・ストマ装具の交換方法について	21 人
平成 27 年 2 月 12 日	・身だしなみ、整理整頓について・感染症予防について・事故、ヒヤリハ ット・その他	220 人

(2) リーダー会議

月 日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 8 日	・前月の事故発生状況・業務確認、改善（オムツの見直し、パート職員の 動きについて）・各ユニットより（新任職員へのフォローと現任について）・ 活動計画進捗状況（H25 年度事業報告と H26 年度事業計画について）・入 院者、退去者の分析と検証・その他（H26 年度入居者満足度調査の結果）	7 人
5 月 6 日	・前月の事故発生状況・業務確認、改善（排泄ケア、オムツの見直し、入 浴ケアでのマンツーマン対応について）・各ユニットより・活動計画進捗状 況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証・その他（自分の仕事を 部下へ任せる大切さについて）	7 人
6 月 2 日	・前月の事故発生状況（ADL の低下ある方への対応を変更・見直すことで 事故予防）・業務確認、改善（オムツカバー、介護用リフトの導入）・各ユ ニットより・活動計画進捗状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と 検証・新任リーダー研修（指導職の役割、身につけるべき能力、リーダー の仕事、入居者の状態把握、ケアチェック、スタッフ育成とマネジメント、 ケアのレベルアップ、メンタルトレーニング、申し送りの指示出し、ユニ ットケア・トータルケアの理解について）	7 人
7 月 1 日	・前月の事故発生状況・業務確認、改善（排泄ケア各ユニットで個別の失 禁へのフォローケアを考える、余暇活動での散歩の取り組み、衣替えシー ツや枕の汚れ、口腔ケア、誤薬に関して）・各ユニットより・活動計画進捗 状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証（誤嚥性肺炎、肺炎 2 名、総胆管結石、頭部外傷の方について）・その他（シャワーボトルの購入 と管理方法、苦情の対応報告）	7 人
8 月 5 日	・前月の事故発生状況（センサー使用者の角度調整の確認）・業務確認、改 善（布パンツへの変更とパット変更者の確認、夜勤業務の見直しについ て）・各ユニットより（常勤職員とパート職員の業務負担の差別化確認）・ 活動計画進捗状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証（低栄養、 貧血、肺炎の対応と変化の見極めについて）・その他（H26 年度運営指導監 査の実施に関して）	7 人

月 日	議題内容	参加人数
9 月 5 日	・前月の事故発生状況（事故報告の上げ方と基準）・業務確認、改善（排泄ケア・オムツの見直し、ケアチェック後の対応と引き継ぎ、ケアプランの定期更新での担当スタッフのアセスメント方法と視点）・各ユニットより（食事介助や見守りへの対応で困難なことを検討）・活動計画進捗状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証・その他（夜勤態勢を見直すに当たっての改善策と業務の見直しに関して）	7 人
10 月 7 日	・前月の事故発生状況（事故が起こりやすい時間帯の業務や困っている状況の改善の必要性について）・業務確認、改善（排泄ケア、パット形態の見直し、エルダー面談、夜勤業務の見直し）・各ユニットより（仕事の教え方任せ方、期日期限の徹底）・活動計画進捗状況（H26 年度活動計画中間評価）・稼働率の確認・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証（多発性脳梗塞、電解質異常、心不全、吐血、腸ポリープの方の兆候を確認）・その他（H26 年度施設運営実地指導の実施に伴い確認する資料と分担、浴室改修に関して）	7 人
11 月 7 日	・前月の事故発生状況（ハイリスク者の周知について）・業務確認、改善（エルダー面談と定期面談の勧め方、夜勤業務の転記とパット形態の変更について）・各ユニットより・活動計画進捗状況・入院者、退去者の分析と検証・その他（上士幌すずらん荘の視察研修から得た情報と視点、対応方法に関して報告）	7 人
12 月 9 日	・前月の事故発生状況（事故予防のための改善策）・業務確認、改善（新浴室の使用法、食事介助の体制について）・各ユニットより（入居者の身だしなみ、職員間のフォロー）・活動計画進捗状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証（水腎症と蜂窩織炎について、認知症の周辺症状が強く出ている方への対応について）・その他（1 月からの人員体制と他事業所からの応援）	7 人
平成 27 年 1 月 9 日	・前月の事故発生状況（丁寧な説明の重要性）・業務確認、改善（新浴室の使用について確認、スポットパートの業務内容と勤務時間、BPSD に対する個別対応の経過と確認、尿漏れについてのケース確認）・各ユニットより・活動計画進捗状況・入院者、退去者の分析と検証・その他（2 月以降の体制に関して各ユニット会議で伝えることを確認）	7 人
2 月 10 日	・前月の事故発生状況（事前に職員が配慮することで防げる事故について確認を行う）・業務確認、改善・各ユニットより・活動計画進捗状況・稼働率の確認・入院者、退去者の分析と検証・その他（H27 年度事業計画を立てるに当たっての説明）	7 人

月 日	議題内容	参加人数
3月6日	・前月の事故発生状況・各ユニットより（新任職員の勤務に関して）・事業計画策定（昨年度を振り返り新たに取り組みたいことを出し合い事業計画を立てる）・その他	7人

（３）たんぽぽユニット会議

月 日	議題内容	参加人数
平成26年4月15日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について、本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・排泄ケアの見直しについて	11名
5月16日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・排泄ケアの見直しについて	11名
6月16日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・排泄ケアの見直しについて・介護用リフトの導入について・口腔ケアの実施状況・口腔ケアの大切さについて	10名
7月23日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	11名
8月22日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・食中毒予防研修	11名
9月22日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・食事介助の見直しについて・夜間巡回の見直しについて	11名

月 日	議題内容	参加人数
10 月 21 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・食事介助の見直しについての評価・夜間巡回の見直しの評価	11 名
11 月 17 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	10 名
12 月 15 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	12 名
平成 27 年 1 月 16 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・排泄ケアの見直しについて・水分提示の徹底と見直しについて	11 名
2 月 17 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定・水分提示の徹底と見直しについて・口腔ケアの徹底について・平成 27 年度ユニット活動計画について	11 名
3 月 16 日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討・褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について・本人、家族からの要望について・月間目標の設定 平成 27 年度ユニット活動計画について（翌月へ）・おむつ研修	8 名

(4) なでしこユニット会議

月 日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 18 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について、感染者対応について等）、5 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	13 名
5 月 23 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について、職場運営・会議運営ルールについて等）、6 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
6 月 20 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について、新規入居者について、口腔ケアについて等）、7 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
7 月 25 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（新規入居者について等）、移乗介助方法の統一（実技）、8 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
8 月 25 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（居室の清掃・環境整備について等）、食中毒予防研修、9 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
9 月 19 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（扇風機片付け・加湿器準備について等）、業務の見直し、10 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名

月 日	議題内容	参加人数
10 月 24 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（加湿器の水の補充について等）、周辺症状のある方への対応について、11 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
11 月 21 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（整理整頓について等）、12 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11 名
12 月 19 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について）、周辺症状のある方への対応について、1 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11 名
平成 27 年 1 月 20 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、尿漏れの目立つ方への対応について、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（水分提示について、2 月以降の体制について）、2 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11 名
2 月 20 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（居室の整理整頓について等）、3 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12 名
3 月 24 日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について、口腔ケアについて等）、オムツ・パットの当て方研修、オペレーションの確認、4 月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11 名

(5) すずらんユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 25 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	12 名
5 月 28 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	12 名
6 月 25 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、目標設定	12 名
7 月 29 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	11 名
8 月 28 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	11 名
9 月 26 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、扇風機の片付け・加湿器の確認について、目標設定	11 名
10 月 30 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	11 名
11 月 28 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、その他、目標設定	11 名
12 月 26 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、目標設定	11 名
平成 27 年 1 月 26 日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、徹底事項、目標設定	11 名

月日	議題内容	参加人数
2月24日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、年間計画確認、来月入居者誕生日の確認、ユニット年間計画の作成、その他、目標設定	10名
3月30日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、来月入居者誕生日の確認、徹底事項、オムツの使用方法について、口腔ケア表の確認、目標設定	11名

(6) ナース会議

月日	議題内容	参加人数
平成26年4月9日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認 ・下剤の見直し・その他（活動計画、心電図一斉検査）	4名
6月9日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認 ・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し	4名
8月12日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認 ・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（定期検温について）	4名
9月17日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認 ・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（定期検温について）	4名
11月10日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・業務改善と確認 ・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（運営指導準備について）	4名
12月8日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し・その他	4名

月日	議題内容	参加人数
平成 27 年 1 月 27 日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（感染症対策、インフルエンザ検査、体温計の保管）	4 名
2 月 17 日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（感染症対策）	4 名
3 月 10 日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・個別機能訓練について・下剤の見直し・向精神薬、眠剤等の見直し ・その他（感染症対策、情報共有について、経口摂取維持に関する取り組み、記録について）	4 名

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価			
1	(1)	命と尊厳を守り、安心して生活できる施設づくりに、組織的に取り組む	①利用者の安全確保と事故防止を最優先に考え、各会議で具体的に検討、予防と再発防止に努めます。	米澤	計画	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討 (事故の傾向調査)	会議にて検討	会議にて検討	C 事故件数 前年比 +10% 特養:52件(前年比+12件) ショート:8件(前年比-6件)	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討 (事故の傾向調査)	会議にて検討	会議にて検討	・事故発生件数 前年比-10% ・骨折事故 ゼロ ・服薬に関する事故-30%	C ・事故発生件数 前年比 +31% 特養121件(+42件) ショート16件(-9件) ・骨折事故 2件 ・投薬事故 8件			
					実施	事故件数 特養: 8件 ショート: 2件	事故件数 特養: 7件 ショート: 1件	事故件数 特養: 11件 ショート: 3件	事故件数 特養: 12件 ショート: 2件	事故件数 特養: 4件 ショート:0件	事故件数 特養: 10件 ショート: 0件		事故件数 特養:15件 ショート:0件	事故件数 特養:12件 ショート:0件	事故件数 特養:8件 ショート:1件	事故件数 特養:11件 ショート:1件	事故件数 特養:9件 ショート:2件	事故件数 特養:14件 ショート:4件					
			②高齢者虐待や身体拘束の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題に挙げ疑わしいケア、対応について全員で検討、共有します。	尾上	計画	会議にて検討・共有							B 身体拘束実績なし 毎月の会議にてセンサーマットの見直しをおこない、また、落ち着いて過ごせるような環境を整えた	会議にて検討・共有						虐待及び身体拘束ゼロ	B 予定通り実施することができた		
					実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討		検討	検討	検討	検討	検討					
			③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、ノロウィルス、インフルエンザの予防に努めます。	稲井	計画	肺炎球菌ワクチン接種対象者の検討	・肺炎球菌ワクチン接種 ・加湿器撤去				食中毒予防研修(法人本部)		インフルエンザノロウィルス感染予防研修(感染症対策委員会)	C 概ね計画通り実施する。インフルエンザ、ノロウィルスの感染はなかったが、5月に風邪症状の集団感染がある。	インフルエンザノロウィルス感染予防研修	インフルエンザノロウィルス感染予防研修 インフルエンザワクチン予防接種案内	インフルエンザ・ノロウィルス注意喚起	インフルエンザ・ノロウィルス注意喚起	インフルエンザ・ノロウィルス注意喚起	インフルエンザ・ノロウィルス注意喚起	インフルエンザ・ノロウィルス集団発症0件	B インフルエンザの発症者は出たが、本人のみにとどめ他者への感染拡大を防ぐことができた。	
					実施	未実施	加湿器撤去		8月に実施変更	食中毒予防研修実施	未実施	感染症予防研修の実施	インフルエンザ予防接種の実施		発症なし	インフルエンザ2名発症	発症なし	発症なし 肺炎球菌ワクチン予防接種					
2	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践する	①重度化に対応したアセスメント様式への変更と従来のケアシステムを運用しながら、ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防します。 ②入院者の経過分析と退院後の再発・重症化予防のため、随時カンファレンスを行います。	尾上	計画	・トータルケア勉強会 ・入院者、新規受診者の分析	・新アセスメント様式への移行					C 前年比 +35% 入院延べ日数274日間 1ヶ月平均45.6日 延べ入院者数 19名 新規受診者 30名 (前年度実績) 入院延べ日数 175日間 延べ入院者数 17名 新規受診者 20名 新アセスメント様式へは移行できず	・入院者、新規受診者の分析						・重度化に対応したアセスメント様式への完全移行 ・新規受診数 前年比-10% ・年間入院日数250日以内)	C ・新規受診者数 58名(+32名) ・年間入院者数 32名(+9名) ・年間入院日数 431日間(+161日間) ・新アセスメント様式へは移行できず			
					実施	入院者: 1名 日数:26日間 新規受診:1名	入院者: 7名 日数:31日間 新規受診:10名	入院者: 7名 日数:104日間 新規受診:0名	入院者: 5名 日数:44日間 新規受診:5名	入院者: 1名 日数:4日間 新規受診:7名	入院者:5名 日数:65日間 新規受診:7名		入院者:5名 日数:17日間	入院者: 3名 日数:11日間	入院者: 2名 日数:50日間	入院者:3名 日数:38日間	入院者:1名 日数:20日間	入院者: 3名 日数:35日間					
			①下剤服用による苦痛、認知症の周辺症状の悪化を予防するため下剤の使用を見直し、自然排泄のための補助療法等を充実させます。 ③尊厳ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直しします。	稲井 尾上	計画	会議で検討・見直し							S 4月～9月 ①下剤の使用 刺激性下剤常用 3.8% 緩下剤常用 17.3% ②オムツ等使用者 ・テープ式 4名 ・リハバン13名 ・下着 33名 ③トイレでの排泄 日中42名0名) 夜間29名(±0名)	会議で検討・見直し						・刺激性下剤常用者 全入居者の5%以内 ・その方に合わせた排泄方法、オムツ形態を毎月のユニット会議で検討し随時見直しを図る ・オムツへの排泄を-10%	C ①下剤使用 ・刺激性下剤常用3名(6.0%) ・緩下剤常用 7名(13.5%) ②オムツ等使用者 ・テープ式 4名 ・リハバン13名 ・下着 33名 ③トイレでの排泄 ・日中 42名 ・夜間 29名		
					実施	①刺激性下剤常用2名、緩下剤常用8名																	
			3	(1)	介護の専門性を高め、ご入居者それぞれにあわせた、より良質なケアサービスを提供する	②長期見直しされていない向精神薬、眠剤、認知症改善薬について、薬剤の特性を理解し、薬剤に頼らず穏やかに過ごせるよう、生活での改善を目指します。また、本人の状態を踏まえたうえで医師と相談、見直しを図ります。	稲井 尾上	計画	会議で検討・見直し						S 眠剤・向精神薬内服 9名10種 ↓ 3名9種へ減薬(-65%) 医師の協力のもとナース会議の場において積極的に検討を行った結果半数以上減薬または休薬することができた。 また、後期は対象者を広げる	会議で検討・見直し						・向精神薬、眠剤服用者 前年比-50%	B 向精神薬・眠剤等服用者 平成26年4月 18名25種 ↓ 平成27年3月 12名18種(-44%) ※年度当初は対象者をあらかじめ決め実施したが、後期より対象者を服用者全員に広げ減薬に取り組む
								実施	現状把握。眠剤及び向精神薬等の服薬者リストの作成 対象者7名		3名見直し 3名中止		2名見直し 2名中止	1名見直し 1名減薬									
4	(2)	入居者の心身機能の維持向上を図り、暮らしやすい生活環境をつくる	①アクティビティ(外出、季節行事、レクリエーション活動など)を充実し、計画的に実施します。 ②定期的な個別機能訓練や集団訓練を計画実施するほか、日課に散歩を取り入れ入居者の心身機能の維持向上を図ります。 ③個別の体格、障がい、生活習慣に合わせた暮らしやすい生活環境をつくります。	米澤	計画		・花見 ・畑おこし		・7/13さつき祭	・8/8開拓感謝の集い ・8/10 熱夏フェスタ ・8/22焼肉	・9/14 新秋祭 ・9/15 長生き感謝祭	C 予定通り実施することができた			・12/25ライオンズ寿司会 ・12/26 もちつき	・1/11新年会			・年間計画を予定通り実施できる ・散歩を日課に取り入れ毎日実施できる	B 年間計画はおおむね予定通り実施することができた。散歩を日課として実施することはできなかった			
					実施		実施		実施	実施	実施				餅つきは未実施(インフルエンザ)	実施							

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	
5	(3)	ご家族や地域とのつながりを大切にし、積極的に交流の機会をもつ	①ご入居者とご家族と一緒に楽しめる行事を企画・実施します。	リーダー	計画							B 予定通り実施することができ、職員の協力のもと多くのご利用者、ご家族に楽しんでいただくことができた	芋煮会(たんぽぽ)		ユニット忘年会				①ユニット行事において、ご家族が参加できるイベントを一回以上開催する	C ・新年会は従来の形式を変更し実施。その他は計画通り実施することができた	
					実施								実施		実施						
6	(4)	美味しく楽しめる食事の提供	①見た目もよく、おいしい嚥下食の提供に向け、毎日厨房ミーティングでの検討を行うほか、研修会への参加や先進施設との情報交換により質の向上を目指します。	鈴木	計画							B 水ゼリーについて、計画より前に実施し安定して提供出来た。ゼリー食については、日々実施しているが、統一・向上までには至っていない。	水ゼリーの調査・試作	→		水ゼリーの実施・評価		水ゼリー導入	・毎日の厨房ミーティングで嚥下食についての検討ができる	C 新たに桜餅のゼリー食を作成し、提供することが出来た。また、味覚減退に対し、ゼリー食の味の改善を行えた。日常献立の質の向上については達成できず。	
					実施	水ゼリーの試作・試食	水ゼリーの実施・評価	水ゼリー導入							水ゼリーの見直し	・桜餅のゼリー提示 ・ゼリー食、味の見直し					
6	(4)		②食づくりに参加することによる生活の質の向上や、季節感のあるものを食べるにより四季の移り変わりをより感じていただけるような祝膳、手作りおやつ の提案、実施します。 ③ご入居者に3大行事をより楽しんでもいただけるようなメニューを提案できるよう、試食会を実施し質の向上を目指します。	鈴木	計画	4/29昭和の日祝膳	5/3憲法の日祝膳・5/4みどりの日祝膳・5/5こどもの日祝膳 ・さつき祭メニュー検討・試食会	パティシエールズッキー①	7/21海の日祝膳 ・新秋祭メニュー検討・試食会	焼肉京料理お食事会	9/14新秋祭9/23秋分の日祝膳 ・新年祭メニュー検討・試食会	C 一部未実施の計画もあるが、新たな計画の試食会については、実施でき、スムーズにメニュー決定が出来た。	・10/13 体育の日祝膳 ・パティシエールズッキー②	11/3文化の日祝膳 11/23勤労感謝の日祝膳 Go's Kitchen①	12/23 天皇誕生日祝膳 12/25 ライオンズクリスマス寿司会 12/26 もちつき	1/11新年会1/12成人の日祝膳	2/11建国記念日	3/21春分の日祝膳 Go's Kitchen②	②季節感を感じて頂くための年間食事計画を予定通り実施できる ③3大行事の試食会を実施し、参加者に喜んで頂ける献立をつくることのできる	C 祝膳・行事について、計画的に実施できた。新企画については実施できず。	
					実施	実施	実施	未実施	実施	実施 京料理お食事会(未実施)	実施 新年会メニュー検討・試食会(未実施)		実施 パティシエールズッキー(未実施)	実施 Go's Kitchen①(未実施)	実施	実施	実施 Go's Kitchen①(未実施)				
6	(4)		④健康食としての玄米ご飯導入に向けて調査・試作を行います。 また、新たな食材の導入の検討と併せて厨房の業務の効率化を図ります。	鈴木	計画	調査 試食	調査 試食 導入(随時)						D 未実施	調査 試食 導入(随時)						美味しい玄米ご飯の年度内導入	D 実施できず
					実施	未実施	未実施							未実施							
8	(5)	スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上とチームワークの向上を目指す	①全職種、全職員を対象とした基礎介護研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力を向上させます。 ②根拠に基づき各研修に連動した具体的なOJTを取り入れた新任教育を継続実施します。	尾上	計画	4/9 緊急時対応・身体拘束・高齢者虐待研修 エルダー面談	エルダー面談	6/11、6/18 救急救命研修				B 予定通り実施することができた。また、新任用基礎介護研修テキストを見直し改訂版を作成することができた	10/8.15 食事ケア研修	11/12.19 排泄ケア研修	12/10.17 トランスファー、褥瘡、ポジショニング研修		2/12.18 認知症ケア研修		①基礎介護研修を予定通り実施し、効果測定では全職員前年よりも理解度が向上する ②新任職員の退職ゼロ	C ①基礎介護研修は実施できたが効果測定は未実施 ②新任職員(勤続1年未満)の退職者2名	
					実施	実施		実施					トランスファー研修へ変更し実施	実施	実施		実施				
11	(8)		①入院者数の減少、入退居の迅速な手続きにより空床を減らし稼働率の維持、向上を目指します	尾上	計画	会議で報告・分析						C 上半期平均 特養:96.8% ショート:80.8%	会議で報告・分析						目標稼働率 特養98%、ショート85%	C 年間平均稼働率 特養:97.0% ショート:62.6%	
					実施	特養: 98.1% ショート: 84.6%	特養: 97.9% ショート 86.3%	特養: 91.8% ショート 79.2%	特養:96.7% ショート: 77.4%	特養: 99.8% ショート 84.7%	特養:96.3% ショート: 72.5%		特養:96.9% ショート: 25.4%	特養: 98.1% ショート 40.0%	特養:95.5% ショート 38.0%	特養:97.0% ショート: 35.8%	特養: 98.5% ショート 59.3%	特養:97.7% ショート: 68.1%			
11	(9)	適正収益を確保し、安定した運営を行う	②設備、消耗品に対してのコスト意識を持ち、オムツ費用支出削減に努めます	尾上	計画	オムツ使用状況の確認と見直し						S 上半期オムツコスト 1,550千円前年比-20% (-395,510円)	オムツ使用状況の確認と見直し						オムツコスト前年比-10%	S 年間オムツコスト 3297千円(-11%) ①リハバン 299千円(-34%) ②テープ式 34千円(-86%) ③パット 2718千円(-5%))	
					実施	・平成25年度オムツコスト 3691千円															

平成 26 年度 鷹栖町デイサービスセンターはぴねす事業報告

1. 総括

平成 26 年度、デイサービスセンターはぴねすは、「環境改善」「リハビリテーション」(以下リハビリと略す)「アクティビティ・食事」の三つに重点を置き、取り組みを行った。

一つ目の「環境改善」は、ホールを仕切り、食堂、アクティビティ、リハビリ、くつろぎの四つのテーマを持つ様に環境整備を行った。また、観葉植物を増やし、緑あふれ癒やしが感じることでできる空間を目指した。

二つ目は、「リハビリ」を拡充し、全身の筋力維持向上を目標に取り組んだ。基本的な知識を学ぶため外部の講師から指導を受け、根拠のあるリハビリを行えるように目指した。定期的な体力測定を行い、データに基づく評価を機能訓練士のもと実施。その結果、50 名以上の利用者が 1 年前の状態と比べ、維持向上に至る結果となった。利用者の中には、以前ではできなかった階段の上り下りが、出来るようになったケースがあった。自宅での生活の幅が広がっている。

三つ目は「アクティビティ・食事」の充実に取り組んだ。アクティビティの中では、手先、頭を使い認知症の予防を目指しながら、形に残る物を作り、思い出を可視化することに努めた。アクセサリを自ら作成し、身につけることで、作成したことを忘れてしまっても、思い出すことが出来るという、効果が生まれた。食事は、栄養士がデイサービス会議に参加することで、食事だけではなく、利用者の暮らしている、様々な環境や状況から食事を見直すきっかけになった。

今年度は、活気あふれ、元気になっていく利用者が多くなり、三つの重点目標の成果が出たのだと考えられる。新規利用者数も、前年度比べ 38%増加したが、停止者、入院者も増加している。停止者、入院者減少が来年度に向けた課題となっている。

2. 次年度に向けて

平成 27 年度は、今年度同様、「環境改善」「リハビリ」「アクティビティ・食事」に重点をおき、取り組みを継続する。「環境改善」は平成 26 年度に引き続き、観葉植物を増やし、緑あふれるデイサービスに変えていく。「リハビリ」では利用者個人が自ら「生活目標」を決め、目標に向かった効果的なリハビリが行えるようにする。自分で決めた「生活目標」を達成することで、自律することの大切さと充実感を得ていただく。自律を行う生活習慣が実現できる環境整備を行う。「アクティビティ」では、陶芸を行い「世界に一つだけの作品ができるデイ」を作り、リハビリに興味のない利用者の方でも、通ってみたいと思われる、魅力のあるデイサービスセンターにする。「食事」ではバイキング方式を取り入れる。可能な限り自己選択し、「選ぶことの自由と喜びを感じる楽しい食事」ができる様に取り組む。

平成 26 年度の課題であった、停止者、入院者増加について、平成 27 年度は「総合記録シート」を導入する。食事、排泄、水分等多角的な視点から、体調の変化に気づく力をつけ、介護、看護、医療が連携し迅速に対応できる様にすることで、長期の入院を減らし、業績を伸ばすとともに、鷹栖町の高齢者が、住み慣れた場所で暮らし続けことができる様に努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 収益

<事業収入>

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B)／(A)×100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B)／(C)×100
48,532千円	49,052千円	101.1%	47,047千円	104.3%

<1日の平均利用者数>

目標 平均利用者数 (A)	実際 平均利用者数 (B)	達成率 (B)／(A)×100	前年度 平均利用者数 (C)	伸長率 (B)／(C)×100
19.5名	18.9名	96.9%	18.3名	103.2%

(2) 利用者年齢構成

年齢	男性	女性	合計
60 ～ 64	0	0	0
65 ～ 69	0	02	2
70 ～ 74	1	2	3
75 ～ 79	5	5	10
80 ～ 84	7	13	20
85 ～ 89	7	22	29
90 ～	7	20	27
合計	27	64	91
平均年齢	84.2	86.5	
最低年齢	74	67	
最高年齢	95	96	

(3) 事故発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
転落	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
傷をつくる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因不明の傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爪切り	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
投薬管理ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衣服破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	0	1	3	0	1	1	0	0	1	8

(4) 職員研修

< 苑内研修参加状況 >

日 程	研 修 内 容	参加人数
5/11	介護予防特別研修	10名
5/20	学習療法士認定研修会	8名
6/11	救急救命講習	9名
6/26	食中毒予防研修	9名
7/22	メンタルマネジメント研修	9名
9/15	基礎介護研修 (移乗)	8名
9/29	感染症予防研修	8名
10/15	基礎介護研修 (排泄)	8名
11/12	基礎介護研修 (食事)	6名
2/18	基礎介護研修 (認知症)	7名

< 外部研修参加状況 >

日 程	研 修 名	参 加 者
5/1	茨城県 最先端施設見学	谷・藤川
7/10	新任職員研修	佐藤
8/5	茨城県 最先端施設見学	谷口・松原・中山
11/25	感染予防研修	藤川
11/15	実習指導者研修	谷口
1/29	北海道デイサービス施設長研修	谷
2/3	介護支援専門員実務者研修	松原・藤川

(5) デイサービスセンター会議実施状

開催月	内 容	参加人数
4月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・平成26年度行動計画について	10名
5月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善	8名
6月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善	9名
7月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善	9名
8月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善	9名
9月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・平成26年度活動計画	8名
10月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 忘年会・環境	7名
11月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 忘年会について	7名
12月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善	8名
1月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	8名
2月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	7名
3月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	9名

(6) ボランティア受け入れ状況

日 付	団体名・個人名	ボランティア内容	人 数
H26 4/10	かあさんの本棚	かたりべの会	4 名
4/19	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
5/9	かあさんの本棚	かたりべの会	3 名
5/17	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
5/26	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	17 名
6/14	かあさんの本棚	かたりべの会	4 名
6/23	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	19 名
6/27	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名

7/14	かあさんの本棚	かたりべの会	4 名
7/19	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
7/28	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	15 名
8/16	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
8/19	かあさんの本棚	かたりべの会	4 名
9/10	かあさんの本棚	かたりべの会	3 名
9/22	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	15 名
10/18	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
10/27	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	14 名
11/22	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
11/24	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	19 名
12/6	かあさんの本棚	かたりべの会	2 名
12/20	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
H27 1/17	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
1/19	かあさんの本棚	かたりべの会	3 名
1/26	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	23 名
2/17	かあさんの本棚	かたりべの会	3 名
2/23	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	18 名
2/28	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
3/14	佐藤 博子様	アロママッサージ	1 名
3/18	かあさんの本棚	かたりべの会	2 名
3/23	鷹栖老人会カラオケクラブ	カラオケ	23 名
合計	延べ 30 回		206 名

(7) 行事

日時	行事名	場所	担当者
H26 4/18. 23	外食ツアー	伝承館・駒寿司	谷口・小林・中山
4/11. 12. 21. 22	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
5/12	外食ツアー	とわ北斗	谷口・中山
5/14. 15. 19. 20	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
5/22 ・ 27	買い物ツアー	100 円ショップ・ダイイチ	谷口・中山
6/28	ソフトクリーム (パスレク)	丸山パークゴルフ場	谷口・中山
7/10	ソフトクリーム (パスレク)	丸山パークゴルフ場	谷口・中山
6/11・12・21・22	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川

7/16・25	外食	回転寿司・餃子の王将	谷口・中山
8/3	デイ夏祭り	デイセンター内	谷口・松原
8/13・14	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
8/21・22	外食ツアー	回転寿司	谷口・中山
9/18・19	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
9/27・29	バスレク	神居古潭	谷口・中山
10/15・17	バスレク	神居古潭	谷口・中山
10/10・13	ミニ運動会	デイセンター内	谷口・中山
10/20・21	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
10/23・25	外食ツアー	回転寿司	谷口・中山
11/12	外出ツアー	てくてく	谷口・中山
11/24・25	外食ツアー	回転寿司	谷口・中山
12/17・19	忘年会	デイセンター内	松原・谷・田中・藤川
H26 1/20・22	手作りおやつ	デイセンター内	松原・藤川
3/27	バスレク春探し	旭川市高砂台	谷口

平成26年度鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑事業報告

1 総括

H26年度は茶話会の取り組みも2年目となり、開催の数も年間4回から5回へとふやし、合計82名の参加があった。内容も身近な生活のお役立ち情報から、皆さんの関心が高い健康・介護に関する専門的な講話などを盛り込み「参加してよかった」と思ってもらえるよう毎回、工夫してきた。初回はお茶とお菓子だけで午前中で終了という内容でのスタートだったが2回目からは参加者の声を反映し、サンドイッチ・おにぎり等の軽食を準備し、ゆっくり交流してもらえるようにした。そして軽食の内容も市販のものからヘルパー手作りのものへと改善し、回を重ねるごとに次の開催を期待する声も聞かれ、地域の皆様に定着しつつある。

そうした活動の成果からか、例年は12名ほどの新規利用者数が今年度は26名と数年来続いていた業績不振が大きく改善した年だった。ヘルパーの体制も訪問回数の増加に追いつかない状態となり、新たに2名のスタッフを採用した。反面、入院者数も多く、又その疾患も重篤な場合が多く、長期化や残念ながら回復できず、利用停止に至るケースも5件あった。

登録者の介護度をみると要支援者より、要介護者の方が5割ほど多く、在宅利用者の重度化が覗える。これに伴い身体介護が必要なケースもふえ、身体介護は複合介護と合計すると訪問回数の半数を超えている。ヘルパーも生活援助だけでなく身体介護のスキルを上げていかなければならないところであるが今年度は訪問業務に追われ外部研修には出席できておらず次年度には是非、受講し知識・技術を習得し、事業所内で共有し、ヘルパー全体のレベルアップを図りたい。

2 次年度に向けての展望

H27年度は茶話会の講師陣も外部から招くなど、より魅力のある茶話会・参加しやすい茶話会へと成長させ「地域のお茶の間」として定着させる。またH27年度は常勤3名体制でスタートできたので業務の分業を進め帳票類は速やかに整えるよう努め、ひとりひとりの利用者に対し、きめの細かい支援を行っていく。入院者の増加を食い止めることは大きな課題であり、飲食状況の把握や持病の悪化などのサインを見逃さず、迅速に対応することで体調の維持を支えていく。

ヘルパー研修では、サービス提供時に現場でより役立つ内容を取り入れ、しばらく行っていなかった調理実習も計画し実務に直結した研修内容にする。特に認知症の在宅高齢者では自宅での生活に様々な支障が発生しており、多くの危険にさらされている。認知症に対する正しい知識を深め、事故を未然に防ぎ、居宅プランの中でのヘルパーの役割を確実に果たし、これまで以上に利用者・家族から信頼される事業所をめざす。

3 運営状況・統計資料

(1) 根拠に基づく介護サービスの提供の基盤整備

① 根拠に基づくサービス提供

訪問介護計画作成時、居宅プランを精査し、サービスの根拠をよく確認しアセスメントに照らして訪問介護計画に連動させた。

また、ヘルパーの立場から居宅プランに疑問や提案がある場合はヘルパー会議に図りケアマネに伝え改善につなげることができた。

② サービス内容・提供方法の標準化

サービス手順書は随時作成し、変更内容の詳細についてはヘルパー会議で各ヘルパーの意見を集約し、より良い方法にまとめサービス提供方法の統一を図った。新規契約者については初回訪問で把握しきれない点があり、作成が遅れぎみになるので業務分担を適切に行うことでこの点を改善する。

(2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤整備

① サービス評価と第三者評価の推進

今年度の満足度調査では「満足・概ね満足」の回答は昨年比+11 ポイント、「やや不満」の回答-20 ポイントで昨年の評価を上回った。少数ではあるが掃除の仕方などにご意見をいただきサービス提供について振り返る機会となった。

② 職員の地域活動の推進

昨年に引き続き今年度もサロン活動として茶話会を開催した。地区ごとに、参加状況にばらつきはあるものの地域の方に浸透しつつある。人口の少ない地域での開催も大切にし、ご近所同士の絆を強める役割を果たす。

	北斗・北成地区	鷹栖地区	北野地区	中央地区	北野地区
日程	5/11	11/30	7/6	10/26	2/22
参加人数	5 名	23 名	17 名	9 名	28 名

③ 利用者・家族と職員との交流促進

今年で 12 回を数える「交流を深める食事会」は目標を超える参加があり、参加者によるハーモニカ演奏にあわせて童謡の合唱を楽しみ、おいしい鍋料理に舌鼓を打ち、盛会のうちに終了した。

食事会	メニュー	経費	参加人数
9/28	赤飯・稲荷寿司・海鮮鍋・漬け物 ・アイスクリーム	65,000 円	26 名

(3) ヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る

① 専門性と介護技術の向上

ヘルパー研修では消防署員や栄養士、相談員など多彩な講師を迎え例年行われてきた救急救命講習や食中毒・感染症予防研修に加え、日々の訪問業務で直面しがちなテーマを取り上げて学んだ。

<ヘルパー研修>

開催日	テーマ	講師	参加人数
4/9	接遇・マナー	西中	6人
5/7	生活援助の見直し	西中	5人
6/27	一般救急救命講習	鷹栖消防署	4人
6/30	一般救急救命講習	鷹栖消防署	3人
7/15	食中毒予防研修	己上栄養士	7人
8/6	ホームヘルパーのための体調改善	西中	7人
9/10	認知症ケアについて	谷課長補佐	5人
10/8	非言語的コミュニケーション	西中	7人
10/31	感染症予防研修	谷水	7人
12/3	訪問介護サービスで提供可能な範囲	西中	8人
1/14	入浴介助	大坪	7人
2/4	緊急時マニュアル学習	西中	8人
3/4	マニュアルの学習	西中	9人

<外部研修>

今年度は急激な訪問回数の増加に対しスタッフの補充が迅速にできず、道ホームヘルプサービス研究大会・スキルアップ研修共に参加できずに終わった。

次年度は必ず参加する。

② ヘルパー会議を毎月開催

ヘルパー会議を定期開催し、居宅との情報共有化を図り、利用者にとって、より最適なサービスの提供について議論を重ねた。事業所内の課題や行事計画についても検討しチーム全体として事業所運営を行った。

<ヘルパー会議開催状況>

開催日	内容	参加者
4 / 2 3	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
5 / 2 1	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
6 / 2 5	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
7 / 2 3	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 食事会について ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
8 / 2 0	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 食事会について ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
9 / 2 4	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 食事会について	ヘルパー 6 名 居宅 2 名
1 0 / 2 2	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会	ヘルパー 7 名 居宅 3 名
1 1 / 1 9	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 6 名 居宅 3 名
1 2 / 1 7	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 9 名 居宅 3 名
1 / 2 8	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ H27 事業計画策定について	ヘルパー 10 名 居宅 3 名
2 / 1 8	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 7 名
3 / 2 4	・ 情報交換 ・ 業績報告 ・ 経営改善会議の報告 ・ 満足度調査結果報告 ・ 茶話会について	ヘルパー 9 名

(4) 安全を確保し、安心を提供する基盤の整備

① リスクマネジメントの徹底

＜過去 2 年間と H26 年度の事故発生状況＞

	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
私物破損	2 件	3 件	2 件
訪問忘れ	0 件	1 件	0 件
訪問遅れ	0 件	0 件	1 件
苦情	1 件	3 件	1 件
救急搬送	1 件	0 件	0 件
車両関係	0 件	1 件	1 件
転倒など	1 件	4 件	2 件
合計	5 件	1 2 件	7 件

＜H26 年度私物破損内容＞

発生日	内容	原因	対策
7/8	コップを割る	不注意	丁寧に取り扱う
8/8	置物破損	落下	慎重に取り扱う

H26 年度の事故発生状況をみると「私物破損」は 2 件であった。取り扱いの不注意によるものである。車両関係では怪我はなかったが交差点での衝突事故があった。交差点では十分な確認を怠らないよう安全運転の意識を喚起した。身体介護では爪切りの際に指を傷つける事故が 1 件発生している。掃除について発生した苦情については手順書の整備や丁寧な説明の必要性を改めて確認した。

② 指示・報告ノートを活用

各ヘルパーに対し訪問前に利用者に関する情報を伝え、訪問終了後には報告を受けることで確認もれを防ぎ、体調の経過観察ができ、きめの細かいサービスの提供ができた。直行直帰のヘルパーからは訪問前の状況把握をすることで、安心して訪問に赴き効果的な支援ができるとの声があった。

③ 身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につける。

プライバシー保護・接遇マナー等の研修で職業倫理観を喚起し、不適切なケア・言葉や態度による人権の軽視が発生しないよう学んだ。ヘルパーは単独での業務となるため同

僚からの気づきを得る機会が少なく、利用者からも直接の声は上がりにくいものなので個々のヘルパーが常に自分の言動を振り返ることを習慣とした。

（５） 効率的・安定的な事業所運営基盤の整備

① 適正収益の確保

今年度は昨年との比較で身体介護・生活援助・複合介護で大きく訪問時間が伸びている。介護予防では、ほぼ変化がなく将来を考えると要支援者の新規利用者開拓が課題である。

<訪問内容別活動時間>

訪問内容	H 2 5 年度月平均時間	H 2 6 年度月平均時間
身体介護	6 3 . 2	1 2 8 . 4
生活援助	1 1 0 . 3	1 8 8 . 2
複合介護	3 6 . 5	7 0 . 6
生きがいホームヘルプサービス	9 . 0 8	1 1 . 3
介護予防訪問介護（予防Ⅰ）	3 9 . 5	3 8 . 5
介護予防訪問介護（予防Ⅱ）	5 4 . 6	5 4 . 5
介護予防訪問介護（予防Ⅲ）	1 8 . 2	1 4 . 3
私的契約	4 . 1	4 . 1
難病ホームヘルプサービス	0	0

② 事業所加算の取得について

今年度も各自、自分の課題をテーマにして個別研修に取り組み、スキルアップに努めた。指示報告シートを活用し、ハウレンソウを徹底し、きめ細かいサービス提供に努め昨年に引き続き事業所加算Ⅱを取得することができた。

③ 適正な目標収益の追及と収益増減の原因分析

今年度は登録者数 45 人、新規利用者 18 人月間訪問回数 400 回を目標に掲げ、居宅とも連携し活動してきた。その結果、登録者数は月平均 48.8 人、新規利用者数 26 名、平均月間訪問回数 494.5 回でいずれも目標を達成することができた。次年度は今年度伸び率が横ばいだった要支援者に対しサロン活動を通じ、介護予防の観点からアプローチしていく。

<事業収入>

<単位 千円>

目標収益 (A)	実際収益 (B)	達成率(B)/(A)	前年度収入 (C)	伸長率 (B)/(C)
14,017	19,572	139.3%	14,186	138.0%

<新規利用者状況一覧> 26名

利用開始日	性別	年齢	訪問内容	利用回数
4/4	女	84	身体1生活2	週4回
4/12	女	83	生活援助3	週1回
4/30	女	85	生活援助3	週2回
4/30	男	91	生活援助3	週2回
5/8	男	88	身体介護2	週2回
5/12	女	87	予防Ⅱ	週2回
5/27	女	91	生活援助3	週3回
5/29	女	95	身体介護1	毎日1回
6/2	女	81	生活援助3	週2回
6/18	女	69	身体介護2	週2回
7/14	女	94	身体介護1	週1回
7/18	女	88	予防Ⅱ	週2回
7/25	女	79	生活援助3	週2回
7/26	男	82	生活援助3	週5回
9/1	女	69	身体2生活1	毎日1回
9/5	男	90	生活援助3	週1回
9/9	女	77	生きがい	週1回
10/28	男	70	身体介護2	週2回
10/16	女	81	身体介護1	週3回
11/11	女	96	身体介護2	週2回
11/15	男	74	生活援助3	週2回
11/15	女	74	生活援助3	週2回
12/3	女	83	身体1生活1	週4回
1/6	女	90	予防Ⅲ	週3回
2/3	男	87	予防Ⅱ	週2回
2/18	男	75	生きがい	週1回

<利用停止者一覧>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15名

利用停止日	性別	年齢	停止理由	訪問内容
4/4	男	78	死亡	生活援助 3
4/7	女	93	施設入居	身体介護 1
5/5	女	90	施設入居	予防Ⅱ
6/19	男	90	死亡	生活援助 3
6/30	女	83	施設入居	予防Ⅱ
7/1	女	90	他サービスに移行	身体介護 1
10/27	男	90	死亡	生活援助 3
10/28	男	90	施設入居	生活援助 3
10/28	女	82	施設入居	生活援助 3
1/1	女	90	施設入居	身体 2 生活 1
1/8	男	93	死亡	身体介護 1
1/10	男	78	自立	生きがい
1/17	男	83	死亡	身体介護 2
3/31	女	78	施設入居	予防Ⅰ
3/31	女	93	転出	身体介護 2

(6) コスト管理の徹底

① 適正な予算管理・物品管理の徹底

年1回の事業所行事である「交流を深める食事会」は今年で12回を数えた。高齢者に喜ばれるメニューの企画をしたが予算を超えることなく実施でき、目標を超える参加があった。

消耗品の在庫管理も年3回行っており各物品の在庫数と記録の不一致はなかった。

次年度以降、予算を適正に管理する上で移動距離を考慮し効率の良い訪問表の作成に努めるとともに事務作業の効率化を図りムダをなくす。

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との運動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容			
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①丁寧なアセスメントを行い、課題・ニーズを適確に捉え個別に即したケアプランを作成して質の高いサービスを提供する。	西中 上野	計画	←居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する→							←居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する→						ケアプラン更新の都度アセスメントを行い、利用者のニーズと整合性の取れたプランを作成する。	C	訪問介護計画書の作成に遅れが生じた			
					実施	←新規のプランは2週間以内には作成できなかった→						C	←新規のプランは2週間以内には作成できなかった→											
			②サービス提供後の効果を把握する為モニタリングを実施し、サービス提供の成果や変更の必要性について確認する。	西中 伊藤	計画	←モニタリングを遅れず実施する→							←モニタリングを遅れず実施する→						毎月1回のモニタリングとケアマネージャーへの報告を行い、改善点があれば速やかに居宅支援事業所、地域包括支援センターに提案する。	C	居宅・地域包括には随時報告、提案はしていたが書類整備が遅れた			
					実施	←モニタリングの書類整備が遅れた→						C	←モニタリングの書類整備が遅れた→											
			③定期的なカンファレンスを継続し、潜在している課題の把握に努め早期対応を可能にする。	西中 上野	計画		カンファレンス 開催			カンファレンス 開催				カンファレンス 開催			カンファレンス 開催		課題発生時には随時、その他の利用者にも3ヶ月に1度ケースカンファレンスを開催し、修正事項があればケアプランを変更する。	C	カンファレンスの時間を取れずヘルパー会議での議題とした			
					実施		未実施			未実施		C		未実施			未実施							
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	①ヘルパーのサービス内容やサービス提供方法を統一するためにサービス手順書を作成する。	西中 上野	計画	←手順書の作成→							←手順書の作成→						訪問介護計画書の作成時に手順書の確認も併せて実施し、計画書の更新に連動して作成できる。	C	変更になっているケースもあり、見直しが必要であるができなかった			
					実施	←着手したが5割程度の実施状況である→						C	←着手したが5割程度の実施状況である→											
			②ヘルパー会議でサービス提供方法の詳細について意見交換し手順書の変更の必要があれば速やかに変更する。	伊藤 上野	計画	←手順書の確認→							←手順書の確認→						サービス手順書を活用し、サービスの標準化を図り、サービス内容やサービス提供方法の違いによる苦情をゼロにする	C	掃除の手順に関する苦情が1件あり、ゼロにはできなかった			
					実施	未実施						C	未実施											
			3	(2)	サービス評価と自己研鑽の取り組み	①質の高いサービスを提供する為、サービス評価自己点検を行い、改善点を探りサービスの質向上に結びつける	上野 伊藤	計画										自己点検実施		総括		サービス評価自己点検を年1回行う。	B	実施できた
								実施												実施				
②「ホームヘルパーチェックリスト」を活用し、訪問前に自己チェックする	上野 伊藤	計画				←自己チェックを忘れない→							←自己チェックを忘れない→						「ホームヘルパーチェックリスト」の実施状況をヘルパー会議で確認することで習慣化できる。	B	チェックリストの内容はほぼ、身につき身だしなみへの苦情はなかった			
		実施					実施		実施		実施	B	実施			実施		実施						
③ご利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公開する	伊藤 上野	計画														調査票準備	満足度調査 実施	満足度調査 結果分析	総括	広報さつきで 公開	満足度調査を実施し、「良い」「概ね良い」の評価が昨年を上回る	B	「よい・概ねよい」の回答は昨年比+11ポイント、「やや、不満」は-20ポイントで昨年の評価を上回った	
		実施															実施							
4	(2)	地域・家族との関係強化の取り組み	①利用者の飲食・排泄等健康状況の把握に努め基礎体力向上を図る。	西中 高橋	計画	←ヘルパー会議で体調に関する情報交換→							←ヘルパー会議で体調に関する情報交換→						健康状況を把握し、入院件数を月間1名以下にする。	C	情報交換は毎月実施していたが月、平均で4名の入院者があり長期入院が多く、利用停止に至るケースも少なくなかった			
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	C	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			②茶話会や声かけ訪問を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び地域住民の潜在しているニーズを把握する。	西中 高橋	計画		茶話会		茶話会	声かけ訪問随時			茶話会	茶話会	声かけ訪問随時	茶話会			年5回の茶話会を開催し、新規利用者増に繋げる。	A	予定どおり、5回の茶話会を実施でき、地域住民にも定着しつつあり好評であった			
					実施		実施		実施			A	実施	実施			実施							
			③職員自身が地域を知り、地域を学ぶ為に自ら積極的に地域活動に参加する。	西中 高橋	計画								福祉の集いパネル 展示						町内各地域で行われる行事に自主参加し、地域を知る機会とする。福祉のつどいにパネル展示をする。	D	今年度はパネルの展示はできなかった			
					実施								未実施											
5	(2)	利用者・家族と職員との交流促進	①利用者・家族と職員との繋がりを大切にし、お互いの交流を促進する為、年1回交流会を開催する。	上野 高橋	計画				食事会計画 書作成	案内文書配布	食事会実施									利用者・家族、25名以上の参加を得る。	A	利用者・家族を含め26名の参加があり、盛会だった		
					実施				実施	実施	実施	A												
			②日頃の感謝の気持ちを込めて、ご利用者に誕生日プレゼントを贈呈する。	上野 佐々木	計画	←バースディプレゼントを贈呈する→							←バースディプレゼントを贈呈する→						ご利用者のお誕生日に、失念や遅滞なくお祝いのプレゼントを贈呈する。	B	利用者の誕生日には失念なくプレゼントを贈呈しよるこばれた			
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	B	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			③入院中の利用者を見舞い、回復を待っている事を伝え励ます。又、声かけ訪問や利用休止者と連絡をとり、利用再開の必要性がないか確認し、関係を保つ取組みをする。	上野 佐々木	計画	←お見舞い随時→							←お見舞い随時→						入院中の利用者を見舞い、利用者・家族を励ます。(1入院に1回以上)利用休止者に休止後の生活状況確認等の連絡をとる。	B	病状の重い場合を除いて実施できた			
					実施			実施			実施	B			実施									
6	(3)	専門性と介護技術の向上	①ヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る為、ヘルパー研修を毎月実施する。	西中 伊藤	計画	←ヘルパー研修の開催→							←ヘルパー研修の開催→						毎月ヘルパー研修を開催し事業所全体のスキルアップを図る。	B	ヘルパー研修は計画どおり開催できている			
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	B	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			②計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得を図り、事業所内で報告会を行い、内容を共有する。	西中 上野	計画				外部研修参加		外部研修参加			外部研修参加					年間3箇所以上の研修に参加し、事業所内報告会で他のヘルパーと知識を共有する。	D	今年度は外部研修には参加できなかった			
					実施				未実施		未実施	D		未実施										
			③ヘルパー会議を月1回定例で開催し、事業所内の問題解決の協議や、ヘルパーとケアマネージャーとの情報の共有化を図る。	西中 上野	計画	←ヘルパー会議の開催→							←ヘルパー会議の開催→						ヘルパー会議を月1回開催し、居宅と連携し利用者ニーズに即したサービスを提供する。又、居宅・包括に対しサービス向上について5件以上の提案ができる。	B	ヘルパー会議は予定どおり開催でき、居宅・包括に必要な提案ができた			
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	B	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
④身体介護力の向上を図る。	上野 伊藤	計画							ヘルパー研修			ヘルパー研修		ヘルパー研修	ヘルパー研修		身体介護をテーマにしたヘルパー研修で介護技術・知識を学ぶ。	C	身体介護をテーマにした研修は2回しかできなかった					
		実施			実施				C				実施											

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との運動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容	
7	(4)	組織的・総合的な安全確保の推進	①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。	伊藤 上野	計画						集団指導報告				職業倫理研修				集団指導の報告から管内の不適切事例等を学び、ヘルパー研修でも職業倫理を再確認し、接遇・マナーに関する苦情ゼロを目指す。	B	計画どおり、実施でき接遇・マナーに関する苦情はなかった	
			②「指示報告シート」を活用し、報告・連絡・相談を徹底することにより、注意事項の確認もれを防ぐ。	上野 伊藤	計画	←「指示報告シート」を活用しホウ、レン、ソウの徹底をはかる→							←「指示報告シート」を活用しホウ、レン、ソウの徹底をはかる→						訪問前の指示、訪問後の報告、連絡を密にすることできめの細かいサービス提供ができる。	B	指示報告シートの活用により、ヘルパーが訪問前に前回の利用者状況を把握でききめの細かいサービス提供ができた	
			③車両の管理を定期的に行い、安全運転の励行に努め車輦事故ゼロを目指す。	伊藤 上野	計画			月1回洗車	車輦の管理	月1回洗車	月1回洗車		月1回洗車	月1回車内清掃	月1回車内清掃	月1回車内清掃	月1回車内清掃	月1回車内清掃	月1回は車輦清掃を行う 安全運転を励行し車輦事故・接触事故は起さない	C	洗車は予定どおり実行できず車両事故が1件発生した	
			実施			未実施	未実施	未実施	未実施	C	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施						
			計画																			
			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
8	(3)	職場環境の改善	①書庫・事務所内の整理整頓を行い、業務効率のアップと環境美化に努める。	上野 伊藤	計画		書庫整理	書庫整理	事務所整理	書庫整理	書庫整理		事務所整理	書庫整理	事務所整理	書庫整理	書庫整理	事務所整理	決裁板の速やかな回覧を心がけ、ファイルや書類の整理整頓に努め、事務所内の美化を徹底し、週に1度チェック表に記入する	B	事務所内の整理・整頓は毎日心がけ、週1回のチェックで確認した	
			②事業所内交流会を計画し、ヘルパー間のコミュニケーションを図る	上野 西中	計画				交流会				交流会							事業所内交流会を年2回以上計画し、訪問介護特有の勤務形態によるコミュニケーション不足を改善する。	B	計画どおり、年2回の部署内交流会を実施し、楽しむことができた
			③面談や訪問記録を通し、業務や人間関係等抱える問題に気付き、感情労働への配慮・精神衛生・チームワークの向上を図る	上野 西中	計画		面談			訪問記録の活用			面談			訪問記録の活用				訪問記録から支援の難しい状況を把握し、日常的に声をかけることで悩みや問題の早期相談・解決で深刻化を予防する	C	定期面談は実施できたが日常の訪問での悩みやストレスへの対応は十分ではなかった
			実施		実施			未実施	未実施		C	実施			未実施	未実施						
			計画																			
			実施		実施																	
9	(4)	社内業務の基準化・標準化	①各種マニュアルの学習会を行い、必要時に適切な対処ができるよう備える。	西中 伊藤	計画										緊急時学習会			緊急時学習会	各種マニュアルを学習し、それぞれ、適切な対応ができるよう備える。	B	「ホームヘルパーお助けBOOK」を活用し、訪問時の急変について学習した	
			②利用者・職員を感染症から守る為、感染予防について学習し、ヘルパー自身感染予防マニュアルの励行を徹底する。	西中 上野	計画				食中毒予防研修						インフルエンザ予防研修				年2回、感染症に関する学習会を行い利用者宅での食中毒発生をゼロにする。 インフルエンザやノロウイルス等の感染及び、蔓延を予防できる。	B	栄養士・感染症委員会の協力を得て、食中毒予防・感染症予防研修を行い、利用者にも深刻な症状は発生しなかった	
			③業務分担を明確にして、無駄やムラをなくし業務の効率化を図る	西中 伊藤	計画		業務分担				業務確認			業務確認				総括	業務分担を明確にし、速やかに事務処理を行い、勤務時間の有効活用を目指す	C	年度の早い時期に業務分担ができず事務処理の遅滞が発生した。年度末には次年度に向けて実施できた	
			実施		未実施				未実施	C		未実施					実施					
			計画																			
			実施		実施																	
10	(5)	利用者獲得の為の営業・広報活動を強化する	①潜在的なニーズを発掘する為、ケアマネージャーと連携し、茶話会活動を町内に展開し新規利用に繋げる。	上野 西中	計画	←情報交換→							←情報交換→						茶話会を年5回以上開催し、新規利用者18名を超える。	S	予定どおり、開催でき新規利用者は26名と昨年より良い交流の場となった	
			②個別研修の取り組みや、指示報告のートの活用により事業所加算を継続して取得する。	伊藤 西中	計画	←ヘルパー個別研修を継続する→							←ヘルパー個別研修を継続する→						個別研修が計画通り実施できる。 事業所加算の取得を継続できる。	B	ヘルパー個別研修を毎月実施し事業所加算Ⅱを取得できた	
			③適正な目標値を設定するとともに、毎月実績確認を行い、その都度、収益増減の原因を明らかにする。不在がちな利用者には事前電話で確認する。	上野 西中	計画	←実績報告→							←実績報告→						登録者数45人・新規利用者18人・月間のべ訪問回数400回を達成する	A	登録者数49人・新規利用者26人・月間のべ訪問回数494.5回と目標を達成できた	
			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	実施	実施	実施	実施	実施	実施						
			計画																			
			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施					
11	(5)	適正収益の確保	①目標収益を14,016,000円に掲げ、加算取得・茶話会活動を展開し達成に向け、業績報告をヘルパー会議で行う。	西中 伊藤	計画	←ヘルパー会議で業績報告→							←ヘルパー会議で業績報告→						目標収益14,016,000円を達成する	A	介護保険収入19,603,000円となり目標収益を達成できた	
			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	実施	実施	実施	実施	実施	実施					
12	(5)	コスト管理の徹底	①物品管理一覧表により在庫管理を徹底し、コスト意識を高める。	伊藤 高橋	計画	在庫確認			在庫確認				在庫確認				在庫確認		在庫数と記録の不一致をゼロにする	B	物品管理は適正に行われており、在庫数と記録の不一致はなかった	
			②移動距離等、効率を考慮した訪問予定表を作成する。	伊藤 西中	計画	←訪問表の効率化→							←訪問表の効率化→						効率の良い訪問表を作成し、移動時間や燃料の減少に努め直行直帰勤務を昨年より減らす。	B	できるだけ、効率のよい訪問表の作成に努めた	
			実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	B	実施	実施	実施	実施	実施	実施					
			計画																			

平成 26 年度 鷹栖町介護センターさつき苑事業報告

1. 総括

H26 年度は利用者数の増加に伴い、11 月からケアマネジャー1 名増員し、常勤ケアマネジャー4 名体制で事業活動を行った。

ケアマネジメントでは前年度に引き続き水分ケアや在宅版総合記録シートを用いた「健康リスク重視のケアマネジメント」を強化した。また、担当ケースの課題解決に向けて地域ケア会議に事例を提出し役場や社会福祉協議会等各機関との連携を図った。さらに、利用者の願いが叶えられるケアプランを作れるように、ケアマネジャーが利用者・家族と一緒に外出する「活き活きはびねすプラン」を今年度も企画し、てくてく朝市や盆踊り等、地域と繋がるような支援を展開しQOLの向上の機会となった。

ケアマネジャーのスキルアップを図るため新たに地域包括ケア推進チーム研究会が発足し、在宅利用者の事例検討を重ね身体的・心理的・環境的な要因を分析することで効果的なケアマネジメントが実施できた。また、かねてより経験 5 年以上のケアマネジャーには、主任介護支援専門員専門研修を奨励・支援。今年度 1 名が研修修了し、事業所内の主任介護支援専門員は 2 名となった。

その他、認知症の理解を地域に広げることを目的とした高齢者住宅での認知症出前講座や在宅介護者を対象としたケアケア交流講座の継続、ヘルパーが主催している茶話会に参加し地域住民との交流を図った。

2. 次年度に向けた展望

次年度は、昨年に引き続き健康リスク重視のケアマネジメントと在宅版総合記録シートの活用により、体調悪化による入院者を減らせるようにすることと、より暮らしの中に喜びと楽しみが見られるように「活き活きはびねすプラン」を継続し自立支援と QOL 向上を目指していく。また、ケアマネ会議・地域ケア会議・地域包括推進チーム研究会に個別事例を提出し課題解決とケアマネジメントのスキルアップの強化を図る。今年度から主任ケアマネジャーが 2 名体制となるため、教育とサポート体制を充実させケアマネジャー育成に努める。また認知症出前講座・ケアケア交流講座・茶話会の参加等、地域貢献活動の継続により地域住民・関係機関との繋がりを拡充する。

3. 運営状況・統計資料

(1) 居宅サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	67	77	78	75	77	80	74	82	81	76	78	82	77
平成13年度	78	82	79	87	87	89	88	98	93	92	103	107	90
平成14年度	104	108	106	110	110	116	109	108	102	98	100	107	107
平成15年度	109	110	114	115	118	117	119	121	116	121	125	126	118
平成16年度	142	142	143	145	143	145	148	146	145	148	151	154	146
平成17年度	158	151	155	158	156	155	156	156	157	152	148	145	154
平成18年度	147	143	141	140	135	128	129	129	124	123	113	115	130
平成19年度	114	116	113	104	106	105	106	104	101	104	106	109	107
平成20年度	114	114	112	114	111	105	113	113	113	112	112	113	112
平成21年度	110	96	92	88	89	90	91	86	87	88	92	94	92
平成22年度	96	92	94	97	99	97	101	96	99	88	91	94	95
平成23年度	91	92	99	100	107	104	107	105	104	101	102	107	102
平成24年度	110	113	113	113	116	110	109	118	112	113	110	115	112
平成25年度	115	118	119	114	117	118	118	123	119	115	112	119	117
平成26年度	113	116	116	115	120	116	123	120	118	125	124	120	118

(2) 上記利用者の要介護度分布

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
要支援	7	11	15	26	33									
要支援1						3	7	6	8	8	7	9	11	11
要支援2						13	18	17	13	13	12	12	11	9
経過的要介護						15								
要介護1	37	44	48	58	53	38	21	25	32	36	42	45	52	57
要介護2	15	21	22	24	29	26	25	34	23	19	19	24	23	22
要介護3	15	11	14	18	19	19	18	17	9	10	10	9	10	10
要介護4	10	11	11	13	13	12	12	8	3	6	9	9	9	7
要介護5	6	8	8	7	7	5	6	7	5	3	3	3	6	9

※人数は、各年度の平均人数

(3) 苑内・苑外研修参加状況

① 苑内研修

月日	内容	講師等	開催地	参加者
4.27	地域包括ケア勉強会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	河田・坂林・佐々木
6.21	地域包括ケア勉強会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	河田・坂林・佐々木
7.3	楽匠Z介護ベッド勉強会	(株) ニック	はびねす	河田・坂林・佐々木
7.12	メンタル・ブレイントレーニング	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	波潟施設長・河田 坂林・佐々木
7.23	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林・佐々木
8.25	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林・佐々木
9.24	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林・佐々木
10.29	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林・佐々木
10.31	感染症予防研修	谷水・藤川看護師	はびねす	河田・坂林・佐々木
11.27	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林 伊賀・佐々木
11.30	在宅ケアカンファレンス	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	波潟施設長・河田・坂林 伊賀・佐々木
12.24	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林 伊賀・佐々木
1.28	在宅ケアカンファレンス	波潟施設長	はびねす	河田・坂林 伊賀・佐々木
3.18	在宅ケアカンファレンス	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	はびねす	波潟施設長・河田・坂林 伊賀・佐々木

② 苑外研修

月日	内容	講師等	開催地	参加者
6.14	事例検討会	ばとん 西中裕一氏	てくてく	佐々木
6.21	第2回全国地域包括ケア研究会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏、他	クロス10	全員参加
7.11	旭川摂食・嚥下講演会	大阪大学大学院歯学研究科 教授 阪井丘芳氏	旭川市	河田
7.12	自立支援協議会 上川圏域実践報告	かみかわ相談支援センターねっと地 域コーディネーター岸 美佳氏	てくてく	佐々木
8.1	福祉用具展示会	マルベリーさわやかセンター	旭川市	河田・坂林 佐々木
8.2	生活福祉相談センターについて	鷹栖町役場 健康福祉課地域福祉係 西間 晃宏氏	てくてく	佐々木
9.6	第10回全国高齢者ケア研究会・ 第3回全国地域包括ケア研究会	高齢者ケア研究会 泉田照雄氏	鳥取県米子 市	波潟施設長 河田
9.20	事例検討会	介護センターさつき苑 佐々木恵子	てくてく	佐々木
10.6	認知症サポーター研修	地域包括支援パートナー 施設長 清水 孝修氏	サンホール はびねす	河田・坂林
10.15	成年後見制度セミナー	旭川成年後見支援センター	鷹栖町	河田・坂林 佐々木
11.29	福祉とまちづくりフォーラム	鷹栖町自立支援協議会	てくてく	佐々木
12.2	第4回全国地域包括ケア ケアマネジメント研究会	全国高齢者ケア研究会 泉田照雄氏、 他	クロス10	全員参加
12.3	H26年度北海道 主任介護支援専門員研修	北海道総合研究調査会	札幌市	伊賀
12.19	健康予防リハビリについて	森山メモリアル病院 部長小林 浩一氏	てくてく	河田・坂林 伊賀・佐々木
1.24	日常生活自立支援事業について	小野 米一氏	てくてく	佐々木
1.25	ケアマネの上手な使い方&選 び方について	成田 邦子氏	北野住民 センター	河田・伊賀
2.10	「在宅ケアの推進に向けて」ター ミナルケアの実践報告から	旭川市訪問看護ステーション 連絡協議会会長 白瀬幸絵氏	旭川市	河田・坂林 伊賀・佐々木
2.13	旭川市介護支援専門員合同研修	旭川市居宅介護支援事業所	旭川市	佐々木
3.13	介護報酬改定説明会	上川総合振興局 野上氏	旭川市	佐々木
3.15	事例検討会	日本認知症ケア学会北海道地域部会	旭川市	佐々木
3.28	コミュニティソーシャルワーク 機能について	かみかわ相談支援センターねっと 岸 美佳氏	てくてく	佐々木

(4) 居宅会議内容

月 日	内 容	参加者
4 月 15 日	・業績報告 ・H25 活動計画最終評価・事業報告 ・高齢者住宅認知症講座・水分チェック経過報告	波潟施設長・坂林 細野・佐々木・河田
5 月 20 日	・業績報告・カンファレンス・水分チェック経過報告・ 活動計画進捗状況	波潟施設長・坂林 細野・佐々木・河田
6 月 17 日	・業績報告・水分チェック経過報告・カンファレンス・ 活動計画進捗状況	波潟施設長・坂林 細野・佐々木・河田
7 月 15 日	・業績報告・活動計画進捗状況・水分チェックの経過報 告・カンファレンス	波潟施設長・坂林 細野・佐々木・河田
8 月 19 日	・業績報告・水分チェック経過報告・活動計画進捗状況	波潟施設長・坂林 細野・佐々木・河田
9 月 16 日	・業績報告 ・カンファレンス・活動計画進捗状況・水 分チェックの経過報告	坂林・細野・佐々木・河 田
10 月 21 日	・業績報告・ケアプランチェック・水分チェックの経過 報告・活動計画進捗状況・その他	波潟施設長・坂林・ 細野・佐々木・河田
11 月 11 日	・業績報告 ・水分チェック経過報告・活動計画中間評 価・その他	波潟施設長・坂林・伊賀・ 細野・佐々木・河田
12 月 16 日	・業績報告 ・水分チェック経過報告 ・活動計画進捗 状況・その他	波潟施設長・坂林・伊賀・ 細野・佐々木・河田
1 月 20 日	・業績報告 ・水分チェック経過報告・活動計画進捗状 況・その他	波潟施設長・坂林・伊賀・ 細野・佐々木・河田
2 月 17 日	・業績報告 ・水分チェック経過報告・活動計画進捗状 況・その他	波潟施設長・坂林・伊賀・ 細野・佐々木・河田
3 月 24 日	・業績報告 ・水分チェック経過報告・活動計画進捗状 況・その他	波潟施設長・坂林・伊賀・ 細野・佐々木・河田

(5) 介護家族への教育支援事業（ケアケア交流講座実施状況）

月 日	内 容	参 加 者
8 月 6 日	第1回 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：「認知症予防 ～楽しくいきいきと～」 講師 ケアマネジャー河田 真美子	利用者 10 名 職 員 5 名
11 月 6 日	第2回 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：「認知症の対応 ～実践に役立てる」 講師 ケアマネジャー佐々木 恵子	参加者 6 名 職 員 6 名
2 月 6 日	第3回 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：「歯と口腔の健康について～認知症予防と肺炎予防 に役立てる～」 講師 歯科衛生士 谷崎 正子氏	参加者 10 名 職 員 7 名

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名																							
〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																							
事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評 価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容		
1	(1)	リアルニーズに基づく、心を込めた丁寧なケアマネジメントの提供	①利用者の利益を守ることを最優先の価値に置き、リアルニーズ(当事者の要望+ケアマネの専門的知見・根拠・社会的通念)に基づくプランを立てる。	佐々木	計画	リアルニーズの基づくプラン作成						B	リアルニーズの基づくプラン作成						・作成したケアプランの内容について、根拠を示しながら説明する力を身に付け、分かりやすいプラン作りを行う。	B	各ケアマネが利用者の利益を最優先することを念頭に置き、わかりやすいプラン作成を目指した。		
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済	実施済						
			健康ニーズの高い、中重度の利用者に対して ②-1水分・食事・湿度等の健康ニーズのマネジメントを行う(一人5～6名)	佐々木	計画	チェックと報告								C	チェックと報告						・健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な助言を行う。	C	1人5～6名の目標は達成できなかったが、後期は在宅版トータルケアシートの導入がすすんだ。次年度も継続していく。
					実施	12名	14名	13名	12名	9名	8名	8名	7名		8名	10名	10名	10名					
			②-2「たかす在宅版:トータル記録シート」を導入し、家族とサービス提供事業者、ケアマネ間での情報共有する。	佐々木	計画	記録シートを活用し情報共有								C	記録シートを活用し情報共有						・健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な情報共有を行い、支援する。	C	1名は河田CMが分析・支援に繋ぐことができたが、1名は佐々木CMが分析までできなかった。次年度継続する。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済					
			②-3ケアマネジャーが総合的な情報を一元的に管理し、毎日、毎週ケアチェックを実施、変化や予兆に対して迅速かつ的確にケアプランに反映する。	佐々木	計画	ケアチェックを実施								C	ケアチェックを実施						・健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な助言を行い、在宅で継続して生活できるように支援する。	C	水分・トータルケアシートの導入が思うようにすすまなかった為、具体的な提案ができなかった。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	不十分	不十分	不十分		不十分	不十分	不十分	不十分					
			③カンファレンスを適宜に開催し、記録に基づく状態把握、要因分析を行い、仮説に基づく有効な手当を行う	佐々木	計画	カンファレンス実施								B	カンファレンス実施						・カンファレンスを設け、マネジメントの質向上を図る。	B	困難ケースについてケアマネ会議にてカンファレンスを実施し要因分析を行った。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済					
			④ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアプランの内容及び作成過程について、お互いに検証する。	佐々木	計画	ケアプランチェック								D	ケアプランチェック						・新規ケースを中心としたケアプランチェックを実施し内容を確認しより良い支援が行えるようお互い検証する。	D	今年度は新規相談が集中した月がありじっくりケアプランを検証する時間が取れなかった。
					実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		未実施	未実施	未実施	未実施					
			⑤利用者個々の生活状況と体調を把握し、適切な助言・提案を積極的に行うことで在宅生活の継続に資するマネジメントを提供する。	佐々木	計画	健康マネジメント強化								B	健康マネジメント強化						・利用者の体調・健康状態をし悪化しないよう助言・提案を行う。	B	トータルケアシートの導入が十分ではないため、体調悪化等で入院者を減らすことができなかった。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済					
			⑥ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握するため、満足度調査を実施する。さらに、それらの結果を積極的に情報公開する。	佐々木	計画			H25年度結果を広報に掲載				アンケート作成	準備・発送	B	回収		データ作成				・満足度調査を実施し集計・情報を公開する	B	満足度調査の実施。情報公開は例年通り実施できた。次年度も継続する。
					実施		実施済			実施済	実施済	回収中						実施済					
2	(2)	「活き活きハピネスプラン」の策定とケアの提供	①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「活き活きハピネスプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援(コーヒー茶ろんでく、朝市など)を行う。(ケアマネー1人3ケース)	坂林	計画			外出支援				B	外出支援						・各ケアマネジャーが6～10月の間、3回は外出支援を行う。	C	佐々木CM2ケース、河田CM1ケース実施した。1人3ケースの目標は達成できなかった。		
					実施				2ケース実施	1ケース実施													
			②ケアマネジャー自身も活き活き働けるよう、長期休暇(5連休)を計画的に取得する。	坂林	計画	長期休暇の取得								D	長期休暇の取得						・各ケアマネジャーが長期休暇(5連休)を取得する。	A	各ケアマネが取得しリフレッシュすることができた。
					実施										1名取得		1名取得	1名取得					
3	(3)	専門的知識と技術の向上	①法人内の介護の「知識50研修(リーダー向け)」に参加して、確かな知識を習得することにより、利用者の生活状況や身体状況に応じた適切な助言・提案を行う力(能力)を身につける。	佐々木	計画		リーダー向け知識50研修					D	リーダー向け知識50研修						・基礎介護知識を復習し新たな知識や技術を習得することで本人、家族に適切な助言・提案ができる。	D	リーダー向けの開催が無く参加できなかった。		
					実施						未実施		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施						
			②事業所内のケアカンファレンスの開催(週1回)、及び法人内ケアマネ・地域包括支援センターケアマネとの合同による(仮称)地域ケアマネジメント会議を定例開催(月1回or2ヶ月に1回)し、事例検討と課題解決の過程を通じて、ケアマネジメントに必要な知識と技術の向上を図る。	佐々木	計画	ケアマネ会議		在宅CM事例検討		在宅CM事例検討		B	在宅CM事例検討		在宅CM事例検討		在宅CM事例検討		・小規模ケアマネ・地域包括ケアマネと合同で事例検討を5回/年開催しケアマネジメントのスキルアップを図る。	B	施設長主導にて実施し参加した。居宅小規模の事例検討にて学びの機会となった。		
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	未実施	未実施						
			③積極的に外部研修を受講すると共に、研修報告により共有化を図ることをもって専門知識と技術の向上に努める。	佐々木	計画	地域包括ケア勉強会		地域包括ケア勉強会			高齢者ケア研究会	B			地域ケアマネジメント研究会				・各ケアマネが課題に応じた外部研修を1つ以上受講する。 ・居宅会議で内容の共有化を図る。	B	今年度は外部研修に積極的に参加できなかった。法改正等もあるので次年度は知識・技術の向上に向けてすすめていきたい。		
					実施	実施済		実施済			河田CM発表				実施済								
			④法人内サービス向上発表会の参加に向けて、早期にテーマ・発表者を取り決め、より良い実践と発表に努める。	佐々木	計画						テーマ発表者	D	内容確認			最終確認			・サービス向上発表会で実践をわかりやすく発表する。	D	今年度はサービス向上発表会が中止となった。		
					実施						未実施			未実施			未実施						

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名					〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																				
事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評 価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容				
4	(4)	地域への貢献	①家族と各事業所職員が共に学び交流するケアケア交流講座を継続して開催する。(年3回)	河田	計画				実行委員会開催	講座開催		B	実行委員会開催	講座開催		実行委員会開催	講座開催		・年3回ケアケア交流講座を開催する。 ・講座開催時にアンケート調査を行い、次年度へつなげる。	B	計画している3回を予定通りに実施できた。新しい試みで、包括支援センターと連携し、講師を依頼できた。アンケート調査を行ったので、次年度につなげたい。				
					実施				実施済	実施済			実施済	実施済		実施済	実施済								
			②職員が地域へ出向き、行事・催事へ積極的に参加・協力する。	河田	計画		高住宅出前講座・ヘルパー茶話会						B	ヘルパー茶話会							・年5回、出前講座やヘルパー茶話会に参加・協力する。	B	5月に高齢者住宅で2回出前講座、ヘルパー茶話会に参加し、計画通りに実施できた。		
					実施		実施済		実施済			実施済				講師で参加									
			③ブログ、広報さつきにおいて、介護センターさつき苑の取り組み紹介、PRを行う。	河田	計画		事業所紹介・PR							B	事業所紹介・PR							・年5回、ブログ、広報さつきに事業所の取り組み紹介、PRを行う。	B	ブログで活き活きハピネスプランや広報さつきで満足度調査結果など事業所の取り組みを紹介を計画通りに実施できた。	
					実施		実施済		実施済			実施済	実施済			実施済	実施済								
5	(5)	適正利益の確保	①目標利用者人数 (期初116名→期中→118名期末→120名:6名増加)	河田	計画	期初116名					期中118名	C						期末120名	・目標人数を達成する。	B	期末の目標利用人数を達成できたが平均は118.8名となった。				
					実施	113名	116名	116名	115名	120名	116名		125名	120名	118名	125名	124名	120名							
			②目標介護保険収入17,578,000円 (前年比+993,000円、H25年度16,585,000円)	河田	計画								B						期末17,578千円	・目標介護保険収入を達成する。	B	期末時、合計18,418千円で目標を達成できた。			
					実施	1,465千円	1,504千円	1, 548千円	1, 448千円	1,578千円	1, 471千円	1, 620千円		1, 517千円	1, 495千円	1, 604千円	1,625千円	1,555千円							
			③加算・減算要件を把握し、適正な管理を促進する。	河田	計画	加算前設定時確認							集中減算資料作成	B						集中減算資料作成	・特定事業所加算Ⅱ・集中減算・毎月の加算・減算事前設定が把握・管理できる。	B	計画通り加算要件を毎月確認し管理できた。集中減算資料も作成した。		
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	集中減算作成済							
			③目標に対する実績確認を毎月行い、利用者・収益増減の原因を明らかにする。	河田	計画	実績・原因確認									B	実績・原因確認							・実績から収益増減の原因が掴める	B	居宅会議で毎月確認し、実績から収益増減の原因を掴めた。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済						
			④利用者の状態・動向に関する情報をデータ化し、ケアマネジメントによる成果(在宅生活の維持、ADL・QOLの向上、介護度の維持・改善など)を明確にするとともに、自事業所の強み・弱みを分析する。	河田	計画	情報データ化分析									B	情報データ化分析							・利用者の情報をデータ化することで、ケアマネジメント成果を明確にし、自事業所の強み・弱みを分析できる。	B	利用者の情報をデータ化し、居宅会議で毎月確認した。ケアマネジメント成果を明確にし、自事業所について分析できた。
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		実施済	実施済	実施済	実施済						

平成26年度 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成26年度は、昨年と同様「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」「地域に密着した運営の見直し」「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」「業務の効率化と適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

新アセスメント様式を導入については数名の方のみで全員の導入までには至らなかった。毎月カンファレンスを実施しケアの見直しと統一を図ると共に、困難ケースにおいても随時カンファレンスを実施し状態悪化の予防に努めた。事故件数は、事故後の分析や再発防止に努め前年度より7件減少することができた。歩行補助具（車椅子・歩行器）については、定期的に点検と清掃を行うことで点検不備による事故はなく、安全に使用することができた。感染症については、手洗い・うがいの強化と館内の湿度管理を徹底したが、12月にインフルエンザ発症者が出てしまい感染症発症者ゼロにすることができなかった。食事については、嚥下困難な方でも召し上がれるよう安全で見た目もきれいなソフト食を提供することにより、食事摂取量の維持と誤嚥性肺炎の予防に努めた。また、自然排便をより促すために、玄米ご飯の回数を1日2食（朝・夕）に増やしたことにより更に下剤使用者を減らすことができた。

2) 「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」

継続し基礎介護研修を行い、今年度は新たに1名の職員が講師に加わり、全国高齢者ケア研究会が推進している「介護の知識50」をベースに、より実践的な内容を取り入れることで、職員の知識と技術の向上を図るとともに、人に伝える力を身につけることができた。

3) 「地域に密着した運営の見直し」

地域の催し物には可能な限り参加し、例年のボランティア以外に今年度は新たに図書室司書による読み聞かせ会を実施することができた。また、定例で開催している運営推進会議では、運営状況や事故の状況等について委員の方々より情報や助言をいただくことができた。

4) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

チームとしての取り組みでは、ユニットでより落ち着けるような空間づくりの工夫や薬の副作用による日中の傾眠を解消させる目的で主治医と相談し、長期間服用していた薬を減薬や終了することにより、日中の傾眠が減り活動が増えた方が3名、排泄後のパット交換を自ら行えるようになられた方が1名と目標をもって取り組んだことにより大きな成果をあげることができた。この取り組みを通して、職員一人一人が介護の専門職としての自信とやりがいにつながった。また、継続して面談制度を実施し、不安や悩みの軽減・解消に努めた。昨年実施することができなかった連続休暇についても、職員の安定が図られたことにより、今年度採用の職員も含め常勤職員すべてが、5日間の連続休暇を取得する事ができた。

5)「業務の効率化と適正利益の確保」

業務の効率化を図るためのマニュアル整備については実施できなかった。適正利益については、予防的なケアに努めてはいたものの入院者 4 名（延べ入院日数 136 日）と多く、年間平均稼働率 97.4%と目標稼働率の 98%を達成することができなかった。退去から新規入居への空床日数については最短にすることができた。

2. 次年度に向けての展望

平成 27 年度は、利用者の ADL 及び QOL の向上を目指す過程（介護過程の展開）を含めた目標で充実した活動内容に取り組む。

「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」では、新規入居者のみとなっていた新アセスメント様式を全員に導入し、入居者の重度化に対応できるようアセスメント項目の見直し・整理を行い、更に予防的なケアを図る。また、食事形態についても質の向上を目指し、常食により近いやわらか食の提供と玄米 100%粥を導入する。感染症予防については、的確な予防策がより迅速にできるよう現場で活かせるマニュアルを作成する。

「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」では、「介護の知識 5 0」をベースにより実践的な内容を取り入れ、日常のケアの向上を図る。

「職員の専門性の向上を図るため、利用者に関わる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する」では、2 年目以降の職員が、入居者の ADL と QOL それぞれの向上を目指したプランを立て取り組み、介護の専門職としての自信とやりがいにつなげていく。

「地域に密着した運営の見直し」では、地域の行事・催し物には可能な限り参加し、地域の方々にボランティアを募り、地域との交流の機会を設ける。

「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」では、ユニット固定の勤務を見直し、なごみの家全体として職員が互いに協力できる体制をつくり、職員の不安やストレスを軽減し、職員が安定して生き生きと目標を持って働ける職場環境を作る。また、5 日間の連続休暇を継続し職員のリフレッシュを図る。

「業務の効率化と適正利益の確保」では、間接業務・事務的業務については、効率的に業務を行えるようマニュアルを作成し必要な見直しを行う。利益については、稼働率 98%を必達目標に更に予防的なケアに努め入院を減らす。今年同様、退居から新規入居までの空床日数を短縮し適正利益の確保に努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 稼働状況

目標ベッド 稼働率(A)	実際ベッド 稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド 稼働率(C)
98.0%	97.4%	99.4%	99.0%

(2) なごみの家会議開催状況

日 時	議 題 内 容
4月15日	理念の唱和 ・平成26年度事業計画について ・平成26年度収支予算について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
5月13日	理念の唱和 ・ソフト食の勉強会 ・活動計画について ・平成26年度計画的有給休暇について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
6月17日	理念の唱和 ・避難訓練について ・給食関係 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
7月15日	理念の唱和 ・食中毒予防研修 ・基礎介護研修について ・キャリア段位 制度について ・給食関係 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
8月20日	理念の唱和 ・苦情対応マニュアルの確認 ・権利擁護、個人情報保護、守秘義務の確認 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
9月16日	理念の唱和 ・言葉遣いについて ・虐待予防研修について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
10月21日	理念の唱和 ・上半期を終えて ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
11月21日	理念の唱和 ・活動計画中間評価について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
12月16日	理念の唱和 ・食材を柔らかくする方法について ・行事、会議、出張、研 修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
1月20日	理念の唱和 ・平成26年度満足度調査について ・行事、会議、出張、研 修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
2月17日	理念の唱和 ・H27年度事業計画について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス

3月17日	理念の唱和 ・H27年度事業計画について ・H27年度計画的有給休暇について ・行事、会議、出張、研修他 ・給食関係 ・その他 ・ケアカンファレンス
-------	--

(3) 環境整備他

日 時	内 容	担 当	業 者
4月28日	和ユニット浴室混合栓修繕	秋保	大洋設備
5月 中旬	ブラインド（和、事務所）修繕	秋保	盛永組
5月末	業務用シュレッダー購入	秋保	ヤマダ電機
5月末	リクライニングチェア購入	川村	タノシニア
6月中	誘導灯電池、冷陰極ランプ取り替え	秋保	五光トータル防災
6月中	ロボ・モザイククッション購入	川村	厚友会
6月下旬	プリンター購入	秋保	富士ゼロックス
7月下旬	オキシメーター購入	秋保	ノバメディカル
7月下旬	和ユニット窓ガラス修繕工事	秋保	(有)新栄硝子建材
8月上旬	和ユニット給湯循環ポンプ修繕工事	秋保	大洋設備
8月4日	居室洗浄ワックス塗布	秋保	アサヒ管材(株)
8月中旬	洋ユニット食洗機修理	秋保	パナソニック
8月中	パントリー混合栓取り替え工事	秋保	大洋設備(株)
8月中旬	歩行器購入	設楽	厚友会
8月中旬	歩行器購入	設楽	厚友会
8月	コードレス電話機電池パック交換	秋保	N T T 東日本北海道
9月中旬	洋ユニット乾燥機修理	秋保	日立コンシューママーケティング(株)
9月24日	和ユニット 洗濯機修理	秋保	ヤマダ電機
10月下旬	洋ユニット 電動物干しモーター取替	秋保	パナソニック
1月下旬	和ユニット L E D 証明購入	秋保	ヤマダ電機
2月16日	洋ユニット 給湯器修繕工事	秋保	大洋設備(株)
3月中	可動式入浴台購入(洋ユニット)	秋保	(有)コムス
3月下旬	ポット購入	秋保	アマゾン

(4) ボランティア状況

日 時	内 容	人 数
4月27日	お話しボランティア	1名
5月17日	お話しボランティア	1名
6月 1日	一斉清掃 ・ ・ ・ 老人会	14名
	・ ・ ・ 家族	13名
	・ ・ ・ 鷹栖高校	8名

6月18、29日	お話しボランティア	各1名
7月12、21日	お話しボランティア	各1名
7月16日	鷹栖小スクールバンド	20名
8月9、10日	鷹栖熱夏フェスタ（旭川福祉専門学校）	9名
8月31日	お話しボランティア	1名
9月9、30日	お話しボランティア	各1名
9月27日	秋の一斉清掃（老人会）	20名
10月13、29日	お話しボランティア	各1名
11月8、29日	お話しボランティア	各1名
11月15日	青年会食事会	10名
11月20日	絵本読み聞かせ	2名
11月29日	エレクトーン演奏会(中川音楽教室)	10名
12月14日	年末大掃除(ご家族)	16名
3月11、24日	お話しボランティア	1名

（５）行事活動状況

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5月8日	花見ツアー（和ユニット）	旭川ドライブ、やすけ	鶴谷
5月10日	お花見（洋ユニット）	北海道療育園	福田
5月28日	チャレンジデー2014（ボウリング大会）	なごみの家	松嶋、古屋
6月5日	なごみの家10周年 食事会	なごみの家	川村、秋保
6月27日	いちご狩り	比布 牧野農園	古屋、松嶋
7月13日	さつき祭	さつき苑	桑原、志知
7月20日	流し素麺	なごみの家	藤原、菅原
8月8日	戦没者追悼の集い	鷹栖町	秋保
8月9日	たかす熱夏フェスタ（焼肉）	なごみの家	松嶋、古屋
8月10日	たかす熱夏フェスタ（祭、花火見学）	メロディホール前 駐車場	松嶋、古屋
10月	買い物ツアー	中止	志知・福田
11月9日	青年会食事会	なごみの家	青年会・秋保
12月24日	クリスマス会	なごみの家	坂原・鶴谷
12月28日	忘年会	なごみの家	谷・川村

2月 3日	節分	なごみの家	桑原・新井
8月13日	鷹栖地区盆踊り	気温低くの中止	高橋・坂原
9月15日	長生き感謝祭（表彰者）	メロディホール	秋保
9月28日	運動会	なごみの家	古屋
10月13日	秋のチャレンジデー（風船ラリー）	なごみの家	松嶋
10月14日	紅葉狩り	神居古潭	新井、岡本
11月15日	青年会食事会	なごみの家	秋保
12月25日	クリスマス会	なごみの家	星、下村
12月27日	餅つき&忘年会	感染症流行のため中止	坂原、設楽
2月 3日	節分	なごみの家	渡辺

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家																							
〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																							
事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容		
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	新アセスメント様式の導入及び全入居者のデーター更新	川村秋保菅原	計画			導入にむけ勉強会	データー更新開始										新アセスメント様式の導入し全入居者のデーター更新する。	C	新規入居者からさつき苑使用のアセスメント様式を使用。		
				実施			未実施	未実施	一部実施	未実施	C			一部実施									
			ケアチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	菅原設案	計画	ケアチェック モニタリング カンファレンス								ケアチェック モニタリング カンファレンス							ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし、BPSD悪化を予防、本人の状態を維持する。	B	会議以外でも、都度困難事例のカンファレンスを行い、状態悪化の予防に努めた。
				実施	済								B										
			安全で予防的なケアと業務の標準化を図る	菅原設案	計画	車椅子・歩行器点検				食中毒研修		感染症予防研修会	車椅子・歩行器点検								事故件数前年度よりー10件。(前年度39件)。定期的に車椅子・歩行器の点検をし、整備不良による事故0件。食中毒・感染症発症者0件。	C	事故件数 32件と前年度ー10件に至らず。整備不良による事故 0件 食中毒 0件 インフルエンザ発症者(9名)がでて、感染を予防することができなかった。
				実施	済			済		未実施	C	感染症予防研修会		インフルエンザ発症者9名									
			抑制・虐待防止の指針に基づき研修を実施する	秋保	計画								指針に基づき研修						指針に基づき研修を実施する。抑制・虐待0件。	B	2月に研修実施。抑制・虐待0件		
					実施												済						
2	(1)	安心で美味しい食事の提供	見た目もきれいなソフト食の提供	菅原設案	計画			ソフト食の勉強会	試作、試食		導入								認知症、嚥下困難な方でも安全で食事がすすむソフト食の提示。食事摂取量の維持、誤嚥性肺炎ゼロ。	B	ソフト食の勉強会を行い、統一した固さのソフト食を出せるように努めた。可能な時間の中で、見た目もきれいに作れるよう配慮し、食事量の低下はなし。2名誤嚥性肺炎で入院。		
				実施			済	済				C			入院者2名								
			一日2食(朝・夕)の玄米ご飯の導入	菅原設案	計画			導入に向けた調査	試作、試食		導入									玄米ご飯ほか、自然排便の取り組みにより、下剤使用者を減らす(7名→4名)	A	一日2食の玄米ご飯を導入することができた。1名下剤未使用となる。	
					実施			済	未実施		未実施	C	48時間浸水玄米導入	朝食玄米導入									
3	(1)	利用者の権利擁護と苦情・意見の対応体制の構築	迅速な苦情・意見の対応	秋保	計画				対応マニュアルの確認										苦情・意見が聞かれたさいは、苦情等対応マニュアルに従い迅速に対応する。	B	苦情0件。		
				実施				済				B											
			権利擁護・個人情報保護・守秘義務の再教育	秋保	計画						権利擁護・個人情報保護・守秘義務の確認									利用者・家族に関わる情報流出事故を0件。	B	情報流出事故0件。	
				実施						済		A											
			満足度調査を継続し家族の意見も聞き入れ事業所の運営に反映していく	秋保菅原設案	計画												満足度調査			満足度調査を行い入居者・家族のニーズを把握し問題点を改善する。満足度95%	S	入居者については、介護度の重度化に伴い調査対象者8名。入居者満足度98.8%(昨年度88.7%) 家族満足度96.6%(前年度97.9%) 入居者、家族とも満足度95%を上回る結果となった。	
					実施												済						
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し病気の発症及び重症化を防ぐ。(入院延べ日数40日)	菅原設案	計画	的確なケアチェック				健康診断	診断結果の分析(昨年との比較)								病気の発症を防ぎ重症化させない。入院延べ日数40日(前年度41日)	C	入院日数136日。入院延べ日数40日には至らず。(前年41日)		
				実施	入院日数0日	入院日数15日	入院日数0日	入院日数3日	済入院日数17日	済入院日数0日	C	入院日数0日	入院日数12日	入院日数37日	入院日数15日	入院日数18日	入院日数19日						
			誤嚥性肺炎による入院者0名	坂原志知	計画	食事ケアチェック 口腔ケアの徹底								食事ケアチェック 口腔ケアの徹底						誤嚥性肺炎による入院者0名	C	誤嚥性肺炎による入院者2名。	
				実施	済	済	済	済	済	済	B	済	済	入院者2名	済	済	済						
5	(5)	環境を改善し暮らしやすい生活環境を作る	居室・共有スペースの衛生や、個々の生活に必要な空間作りを行う	福田西	計画	清掃確認 環境確認	加湿器片付け	環境確認		環境確認	加湿器準備		清掃確認 環境確認		環境確認		環境確認		いつもきれいで入居者が安心して過ごせる生活空間をつくる。管理者が確認し常に良い状況にする。	B	入居者がきれいで過ごしやすい生活空間を配慮し、環境作りに努めている。		
				実施	済	済	済		済	済	C	済		済		済							
			施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る	福田西	計画	春のしつらえ			夏のしつらえ					秋のしつらえ		冬のしつらえ				四季の感じられるしつらえを楽しんでいただく。植物を置いて管理する。	C	各玄関やユニット内にて、季節を感じやすいしつらえづくりを行っていたが、植物の管理は、一部不十分であった。	
				実施	済				済			B	済		済								
			入居者の身の周り品の整理・清掃の支援を行う	福田西	計画		衣替え		衣替え		衣替え			衣替え						各担当が中心になり行い乱雑にならないようにする。	C	各担当にて行っていたが、整理、清掃が一部不十分であった。	
				実施		済		済		済		済	C		済								

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家																				〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。									
事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容								
6	(2)	基礎介護力の向上	基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る	川村 菅原 設案	計画				認知症ケア研修 の企画	認知症ケア研修			食事ケア研修 の企画	食事ケア研修 排泄ケア研修 の企画	・排泄ケア研修 ・トランス ファーケア研修	トランスファー ケア研修		効果測定	全職員が研修に参加し実践力、応用力を身につける。 効果測定し全員が90点以上とる。	C	予定していた研修の順番一部変更するも、より実践力がつくよう事例検討の内容を構成した。 12月の認知症ケア研修は、インフルエンザ感染予防のため1回のみの実施となった。効果測定は18名中90点以上は13名と全員には至らず。								
				実施					食事ケア 研修実施		B		排泄ケア 研修実施	認知症ケア 研修実施	済		済												
			現任職員が基礎介護研修の講師となり人に伝える力を身につける	川村 菅原 設案	計画				認知症ケア研修 の企画	認知症ケア研修			食事ケア研修 の企画	食事ケア研修 排泄ケア研修 の企画	・排泄ケア研修 ・トランス ファーケア研修 の企画	トランスファー ケア研修				現任職員が講師となり伝える力を身につける。	B	新たに1名の職員が講師となり伝える力を身につけることができた。							
				実施					川村 古屋		B		菅原 松嶋	川村 志知	設案 坂原		秋保												
7	(2)	アクティビティの充実	利用者のADL維持・向上のためのリハビリを計画・実施する	菅原 設案	計画			リハビリ対象者の選定 方法の検討	リハビリ開始											ADLの維持、向上のためのリハビリを実施する。	B	入居者全員までには至っていないが、ADLの維持、向上のための個別のリハビリを実施。							
				実施				済	済	済	済	B	済	済	済	済	済	済											
			①地域との交流の機会を年1回以上設ける ②利用者に合わせた役割と楽しみ・喜びにつなげるケアの実施 ③季節に合わせた行事を実施する。	松嶋 森本	計画	テレビ体操	お花見		さつき祭見学 流しそうめん	熱夏フェスタ 盆踊り	運動会 長生き感謝祭		紅葉狩り テレビ体操		クリスマス 餅つき 忘年会		部分	桃の節句	楽しみのある効果的な行事、アクティビティを実施する。	B	12月のインフルエンザ感染予防のため、餅つきと忘年会は未実施。他の行事はほぼ予定通り実施。								
				実施			済		済	盆踊り 不参加	済	B	済		一部中止		済	済											
8	(3)	開かれた事業所づくり	利用者、職員が地域社会の一員として豊かに暮らせるよう積極的に地域行事・活動に参加する	川村 鶴谷 岡本 藤原	計画			町内行事 の確認		恵重祭 町民祭り 盆踊り			福祉の つどい						地域の催しに積極的に参加し、地域の方々との交流の機会を図り、地域の方になごみの家を認知していただく。	B	盆踊り、福祉のつどいは不参加であったが、その他は定通り実施。								
				実施		済			盆踊り 不参加		B	不参加																	
			地域の方々にボランティアを募り参加頂く		計画			春の一斉 清掃			秋の一斉 清掃			青年会との 食事会						例年のボランティア以外のボランティアを1つ増やす。	B	例年のボランティア以外に図書室司書による読み聞かせ会実施。							
				秋保 川村	実施	お話しボラ	・お話しボラ ・家族、老人 会・高校生ボ ラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ	・お話しボラ ・老人会ボラ	C	お話しボラ	・青年会との食 事会 ・お話しボラ ・エレクトーン 演奏ボラ ・読み聞かせ 会			お話しボラ												
9	(4)	人材育成の推進と働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を定着させる	川村 菅原 設案	計画			面談の実施					面談の実施							面談を実施することで不安や悩みの軽減・解消に努めた。 退職者2名 退職者0	B	面談を行う事で不安や悩みの軽減・解消に努めた。 退職者2名いたも、いずれも不安が原因ではない。							
				実施			済			S							退職者2名												
			有給休暇(5連休)の計画・実施	秋保 川村	計画		連続有給休 暇 計画		連続有給休暇 取得				連続有給休 暇 取得							1人5日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を2日つける)	S	今年度採用職員も含め、計画通り対象者全員取得できた。(産休育休取得職員を除く)							
				実施				1名取得		2名取得	S	2名取得	1名取得		2名取得	1名取得	2名取得												
			他施設、他職種交流を図り情報交換の機会をつくる	秋保 川村	計画								他施設実習							他施設への見学実習を実施する。	D	未実施							
				実施																									
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	秋保 川村	計画	退職者0							退職者0								結婚・出産以外での退職者をださない。 退職者2名	B	退職者2名いたも、いずれも不安が原因ではない。						
				実施	退職者0							S						退職者2名											
10	(4)	チームワークの向上	週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする	川村 菅原 設案	計画	毎日の引継で 目標を共有する							毎日の引継で 目標を共有する							思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。	B	持ち回りで1週間の目標を立て、目標を現場と照らし合わせチームワークの強化を図った。							
				実施	済							B																	
			達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)	川村 菅原 設案	計画	取り組み内容 決定	取組み						取組み							一つのテーマにチームで取り組み成果を出す。	B	各ユニットで明確な一年の目標を立て計画的に取り組んだ。 老施協研究発表会に参加し、自分たちの取り組み成果を発表できた。							
				実施		済	済	済	済	済	老 施協研究発表会 参加	B	済	済	済	済	済	済											
11	(5)	業務の効率化・適正利益の確保	ケアチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、入院を減らす(入院延べ日数40日) 目標稼働率98%を達成する	川村 菅原 設案	計画	ケアチェックを徹底し健康管理に努める							ダブルチェックも徹底し健康管理に努める							目標稼働率98% 入院延べ日数40日 (前年度41日)	C	平均稼働率 97.4%。入院延べ日数136日(昨年35日)と目標達成ならず。							
				実施	入院者0名 稼働率100%	入院者1名 稼働率96.6%	入院者0名 稼働率96.1%	入院者1名 稼働率99.5%	入院者2名 稼働率96.6%	入院者0名 稼働率100%	C																		
			業務の標準化・効率化(請求業務・勤務表作成業務・業績管理業務)	秋保	計画							勤務表作成 マニュアル作成		業績管理業務 マニュアル作成							2つの業務のマニュアル整備。	D	未実施						
				実施							未実施	D																	
			光熱費に対してのコスト意識を高め、目標を決めて費用・支出削減に努める(前年度よりー3%)	秋保 川村	計画	節電運動		節電運動 強化月間	節電運動		節電運動 強化月間		節電運動		節電運動 強化月間	節電運動		節電運動 強化月間	光熱費を前年度より3%削減する。	A	職員ひとり一人が意識していた。 電気使用量 86797kwh→78822kwh 約9・2%減 灯油使用量 34552ℓ→32505ℓ 約5・9%減								
				実施								B																	

平成26年度 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成26年度は『安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供』『地域に密着した運営の見直し』そして『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『業務の効率化と適正利益の確保』と目標をかかげ取り組んだ。

まず、『安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供』については、例年同様に基礎介護力・専門性の向上を図るため、基礎介護研修を実施した。内容は前年よりもさらにレベルアップさせ、実践に繋がれるものとした。また、事業所内の職員が講師を受け持つことで、講師となった職員のレベルアップにもつなげる事が出来た。認知症状の悪化した利用者に対してのケアについては家族・主治医との連携を行い、薬の減薬や継続泊まりの提供で症状の改善に取り組んだ。

『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』では、例年同様、職員面談は定期的に継続して行い、不安やストレスの軽減に繋がった。連続休暇（5連休）についても全職員が取得することができ職員のリフレッシュにつなげることができた。

今年度目標としていた取り組みの「学習療法」「セラバンド体操」については、導入開始することができた。学習療法については4名の方への導入ができ、少しずつではあるが変化の見られる方もおり、楽習診断の結果、学習範囲のレベルアップが見られた。セラバンド体操については、独自のDVD作成を行い、個々の利用者への支援がしやすいよう取り組めた。体力測定結果では身体機能の著しい向上は見られなかったが、今後も継続し身体機能の維持・向上に繋がりたい。

『適正利益の確保』では、今年度、新規利用者は居宅からの移行を含め11名。登録者については24名の月もあり、登録者数25名への変更申請を行った。月平均登録者数は19.8名と目標達成でき、目標収益の確保をする事ができた。

しかし、9名の方の登録終了があった。内、長期入院での登録終了が5名おり、停止者を減らす（前年度比-2名）目標数値には至らず。次年度は在宅での生活を元気に続けられるよう、健康状態の把握、予後予測をより十分にし、入院者、停止者を出さないようにしたい。

2. 次年度に向けての展望

平成27年度に向けて、今年度の目標に加え「職員の専門性の向上を図るため、利用者に関わる情報を集め、求められるニーズからケアの目標を立案し、根拠に基づいたケアを展開できるよう育成する」を追加し、6つの重点目標を掲げ取り組む。

特に、『業務の効率化と適正利益の確保』として、基礎介護研修を継続し具体的なケアの向上を図ることと、ご利用者の在宅生活の継続が困難にならないよう、健康状態の把握・悪化の予測をし、看護師との連携の元ご家族・主治医への相談を密におこない、入院者を減らすことに取り組み、登録終了者を減らす。

サービスを利用することで、元気に在宅生活を続けて行くことができ、利用者・ご家族から必要とされ、地域の方からも頼られる事業所となるよう活動していく。

また、今年度新たにかかげた目標については、利用者一人一人のニーズを探り利用者の生きがいや楽しみ・自信に繋げると共に、職員のやりがいにも繋げられるよう取り組む。それにより、職員が安心して働きやすい環境を整え、併設のグループホームと一体となりチームワークを高め、職員の不安軽減やストレス軽減に努めることと、計画的な連休を確保することに努め「やりがいと働きがいのある職場」になるように務める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月15日	ケースカンファレンス・事故報告・行事（ミニ買い物ツアー）について 誕生日プレゼント・バイキング食について 小規模運営改善計画進捗状況について	8名
5月13日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者と今後の対応 事故報告と今後の対応・行事（買い物・外食ツアー） バイキング食について 小規模運営改善計画進捗状況について	8名
6月17日	ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応 行事（外出ドライブ）について 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法・セラバンド体操について	8名
7月15日	ケースカンファレンス・事故報告・今後の対応策 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法について キックオフミーティング	8名
8月20日	ケースカンファレンス・行事（なごみの家運動会） 入浴について 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法について 言葉遣いに関して	7名
9月16日	ケースカンファレンス・行事（ミニ運動会・買い物外食ツアー）について 小規模運営改善計画進捗状況について セラバンドについて 通い利用者定員について	8名

10月21日	ケースカンファレンス・薬チェック・年間行事について 小規模運営改善計画進捗状況・セラバンド体操について 学習療法月次検討会	8名
11月18日	ケースカンファレンス事故報告と今後の対応法について 行事（餅つき・忘年会）について 小規模運営改善計画進捗状況 学習療法月次検討会	8名
12月16日	ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について ・行事（忘年会）・遅番の時間帯・業務の振り分けについて 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法月次検討会	9名
1月20日	ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法月次検討会	8名
2月17日	ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について 27年度小規模目標・行事・月レク担当・係担当・誕生日プレゼントについて 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法月次検討会	9名
3月17日	ケースカンファレンス・植物担当・ハピネスプラン 満足度調査結果について 小規模運営改善計画進捗状況について 学習療法月次検討会	7名

(2) 小規模多機能ホーム事故状況

月 日	内 容	結 果
4月14日	単独外出（78歳・女性）	農協資材店舗にて発見されご家族へ連絡いく。
4月27日	転倒（88才・女性）	内出血、腫れ見られる 受診結果、骨には異常なし
4月27日	転倒（79才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
5月13日	転落（86才・女性）	頬に腫れ右こめかみから頭部にか け痛み、唇内側に裂傷、出血あり救 急搬送。打撲のみで特別処置無し その後異常なし
6月8日	転倒（86才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
6月14日	転落（83才・女性）	臀部の痛みあるも外傷なし・その後 も異常無し

10月24日	未投薬（72才・男性）	異常なし
11月7日	転倒（85才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
11月25日	転倒（78才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
12月19日	誤投薬（72才・男性）	重複薬のため、Drに報告し指示を仰ぐ。血圧の変動に注意し水分を多めに取りよう指示。特変なし
2月15日	転落（79才・女性）	右後頭部に腫れ痛みあり。その後異常なし
2月19日	単独外出（79才・女性）	グループホーム玄関から出て来たところ発見
3月27日	未服薬（97才・女性）	異常なし

（３） 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
4月16日	ミニ買い物ツアー	しまむら	山田
4月23日	映画鑑賞会	なごみの家	林崎
4月24日	出前の日	なごみの家	高橋
5月2日	ドライブ	男山	深瀬・山田
5月4日	花見ドライブ	花咲公園他	高橋
5月7日	花見ドライブ	花咲公園他	檜山・山田
5月8日	花見ドライブ	花咲公園他	林崎・深瀬
5月19日	ドライブ	和寒南丘公園	高橋・永野
6月5日	なごみの家10周年記念	なごみの家	林崎・佐藤
6月18日	買い物・外食ツアー	イオン	山田・永野
6月19日	買い物・外食ツアー	イオン	佐藤・深瀬
7月17日	ドライブ	旭川空港	秋保
7月19日	ドライブ	田んぼアート	林崎
7月20日	ドライブ	美瑛	高橋・深瀬
8月9日	熱夏フェスタ焼き肉会	なごみの家	林崎・高橋
9月28日	なごみの家ミニ運動会	なごみの家	高橋
10月13日	チャレンジデー	なごみの家	林崎・山田
10月19日	ドライブ	旭山動物園他	檜山・高橋
10月20日	外食ツアー	紙風船	檜山・深瀬
10月22日	外食・買い物ツアー	イオン	永野・渡部
10月23日	外食ツアー	剣淵	茂田・深瀬
11月15日	青年会との食事会	なごみの家	永野
11月21日	出前の日	なごみの家	深瀬
12月27日	忘年会	なごみの家	永野・高橋

1月24日	出前の日	なごみの家	高橋
2月3日	節分 豆まき	なごみの家	松嶋
3月29日	出前の日	なごみの家	深瀬

(4) 手作りおやつ

	内 容
4月15日	チョコレートパフェ
5月17日	パンプキンパイ
6月19日	小倉ケーキ
7月18日	スイートポテト
8月16日	キャラメルカップケーキ
9月21日	おやつパン
10月20日	いもようかん
11月18日	芋団子
12月18日	フルーツミルクレープ
1月15日	あんドーナツ
2月20日	ミルクくず餅
3月28日	桜もち

平成26年度 部門(事業所)別活動計

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家 (評価基準) S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容			
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	新アセスメント様式の導入及び全入居者のデーター更新	林崎秋保	計画			導入にむけ勉強会	データー更新開始		→								→	新アセスメント様式の導入し全利用者のデーター更新する。	C	新規登録者のみ地域包括ケア・アセスメントシートを導入。		
				実施				未実施	新規者のみ作成	新規者のみ作成	新規者のみ作成	C												
			ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	林崎	計画	Wチェック モニタリング カンファレンス							→		Wチェック モニタリング カンファレンス						→	ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。BPSDの悪化を防ぐ。	B	会議以外でも、都度困難事例のカンファレンスを行い、状態悪化の予防に努めた。
				実施	済							→	B	済						→				
			安全で予防的なケアと業務の標準化を図る	林崎	計画	車椅子・歩行器点検				食中毒研修			→		車椅子・歩行器点検						→	事故件数前年度比－5件(H25年度20件→H26年度15件) 定期的に車椅子・歩行器の点検をし、整備不良による事故0件。 食中毒・感染症発症者0件。	A	事故件数13件(前年度20件) 整備不良等による事故は0件 食中毒・感染症発症者0件
				実施	済				済			未実施	C	感染症予防研修会										
			抑制・虐待防止の指針に基づき研修を実施する	秋保	計画										指針に基づき研修						→	指針に基づき研修を実施しする。 抑制・虐待0件。	B	研修を計画通り実施。 抑制・虐待0件
				実施											済									
2	(1)	安全で美味しく楽しみのある食事の提供	個別に合わせた適切な食事形態の実施	林崎	計画	食事ケア チェック						→		食事ケア チェック					→	食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができ、食事が安定する。	B	ソフト食のかた1名GH入居し全利用者常食提示。現在食事量低下者0名。		
				実施	済							→	A	済						→				
			利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画実施	林崎	計画	出前 昭和の日	開設記念日 こどもの日 憲法記念日	外食ツアー	バイキング食	焼き肉パーティー	敬老の日 春分の日			体育の日 外食ツアー	出前 文化の日 勤労感謝の日	クリスマス 忘年会 天皇誕生日	出前 おせち料理 成人の日	節分 建国記念日 室内パーティー	出前 ひな祭り 春分の日	満足度調査を実施し、食事に関して90%が良いの評価。	A	無回答者は2名いたが、他の方に関しては皆さんから良いの評価を頂いた。(良いの評価91%)		
				実施	済	済	済	済	未実施	済	済	B	済	済	済	済	済	済	済					
3	(1)	利用者の権利擁護と苦情・意見の対応体制の構築	迅速な苦情・意見の対応	林崎秋保	計画							→							→	苦情・意見が聞かれたさいは、苦情等対応マニュアルに従い迅速に対応する。	B	苦情0件。		
				実施					済				B											
			権利擁護・個人情報保護・守秘義務の再教育	秋保	計画						権利擁護・個人情報保護・守秘義務の確認										→	利用者・家族に関わる情報流出事故を0件。	B	情報流出事故0件。
				実施						済		B												
			満足度調査を継続し家族の意見も聞き入れ事業所の運営に反映していく	林崎	計画													満足度調査		サービス全体についての質問項目の平均満足度10%UP	C	「小規模ホームに通うのが楽しみ」「小規模ホームを利用して生活が楽になった」の質問項目では2名の方が、やや不満との回答。満足度は12%下がっている。		
				実施													済							
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し病気の発症及び重症化を防ぎ入院による利用休止を減らす	林崎小野	計画	的確なケア チェック						→		的確なケア チェック					→	入院による利用休止を減らす。 (H25年5名→H26年3名)	C	長期入院により登録終了者5名。目標達成には至らず。		
				実施	済							→	A	済						→				
			誤嚥性肺炎による入院者0名	林崎小野	計画	食事ケアチェック 口腔ケアの徹底							→		食事ケアチェック 口腔ケアの徹底						→	誤嚥性肺炎による入院者0名	B	誤嚥の疑いのある場合は、カンファレンスを行い早期に対応できるよう努めている。 誤嚥性肺炎による入院者0名
				実施	済							→	A	済						→				
			水分摂取量の把握を行い、適切な水分管理を本人、家族と共に取り組む	林崎小野	計画	水分摂取量の把握と脱水傾向の方への対応の検討と実施							→		水分摂取量の把握と脱水傾向の方への対応の検討と実施						→	自宅での水分量チェック協力して頂いている方3名。水分量少ない方には種類や摂取方法の助言行っている。利用中の水分提示に関しても飲み物の種類を増やし脱水予防に努めた。	B	
				実施	済								→	B	済						→			
			宿泊室・共有スペースの衛生や、個々の生活に必要な空間作りを行う	永野茂田	計画	清掃確認 環境確認	加湿器 片付け	環境確認		環境確認	加湿器 準備	→		清掃確認 環境確認		環境確認		環境確認		→	いつもきれいで利用者の過ごしやすい生活空間をつくる。管理者が確認し常に良い状況にする。	A	ご利用者がきれいで過ごしやすい生活空間を配慮し、環境作りに努めた。	
				実施	済	済	済		済	済	B	済		済		済		済						
5	(5)	環境を改善し暮らしやすい生活環境を作る	施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る	永野茂田	計画	春のしつ らえ			夏のしつ らえ				秋のしつ らえ		冬のしつ らえ				四季の感じられるしつらえを楽しんでいただく。植物を置いて管理する。	A	玄関やフロアー内にて、季節を感じやすいしつらえづくりを行った。			
				実施	済				済			A	済		済									
			ご利用者の身の周り品の整理・清掃の支援を行う	永野茂田	計画		衣替え		衣替え		衣替え				衣替え					各担当が中心になり行い乱雑にならないようにする。	C	各担当にて行っているが、一部整理、清掃が不十分であった。		
				実施		済		済		済	B		済		済									

平成26年度 部門(事業所)別活動計

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家 (評価基準) S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容		
6	(2)	基礎介護力の向上	基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る	林崎秋保	計画				認知症ケア研修の企画	認知症ケア研修			食事ケア研修の企画	食事ケア研修 排泄ケア研修の企画	・排泄ケア研修 ・トランスファーケア研修			効果測定	全職員が研修に参加し実践力、応用力を身につける。 効果測定し全員が90点以上とる。	C	予定していた研修の順番一部変更するも、より実践力がつくよう事例検討の内容を構成した。12月の認知症ケア研修は、インフルエンザ感染予防のため1回のみの実施となった。効果測定は9名中90点以上は7名と全員には至らず。		
					実施					食事ケア研修実施		B		排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	済		済					
			現任職員が基礎介護研修の講師となり人に伝える力を身につける	林崎秋保	計画				認知症ケア研修の企画	認知症ケア研修			食事ケア研修の企画	食事ケア研修 排泄ケア研修の企画	・排泄ケア研修 ・トランスファーケア研修					現任職員が講師となり伝える力を身につける。	B	1名の職員が講師となり伝える力を身につけることができた。	
					実施					川村古屋		B		菅原松嶋	川村志知	設楽坂原		秋保					
7	(2)	リハビリ・アクティビティの充実	①利用者のADL維持・向上し現在の生活が維持できるリハビリ、学習療法を取り入れ実施する	林崎小野檉山	計画	イー・ホール	学習療法認定研修	学習療法計画作成	学習療法導入について利用者、家族に周知				学習療法イー・ホール						在宅生活の維持・向上ができています。	A	学習療法参加者4名9月より開始。3月より1名開始。 個別リハビリ4名実施。在宅生活の維持はできている。		
					実施	済	済	済	済	済	A	済											
			①地域との交流の機会を年1回以上設ける ②利用者の生活が継続できるようご本人の役割・趣味・運動を取り入れ個々に合わせて計画する		計画	出前月のレクイー・ホール	花見ドライブ	買い物・外食ツアー	ドライブ			運動会		学習療法開始 買い物ツアー月のレクイー・ホール	出前	餅つき忘年会	出前	部分室内パーティー	出前桃の節句	効果的なアクティビティを実施する。	B	計画していたアクティビティは実施できた。	
					実施	済	済	済	済	済	済	B	済										
8	(3)	開かれた事業所づくり	利用者・職員が地域社会の一員として豊かに暮らせるよう積極的に地域行事・活動に参加する	林崎高橋	計画				町内行事の確認				福祉のつどい						地域への催しに積極的に参加し、天気の良い日は散歩を日常のプログラムに取り組む。地域の方になごみの家を認知していただく。	B	慰霊祭・町民祭りについては天候悪く不参加。散歩に関してはなごみの家周辺のみ行っている。地域の方になごみの家を認知して頂くまでには至っていない。		
					実施		済			ボランティア体験学習手伝い	不参加 24時間ソフト参加職員1名		B	不参加									
			地域の方々にボランティアを募り参加頂く	林崎高橋	計画				春の一斉清掃				秋の一斉清掃							例年のボランティア以外のボランティアを1つ増やす。	B	例年のボランティア以外に図書室司書による読み聞かせ会実施。	
					実施				・家族、老人会・高校生ボラ			老人会ボラ	C		・青年会との食事会 ・エレクトーン演奏ボラ ・読み聞かせ会								
			小規模多機能ケアをより多くの方に理解して頂くために地域の方々に向け情報発信する	林崎	計画		老人クラブとの日程調整	リーフレット設置				老人クラブでの説明会	老人クラブでの説明会	リーフレット確認・設置			リーフレット確認・設置	事業所での介護相談や老人クラブへ向かい事業所の紹介をする。	D	介護相談・事業所の紹介などの取り組みに至らず。			
					実施		未実施	未実施			未実施	D	未実施	未実施			未実施						
9	(4)	人材育成の推進と働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を定着させる	林崎秋保	計画				面談の実施				面談の実施						面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。 退職者0	B	面談を行う事で不安や悩みの軽減・解消に努めた。 退職者1名いたも、不安が原因ではない。		
					実施			済			S	済											
			有給休暇(5連休)の計画・実施	林崎秋保	計画		連続有給休暇計画		連続有給休暇取得				連続有給休暇取得							1人5日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を2日つける)	S	予定していた開始時期とはずれているが中途採用職員以外は全員取得できた。	
					実施		済		未実施		1名取得	A	1名取得	1名取得	1名取得	1名取得	1名取得	1名取得					
			他施設、他職種交流を図り情報交換の機会をつくる	林崎秋保	計画									他施設実習						他施設への見学実習を実施しする。	D	未実施	
					実施									未実施									
退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	林崎秋保	計画	退職者0										退職者0						結婚・出産以外での退職者をださない。	C	退職者1名。		
		実施	退職者0							S	退職者1名	退職者0											
10	(4)	チームワークの向上	週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする	林崎	計画	毎日の引継で目標を共有する							毎日の引継で目標を共有する						思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。	B	持ち回りで1週間の目標を立て、目標を現場と照らし合わせチームワークの強化を図った。		
					実施	済						B	済										
			達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)	林崎	計画		取り組み内容決定	取り組み開始					取組み							一つのテーマにチームで取り組み成果を出す。	S	チームの目標を明確にでき、学習療法・セラバンド体操の計画、実施し、取り組んでいる。	
					実施		学習療法セラバンド	未実施			学習療法開始	A	セラバンド開始										
11	(5)	業務の効率化・適正利益の確保	目標登録者19名を達成する	林崎	計画	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保		新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	新規利用者の確保	毎月1名新規利用者を確保する。 目標登録者数19名	A	今年度11名の新規登録者あり。毎月1名の新規登録には至らず。3月末で登録者数18名ではあるが、目標登録者数達成月7ヶ月あり。今年度1月平均19.75名		
					実施	0	2名	2名	2名	2名	1名	S	2名										
			ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、入院・施設入居を減らす	林崎佐藤	計画	ダブルチェックを徹底し健康管理に努める								ダブルチェックを徹底し健康管理に努める							長期入院での停止者・施設入居での登録終了者を減らす(前年度比各ー2名) (入院での停止者3名・施設入所での停止者2名)	C	長期入院により5名登録終了。施設入居3名。いずれも目標達成には至らず。
					実施	済	GH入居者1名登録終了		長期入院者1名登録終了	GH入居者1名登録終了		C	済										
			業務の標準化・効率化(請求業務・勤務表作成業務・業績管理業務)	林崎佐藤	計画				請求業務マニュアル確認・修正				勤務表作成マニュアル確認・修正			業績管理業務マニュアル確認・修正					3つの業務のマニュアル整備。	D	未実施
					実施			未実施			未実施	D	未実施										
光熱費に対してのコスト意識を高め、目標を決めて費用・支出削減に努める	林崎永野	計画	節電運動		節電運動強化月間	節電運動		節電運動強化月間		節電運動		節電運動強化月間	節電運動		節電運動強化月間	節電運動		節電運動強化月間	光熱費を前年度より3%削減する。	A	職員ひとり一人が意識していた。 電気使用量 86797kwh→78822kwh 約9・2%減 灯油使用量 34552ℓ→32505ℓ 約5・9%減		
		実施							B														

平成 26 年度 地域密着型特別養護老人ホームぬくもりの家えん 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

平成 26 年度は「根拠に基づいた安全で安心を保障するケアの提供」「入居者の心身機能の維持向上と自立支援を目指し、個々に合わせた生活環境の提供」「知識・技術の専門性を持ち共に高め合い主体性を持ったチームと働きがいのある職場づくり」「適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「根拠に基づいた安全で安心を保障するケアの提供」

今年度は記録の確認（wチェック）を徹底し、事故や入院にならないように努めた。又、基礎介護研修を昨年に引き続き新しい講師も入れて職員の知識・技術の向上を図った。しかし、事故においては昨年度 72 件から 90 件と 18 件も増加してしまった。入居者の状態の重度化により、細心の注意が必要となるところ十分に対応できていないことが原因と考えられる。特に転落が昨年 30 件から今年 44 件多く 1 名の方は骨折につながってしまった。また、新しい入居者の方が自分で何かしようとして車いすやベッドから降りるということが多く、環境の整備が必要であった。与薬忘れ、誤与薬が昨年 23 件に対し 16 件と意識改革が図られ減らすことができた。感染症については昨年同様に加湿、手洗いうがい体調管理に心がけインフルエンザ・ノロウイルス等にも感染せず、面会を制限することもなかった。入院についても昨年 3 名だった誤嚥性肺炎は 1 名となり、目標の 100 日以内は達成できなかった。しかし、昨年の 164 日を 39 日下回る 125 日に減少することができた。

2) 「入居者の心身機能の維持向上と自立支援を目指し、個々に合わせた生活環境の提供」

自分でできることはできるだけ自分で行えるように、日々のケアでも手を出しすぎないように心がけた。身体機能の維持向上のため日々の体操の中にセラバンドを導入し筋力の低下防止に努めた。また、個別には下肢筋力の向上と尖足を戻すために、ペダル足こぎ運動を行い身体機能の向上が図られた。又認知症のある方に役割作りを計画し、落ち着いた生活の継続を図ることができた。年度末には学習療法を計画し、今まで在宅で行ってきた方へ継続してサービスを提供できた。

3) 「専門性と主体性を持ったチームと働きがいのある職場づくり」

今年度も基礎介護研修を実施した他、上川管内の実践発表セミナーに継続参加し、実践を発表し、全国規模の研究会にも参加し知識と技術の習得を図った。年間では計画していなかったオムツの当て方の研修を外部から講師を招き、他事業所の職員の一部参加を含め実施することができた。また、総合職昇格試験には 2 名が挑戦し、昇格することができた。ケアマネ試験には 3 名が挑戦したが、合格者を出すことはできなかった。5 連休においては昨年度、途中までの実施で中断したが、今年度は全員に実施することができたことは大きな成果であった。

調理部門においては、ソフト食の味見を実施し、形と味を工夫することに心がけ、食事量の低下と誤嚥予防に努めた。

4)「適正利益の確保」

収入については要介護度が昨年度平均 2.6 から 2.8 に変更になり上がったが、稼働率は昨年とほぼ同じで、96.8%と目標の 98%には達することができなかった。

コストについては、食堂と廊下の間に扉を設置することで、加湿と保温に努めたが、今年は暖冬だったため、コストについて明確なところは不明である。オムツについては、日々トイレでの排泄を目指し、下剤を減らす等の取り組みを行い、オムツの当て方研修を年度末に実施して改善を図った。

2. 展望（次年度に向けて）

平成 27 年度は、入居条件が原則要介護 3 以上という国の方針に従い、入居者の身体状況や精神状況の重度化がすすんでいく事となるため、先ず一つ目に重度な障害や認知症があっても健康で穏やかな生活ができるケアを提供する事を目標に掲げ取り組んでいく。特に徐々に重度化していく入居者に対応でき、苦痛を与えない介護力を身につけていく。また、排泄ケアにおいてもできる限りトイレで排泄できることを目標に食事、医療、介護の連携を図り、引き続き下剤ゼロにむけた取り組みに努める。

二つ目には、働きがいのある職場作りである。職員が入居者の自立支援と尊厳を保つ支援の 2 つの視点を持って、ケアプラン作成に参加する。これらを、自己の目標として取り組み、計画を実践することで成果を得て、仕事のやりがいを感じとれるようにしていく。また、昨年に引き続き 5 連休の取得を行い、仕事をする事で得られる楽しみもつくっていく。

三つ目は、稼働率 98%を必達目標とし、適切な収益を得られるようにし、入居者が安心して穏やかに生活できるよう支援し、より地域に根ざした施設運営を目指していく。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①ベッド稼働率

目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率(B)/(A)×100
98.0%	96.8%	98.8%

②延べ入居者数 (単位：人)

目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率(B)/(A)×100
7,154	7,066	98.8%

③事業収入(単位：千円)

目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率(B)/(A)×100
86,069	84,742	98.5%

(2) ボランティアの受け入れ

①ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	2	3	3	3	3	3	5	4	3	3	3	3	38
延人数	20	21	26	30	21	22	41	37	34	39	41	41	373

②ボランティア協力団体一覧

団体名	活動・協力内容
ぬくもり友の会	・花壇整備 ・シーツ交換 ・洗面台清掃 ・車椅子清掃 ・喫茶てくてくへ参加 ・朝市への参加、誘導 ・畑おこし、整備 ・買い物ツアー付き添い
ぬくもり友の会、家族会	・除雪 ・窓ふき ・大掃除 ・餅つき
琴伝流大正琴北野会	・大正琴演奏披露
鷹栖町商工会女性部	・大正琴演奏披露
鷹栖曲芸クラブ	・皿回し披露
絵画サークル虹の会	・絵画展示
個人ボランティア	・紙芝居 ・読み聞かせ ・大正琴 ・日本舞踊 ・お茶会

(3) 外出・外泊・面会状況

月	面会延べ人数(名)	外出回数 (回)	外泊回数 (回)
平成 25 年 4 月	58	1	4
5 月	102	2	7
6 月	88	1	7
7 月	103	2	7
8 月	115	7	15
9 月	100	2	7
10 月	103	1	4
11 月	136	0	2
12 月	100	1	1
平成 26 年 1 月	125	2	1
2 月	93	0	2
3 月	100	1	3
合計	1223	20	60

(4) 行事

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5/1	えん開設記念日	てくてく	室橋・山内
5/9.12.15.16	お花見&外食	旭山公園	谷水・坂口
5/28	チャレンジデー (玉入れ)	はなユニット	谷水・谷本
6/10	花壇整備	えん庭	谷本
6/15	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	松本・畑山
6/26.27	買い物&外食	イオン	成田・松本
7/13	さつき祭	さつき苑	津野・常田・佐々木
7/31	流しソーメン	食堂	山内・谷水
8/4	北野神社祭・獅子舞	えん駐車場	畑山・成田
8/9	夕涼み会	えん駐車場	津野・畠山
9/12	収穫祭&ボランティア集い	てくてく	坂口・常田・成田
9/15	長生き感謝祭	メロディーホール	谷本・森
9/24.25.26	買い物外出	ウエスタン川端	松本・宮原
10/7.8	紅葉狩り&外食	神楽岡公園	佐々木・谷水
12/27	忘年会・餅つき	はなりビング	津野・室橋・宮原
2/3	豆まき	はなりビング	常田・佐々木
3/2	ひな祭り&ミニ縁日	そら・はなりビング	坂口・室橋

(5) 全体会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 2 日	・業績管理報告 ・委員会からの報告 ・マナーモラルについて ・活動計画 ・新規入居者員について ・今後の予定	12
平成 26 年 5 月 7 日	・業績管理報告 (3 月・年間) ・委員会からの報告 ・玄米食について ・活動計画 ・マナーモラルについて ・今後の予定	12
平成 26 年 6 月 4 日	・業績管理報告 (4 月・年間) ・委員会からの報告 ・抑制・虐待予防について ・活動計画 ・マナーモラルについて ・今後の予定	13
平成 26 年 7 月 2 日	・業績管理報告 (5 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・救急対応について	12
平成 26 年 8 月 6 日	・業績管理報告 (6 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて	12
平成 26 年 9 月 3 日	・業績管理報告 (7 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・ターミナルケアについて	13
平成 26 年 10 月 8 日	・業績管理報告 (8 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて	13
平成 26 年 11 月 5 日	・業績管理報告 (9 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・セラバンドについて	13
平成 26 年 12 月 3 日	・業績管理報告 (10 月・年間) ・委員会からの報告 ・ソフト食のについて ・活動計画 ・マナーモラルについて ・今後の予定	13
平成 27 年 1 月 7 日	・業績管理報告 (11 月・年間) ・委員会からの報告 ・よい挨拶大賞について ・活動計画 ・マナーモラルについて ・今後の予定	13
平成 27 年 2 月 6 日	・業績管理報告 (12 月・年間) ・委員会からの報告 ・感染症について ・活動報告 ・マナーモラルについて ・今後の予定	13
平成 27 年 3 月 2 日	・業績管理報告 (1 月・年間) ・委員会からの報告 ・活動報告 ・今後の予定 ・マナーモラルについて	10

(6) リーダー会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 22 日	・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 業績管理、活動計画 ・ 運営指導 他	7
平成 26 年 5 月 27 日	・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ 行事について ・ 栄養管理 ・ 業績管理 活 ・ スタッフマネジメント	7
平成 26 年 6 月 24 日	・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント	7
平成 26 年 7 月 29 日	・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ 麦ご飯の取り組みについて ・ 事故報告について ・ 業績管理 活動報告 ・ スタッフマネジメント	7
平成 26 年 8 月 26 日	・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント	7
平成 26 年 9 月 23 日	・ ケースカンファレンス ・ 業績管理 活動報告 ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 行事について	7
平成 26 年 10 月 28 日	・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 業績管理 活動計画	7
平成 26 年 11 月 25 日	・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ その他の検討事項 ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 業績管理 活動計画 ・ スタッフマネジメント	7
平成 26 年 12 月 24 日	・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント ・ 栄養状況の悪い方 ・ 業績管理 活動計画	7
平成 27 年 1 月 27 日	・ ケースカンファレンス ・ 業績管理 活動計画 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント	7
平成 27 年 2 月 24 日	・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ スタッフマネジメント ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ 行事について	7
平成 27 年 3 月 24 日	・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 施設長から	7

(7) 特養会議 (計 12 回)

月日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 2 日	・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 栄養マネジメント ・ 手作りおやつについて	12
平成 26 年 5 月 7 日	・ ケアカンファレンス ・ 口腔ケア ・ 事故の検討 ・ 食事ケア	12
平成 26 年 6 月 4 日	・ ケアカンファレンス ・ 家族からの要望・苦情 ・ 栄養マネジメント ・ 事故の検討	13
平成 26 年 7 月 2 日	・ ケアカンファレンス ・ 栄養マネジメント ・ 事故の検討	12
平成 26 年 8 月 6 日	・ ケアカンファレンス ・ 薬の取り扱い方 ・ 事故の検討 ・ その他の検討事項	12
平成 26 年 9 月 3 日	・ ケアカンファレンス ・ 入居者健康診断について ・ 事故の検討 ・ 研修報告	13
平成 26 年 10 月 8 日	・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ ゼリーについて ・ 栄養マネジメント ・ その他の検討事項	13
平成 26 年 11 月 5 日	・ ケアカンファレンス ・ 食事形態について ・ 事故の検討 ・ 口腔ケアについて	13
平成 26 年 12 月 3 日	・ ケアカンファレンス ・ 洗濯について ・ 事故の検討	13
平成 27 年 1 月 7 日	・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 褥瘡発症者及びハイリスク者 ・ その他の検討事項	13
平成 27 年 2 月 6 日	・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 褥瘡発症者及びハイリスク者 ・ その他の検討事項	13
平成 27 年 3 月 2 日	・ ケアカンファレンス ・ 栄養マネジメント ・ その他の検討事項 ・ 事故の検討	10

(8) 給食会議 (計 12 回)

月日	議題内容	参加人数
平成 26 年 4 月 20 日	・小規模利用者について・必要な調理器具・システムについて ・献立等について・行事について	9
平成 26 年 5 月 8 日	・特養入居者について・システムについて・献立について ・衛生面について・玄米食について	9
平成 26 年 6 月 4 日	・特養入居者について・システムについて・献立について ・玄米食について	9
平成 26 年 7 月 10 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について・食中毒予防について	9
平成 26 年 8 月 21 日	・利用者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について・衛生面について ・行事について・ソフト食について	9
平成 26 年 9 月 11 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	9
平成 26 年 10 月 11 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・システムについて・衛生面について ・行事について	10
平成 26 年 11 月 13 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について・衛生面について ・行事について	10
平成 26 年 12 月 11 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	10
平成 27 年 1 月 22 日	・小規模利用者について・特養入居者について ・必要な調理器具について・献立について・衛生面について ・行事について	8
平成 27 年 2 月 12 日	・特養入居者について・必要な調理器具について ・献立について・衛生面について・行事について	9
平成 27 年 3 月 12 日	・特養入居者について・小規模利用者について ・必要な調理器具について・献立について・行事について	10

(9) 入院状況

病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
森山病院	整形外科	左大腿骨転子部骨折	3月22日	4月17日	25
日赤HP	脳外科	右脳梗塞	9月10日	9月26日	15
日赤HP	整形外科	左大腿骨頸部骨折	9月20日	10月1日	10
旭川医療センター	呼吸器内科	肺炎・心不全	10月1日	10月21日	19
日赤HP	泌尿器科	右水腎症	10月11日	10月24日	12
森山病院	整形外科	左大腿骨頸部骨折	10月14日	11月10日	25
市立病院	CCU	心不全	3月3日	3月27日	23

(10) 通院状況

診療科目	件数	病院数
内科	4	1
循環器科	3	1
消化器科	1	1
外科	1	1
整形外科	8	2
脳外科	6	1
神経内科	6	1
麻酔科	7	1
泌尿器科	19	2
婦人科	1	1
皮膚科	24	2
精神科	3	1
耳鼻科	2	1
口腔外科	8	1
歯科	29	3
ペースメーカー外来	2	1
救急外来	2	1
合計	126	22

平成26年度 部門(事業所)別活動計画																								
部門(事業所)名 地域密着特別養護老人ホーム ぬくもりの家 えん						〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																		
NO	事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
1	1	(1)	生命と尊厳を守り、安心して暮らせる生活の保障	①身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う	谷本森	計画		接遇マナー・モラル研修	身体拘束・虐待予防研修(谷本)				B	計画どおり実施		身体拘束・虐待予防啓発(谷本)					身体拘束・虐待ゼロの継続	B	計画どおり実施	
2				②事故を未然に防ぐ取り組みを行い、事故及び事故の再発を防ぐ		谷本森	計画		救命救急研修	事故検証報告			事故検証報告	C	事故検証はできたが分析は十分でなかった			事故検証報告			事故検証報告	事故前年度比－10%	C	取り組んだが18件増加してしまう
3	1	(1)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり	①事故発生時の検証、分析を迅速かつ的確に実施し再発防止に努める	成田畠山	計画	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	委員会活動報告	B	計画どおり実施	リスクマネジメント研修	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	各委員会活動報告	事故前年度比－10%	C	取り組んだが18件増加してしまう
4				②実状に即した救命救急講習会を行い緊急時に備える		成田畠山	計画	緊急時対応チェックリスト確認	救命救急研修					C	点検はできていない			緊急時対応チェックリスト確認				緊急時に適切な対応ができるチェックリストで80%が○	C	研修はできたが、チェックはできていない
5				③地域との連携による緊急時(火災・行方不明)の体制づくり	谷本森	計画	緊急時物品の点検	避難訓練実施要綱作成連絡網確認				ボランティア集会	D	着手できず	避難訓練実施・反省会	連絡網確認		緊急時物品の点検	ボランティア集会		地域との協働による体制を作り・実践できる。	D	着手できず	
6				④ケアプランに基づいたケアサービスの提供と観察を行う		谷本森	計画	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	C	実施はしているが十分ではない	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	ケアプランと記録が連動する	C	ケアプランの更新十分にできていない
7				1	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防する	谷水森	計画	リスク者リストアップ	水分表・食事形態見直し	脱水予防研修	定期検査(血液)	定期検査(血液)	定期健康診断	B	計画どおり実施	水分表・食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	水分表・食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	脱水症・低栄養による入院者がゼロ 入院日数を100日以内ににする
8	②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践する	谷水森	計画				リスク者のリストアップ		予防計画作成・予備知識研修	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	半期の評価	C	きちんとしたカンファレンスができていない	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	半期の評価	褥瘡発症者ゼロ	C	取り組んだが、2名褥瘡が発症した
9	④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画、実践する	谷水森津野成田	計画				下剤使用者把握	玄米食開始	モニタリング	モニタリング	評価	B	計画どおり実施	モニタリング		モニタリング		モニタリング		モニタリング	下剤使用率－40% 下剤使用者11人→7人	C	取り組んだが、十分な成果は出せず人数は変わっていない	
10	⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践	谷水森津野成田	計画				個別計画書作成			口腔ケア研修(職員)		半期の評価	C	評価ができていない						半期の評価	全員の毎食後の口腔ケアができている 全員、口腔摂取ができる 誤嚥性肺炎の入院者ゼロ	C	取り組んだが、1名誤嚥性肺炎での入院があった	
11	1	(1)	感染症の予防				①感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努め集団感染0件を目標とする(感染症対策委員会)	谷水谷本	計画						感染症予防研修(法人)			感染症対策確認加湿器設置	インフルエンザ予防接種			年間報告	感染症集団感染ゼロ	B
12	1	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する(栄養士・給食担当・感染症対策委員会)	已上谷本	計画			食中毒予防研修(法人)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	B	計画どおり実施	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	1年間のモニタリング	食中毒感染者ゼロ	B	計画どおり実施	
13				②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践		計画	食事形態見直し	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	モニタリング	C	随時実施しているがモニタリングまではできていない	食事形態見直し	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	朝食にも一部既製品でのソフト食を入れられたソフト食の見直しもでき、味もよくなった	A			
14				③入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画、実施(アクティビティ委員会:給食担当)	已上谷本	計画	嗜好調査	開設記念こどもの日憲法記念日	買い物外食	海の日	お盆流しそうめん	敬老の日秋分の日	B	計画どおり実施	体育の日出前の日	文化の日勤労感謝の日	クリスマス忘年会天皇誕生日	おせち料理成人の日	即ち建国記念日満足度調査	ひな祭り春分の日満足度調査	満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価	B	味と献立では79%の満足であった	
15						実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			実施	実施	実施	実施	実施	実施				
15	2	(2)	心身の機能低下防止と活動の活性化	①個別リハビリ・集団リハビリを実践し心身機能低下防止を図る(アクティビティ委員会)	室橋坂口	計画	計画作成	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	B	計画どおり実施	9月までのモニタリング			12月までのモニタリング		1年間のモニタリング	介護度の維持が80%	B	介護度は新規などが入り下がったがセラバンド、学習療法を新規に導入できた	
16				②入居者の喜びや楽しみにつながる役割づくりとレクリエーションや行事の計画、実施(アクティビティ委員会)		計画		開設記念パーティー花見	買い物運動会見学	さつき祭	北野神社祭夕涼み会	買い物収獲祭ボランティアの集い	A	簿連ティアの集いもできよかった	紅葉狩り		クリスマス餅つき&忘年会	初詣	豆まき満足度調査	ひな祭り年間報告	毎月のレクリエーションを実施 満足度調査で80%が良いの評価	C	新規も取り入れたが、満足度は64%であった	
17	2	(2)	過ごしやすい環境づくり	①共有スペースの整理整頓と、植物に囲まれ季節感と潤いのある生活環境づくり(環境委員会)	佐々木松本津野	計画	春のしつらえ		夏の準備	夏のしつらえ	秋の準備	秋のしつらえ	B	計画どおり実施	冬の準備	冬のしつらえ			満足度調査	年間報告	満足度評価で80%が良いの評価	B	満足度は76%でわずかにいかなかった	
18				②入居者の生活状態に合わせ、個人の心地よい環境を考えた居室環境づくりと整理整頓を行う(担当・環境委員会)		計画		居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	委員会活動報告	D	暮らしの点での環境作りはできなかった	居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	満足度調査	年間報告				個々に合わせたしつらえと、整理整頓が常にされている

平成26年度 部門(事業所)別活動計画																					

部門(事業所)名 地域密着特別養護老人ホーム ぬくもりの家 えん [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

NO	事業計画 No.	重点 目標 との連 動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容							
19	2	(2)	楽しみや喜びのある暮らしづくり	①入居者個々に合わせた役割づくりを行う	森津野成田	計画	手作りおやつ(毎月)	できることできないことの確認	役割を計画	役割の実践	役割の実践	評価	A	一人の方の役割作りができた	役割の実践	役割の実践	役割の実践	役割の実践	役割の実践	評価	入居者の役割ができる	B	一人の役割はできたが、それ以上上げられなかった							
20				実施		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施			未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施				未実施	未実施	計画どおり実施できる	A	ボランティア集会、餅つきとボランティアの活躍があった		
21	3	(3)	基礎介護力の向上	①基礎介護知識・技術を特養さつき苑の研修に参加し継続・実践する。重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。	谷本森	計画									食事ケア研修	排泄ケア研修	トランスファー研修		認知症ケア研修	効果測定	基礎介護力が向上する 効果測定で全員60点以上取る	B	効果測定はできていないが、全て実施でき、新しい講師もできた							
22				実施													実施										A	研修に参加し、職場に1つ以上還元し、業務改善やケアを向上する		
23	3	(3)	新任職員・現任職員の育成	①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差が内容に統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する	谷本森	計画		1週間毎の面談	2週間毎の面談	面談	面談	面談	B	計画どおり実施							面談	新任職員が辞めることなく成長する	B	やめることなく成長できた						
24						実施		実施	実施	実施	実施															未実施	現任職員が辞めることなく、成長できる	A	やめることなく成長できた 他部署への大苑もできた	
25						計画	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	C	十分にてきていない	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修				リーダー研修	リーダー研修				リーダー研修
26	4	(3)	働きがいがあり、チームワークの高い職場の風土づくり	①マナー・モラルの啓発を継続し、よい組織風土を作る	谷本森	計画	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	よいあいさつ運動	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	B	計画どおり実施	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	よいあいさつ運動	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	満足度調査で、マナーやモラルが良いと評価を受ける	A	満足調査で97％宵の評価を受けた							
27						実施	実施	実施	実施	実施	実施			実施	実施	実施									実施	実施	実施	速やかに業務改善が図られ、職員がストレスを感じない	C	ストレスを感じないほど改善はできなかった
28						計画	連休の取得					→	A	計画どおり実施実施できリフレッシュが図られた																
29	5	(4)	家族・住民との協働と地域への貢献	①地域の行事や奉仕活動に参加し地域貢献を図る	谷本森	計画	クリーン作戦		円山幼稚園運動会		盆踊り北野神社祭		B	計画どおり実施	クリーン作戦						年間報告	例年の行事参加の継続100％	C	実施したが、全ては参加できなかった						
30						実施	未実施		実施	実施				未実施												未実施	ボランティアが減らず、体制を維持できる(閑節業務)	B	例年どおり維持できた	
31						計画	虹の会絵画掛け替え	一斉清掃	花壇整備花植え			ボランティアの会	B	計画どおり実施	虹の会絵画掛け替え											友の会総会での報告会				計画通りの実施ができる
32	6	(5)	業務の標準化	②2ヶ月に一回の運営推進会議開催と、家族会・ぬくもり友の会・行政機関等の、第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた施設運営	谷本森	計画		運営推進会議	家族会総会	運営推進会議	友の会勉強会・食事会	運営推進会議	B	計画どおり実施		運営推進会議	友の会忘年会 家族会忘年会	運営推進会議		運営推進会議友の会総会	マニュアルを整備し常に活動できるものにする(5つは整備できる)	D	未着手							
33	実施						実施	実施	実施	実施																	業務を標準化し、適正な役割分担ができる	D	未着手	
34	6	(6)	適正収益の確保	①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率を毎月達成する(目標稼働率98％)	谷本森	計画	業績管理により分析(毎月)	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	上期報告	C	実施したが成果につながっていない	業績管理により分析(毎月)	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	年間報告	稼働率98％目標達成	C	取り組んだが、96.8％の稼働率であった						
35						実施	実施	実施	実施	実施	実施																			
				②全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める(前年度比－3％)	津野佐々木	計画	発注品・方法の見直し	オムツ使用者の見直し				上半期報告	C	実施したが成果につながっていない	コスト見直し					年間報告	オムツ代 前年度比－3％ リハバン6人⇒4人	C	取り組んだが、減らせることはできなかった							
						実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			実施	実施	実施	実施	実施	実施										

平成26年度 小規模多機能ホームぬくもりの家えん事業報告

1. 総括

今年度は昨年度より活動内容をより具体的にし、以下の6つの重点目標に取り組んだ。

1) 根拠に基づいた安全と安心を保障するケアの提供

今年度は、基礎介護研修を現任職員が講師を行い、ケアの質の向上に努めた。

事故件数は昨年 36 件に対し 56 件と倍近い件数となった。中でも、内服薬に関する事故が 21 件と 38%を占めており、チェック体制の不備が要因となっている。また、転倒事故も 14 件と 26%を占めている。骨折等の大きな事故には至っていないが、リスクとしては高く、体調等の把握と早期の環境整備が必要であった。

2) 利用者の心身機能の維持向上と自立支援を目指し、個々に合わせた生活環境の提供

今年度は心身機能の維持向上を目指し、9 月より 10 名学習療法にて認知症予防に取り組み、12 月より全員にセラバンドを取り入れ、体力維持に努めた。どちらも自立支援・在宅生活を目指すものなので、今後も継続していく。

また、体操前の腹式呼吸や唄を歌う、昼食前の嚥下体操を実施し、呼吸機能を高め、食事時のむせ込みの減少へつなげ誤嚥予防に努めた。

他にも、主治医・訪問リハビリとの連携を図り、看護師を中心に個別のリハビリテーションを 5 名の方に実施した。実施者については、要介護度が維持されている。

事業所内の環境については、担当が中心となり観葉植物や季節を感じられるよう工夫し、地域の方の絵画を宿泊室に掛けることで改善が図られた。

3) 知識・技術の専門性を持ち共に高め合い主体性を持ったチームと働きがいのある生活環境の提供

今年度は、5 連休を継続して行い、全員が取得することが出来た。主体性を持ったチームとしては不十分であったので、次年度、計画的に取り組みたい。

4) 家族・地域と協働した施設運営を行う

今年も、運営推進会議を 2 か月に 1 回開催した。多くの意見があり、運営状況もご理解・ご協力いただいた。また、引き続き、朝市や買い物外出を通してふれあいが深められた。

5) 業務の効率化と標準化を図る

マニュアル整備の着手は出来なかったが、オペレーションは更新が随時されており、業務の改善が図られた。

6) 適正利益の確保

事業所毎の光熱費月別消費量比較表により、スタッフの意識が高まり、光熱・暖房費や消耗品費の節約に努めた。消耗品の一部は小規模で管理し、コストの把握に努めた。新規登録者はケアマネジャーからの紹介も多く 15 名だったが、停止者も 16 名と多く、十分な支援が出来ていなかった。よって、月平均登録者数は 18 名で目標の 21 名に達す

ることは出来なかった。

2. 次年度に向けて

平成 27 年度は、重点目標の①健康管理を徹底し、地域・自宅で生活し続けられるケアの提供②地域の活動を通し、小規模多機能ケアの理解を深める。③適正利益の確保に努める。この 3 つに絞り努めていく。特に、今年度は先ず、記録のダブルチェックを強化し変化に早めに気づき体調を崩さぬよう努める。また、利用者のアセスメント・ケアプランを立て、健康維持をしていくことで、ご利用者・ご家族が「ここに通ってよかった」と思える事業所を目指していく。

各スタッフが担当利用者に対して、要望を聞き、楽しみや喜びのある暮らしづくりの計画（いきいきはびねすプラン）と実践を行う。現任職員が目標を持ち、仕事のやりがいや充実感が持てるよう支援し、介護過程（ケアプラン）展開の実践を 1 人、年 1 ケース以上取り組む。

アクティビティにおいても、利用者・家族に成果の見える形での実施により満足して頂けるサービスの提供を目指す。

また、私たちが支援していることは、根拠に基づくケアであることを意識し、日々のミーティングやカンファレンスを通じてご利用者・ご家族にとって必要としている支援やケアプランについて、各担当と一緒に検討し、チームとして実施していく。

今後ともご家族と共に支援する立場として相談・協力し、住み慣れた自宅での生活を継続出来るようにする。

3. 運営状況・統計資料

<事業活動の統計・データ>

（１） 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4 月 7 日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・外部評価結果・医療基礎知識研修計画について	8 名
5 月 7 日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて事故の検討・担当表変更・活動計画・口腔ケア評価について	8 名
6 月 2 日	ケースカンファレンス・事故の検討・医療基礎介護研修（脱水）・看介護記録について・モニタリング	9 名
7 月 7 日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・オペレーション・個別リハビリ・学習療法開始に向けて・医療基礎介護研修（高血圧・心不全）	10 名
8 月 4 日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・学習療法開始に向けてスケジュール・ターミナル研修について	9 名

9月1日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・KYT研修・学習療法開始日の流れ・研修報告	9名
10月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・オペレーション・医療基礎介護研修(誤嚥性肺炎)・セラバンド導入計画	8名
11月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・褥創について・事故の検討・活動計画中間評価・学習療法・セラバンドについて	8名
12月3日	ケースカンファレンス・褥創について・事故の検討・個別リハビリ・オペレーションについて	8名
1月7日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・オペレーションについて	6名
2月6日	業績管理・活動計画・感染症対策	5名
3月2日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・次年度担当について	7名

(2) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5/1	開設記念日	てくてく	佐久間・松枝・加藤
5/8	花見ドライブ	パレットヒルズ	佐久間
5/28	チャレンジデー	小規模	佐久間・林
6/15	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	寒河江・能登
6/25	買い物ツアー	イオン	松枝・林・小野
7/11	ジンギスカンパーティー	小規模	松枝・寒河江
7/13	さつき祭	さつき苑	柳原・西江・佐久間
7/24	曲芸クラブ	てくてく	曲芸クラブ
8/1	流しそうめん	てくてく	佐久間・加藤・寒河江
8/4	北野獅子舞	えん駐車場	佐久間・松枝・加藤
8/7	夕涼み会	えん駐車場	佐久間・松枝・加藤
9/5	学習療法開始	小規模	能登・柳原・林
9/12	収穫祭・ボランティアとの 集い	てくてく	柳原・西江
9/27	買い物ツアー	東神楽・旭川空港	松枝・加藤
10/3	紅葉ツアー	神居古譚	佐久間・林

10/8	キャリアウィーク (鷹栖中学校)	小規模内	能登
10/13	チャレンジデー	小規模	佐久間
10/17	大正琴演奏	てくてく	琴伝流の皆様
10/25	コーラス	てくてく	中央コーラスどんぐりの皆様
11/2	大正琴演奏	てくてく	商工会婦人部の皆様
12/24	クリスマス会	小規模	松枝・加藤・寒河江
12/27	餅つき・忘年会	てくてく	柳原・佐久間・林・小野
2/3	節分	はなりビンゴ	林・松枝
3/3	ひな祭り	小規模リビンゴ	加藤・小野

(3) 手作りおやつ

月	内 容
5/26	ピザトースト
6/27	おやつ餃子
8/22	冷やし白玉しるこ
10/24	きんつば
11/28	どら焼き
12/25	クリスマスケーキ
1/23	おかからクッキー
2/27	生チョコ
3/27	せんべい

7・9月に関しては、体調不良者がおり中止

(4) 昼食づくり

月	内容
5/9	お好み焼き・味噌汁・お握り
6/24	餃子・味噌汁・お握り
7/17	ジンギスカン・お握り
9/12	シチュー・野菜サラダ
11/14	焼きそば・味噌汁・お握り
12/12	スパゲティーミートソース・野菜スープ
1/9	すいとん汁・鶏そぼろ丼
3/7	そば・いなり

8・10・2月については、体調不良者・地域での風邪の流行があり中止とした。

小規模多機能ホーム めくもりの家 えん				〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																			
事業計画 No.	重点 目標 との連 動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容	
1	(1)	生命と尊厳を守り、安心して暮らせる生活の保障	①身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う	能登松枝	計画 実施		マナー・モラル研修	虐待・抑制廃止研修(谷本)				B	身体拘束・虐待はなく、研修も実施している。		虐待・抑制廃止研修(谷本)理念研修(施設長)						身体拘束・虐待ゼロの継続	B	身体拘束・虐待はなく、研修も実施している。
			②事故を未然に防ぐ取り組みを行い、事故及び事故の再発を防ぐ	柳原小野林	計画 実施		救命救急研修	リスクマネジメント研修				C	研修は実施しているが、事故件数は減少していない。	リスクマネジメント研修						事故前年度比－20%(29件以下)(H25年度36件)	C	事故件数は増加しており、59件(63%増)特に、転倒と内服薬に関する事故が62%を占めている	
			③在宅生活を継続できるよう、機能訓練を実施し転倒予防に努め、自立支援を重視したケアを行う。	佐久間松枝	計画 実施		個別リハビリ対象者・内容検討				中間評価	B	転倒による入院は無い。			中間評価			年間評価	転倒による入院がゼロ(H25年度 0件)	B	転倒による入院は無かった。	
2	(1)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり	①事故発生時の検証、分析を迅速かつ的確に実施し再発防止に努める	柳原小野林	計画 実施	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	委員会活動報告	C	事故検討は実施しているが事故件数は減少していない。	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	各委員会活動報告	事故前年度比－20%(29件以下)(H25年度36件)	C	事故件数は増加しており、59件(63%増)特に、転倒と内服薬に関する事故が62%を占めている	
			②実状に即した救命救急講習会を行い緊急時に備える	能登小野	計画 実施	緊急時対応チェックリスト確認	救命救急研修					C	研修は実施している。チェックリスト作成できていない。		救命救急研修			緊急時対応チェックリスト確認	未実施	緊急時に適切な対応ができるチェックリストで80%が○	C	研修は実施しているが、チェックリスト作成が未着手	
			③地域との連携による緊急時(火災)の体制の確認と訓練の実施を行う	谷本能登	計画 実施	緊急時物品の点検	避難訓練実施要綱作成連絡網確認	避難訓練実施・反省会				D	着手出来ていない。	避難訓練実施・反省会	連絡網確認		緊急時物品の点検			地域との協働による体制を作り・実践できる。	D	着手が出来ていない。	
			④家族・地域との連携による緊急時(行方不明)の体制の確認を行う	能登松枝	計画 実施	町内会への周知活動	SOSネットワーク青色・小ホールへの依頼		地域ケア会議にて提案			D	着手出来ていない。	職員連絡網確認						地域との協働による体制を作り・実践できる。	D	着手が出来ていない。	
3	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供	①根拠に基づくケアを行うため、アセスメントにより課題を明確化し、ケアプランに基づいたサービスの提供をし、毎月のモニタリングの実施により適切なケアが出来ているか確認を	能登松枝	計画 実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	C	実施しているが不十分。	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	ケアプランと記録が連動する	C	実施しているが不十分	
			②ケアシステムを見直し、定期的なケアプランの更新とケアプランに基づく統一したケアの実践を行う	能登松枝	計画 実施	ケアシステム・方法見直し	ケアプラン作成システム化	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	C	新規は作成できているが、変更が遅延している。	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	ケアプランの新規作成・変更が遅延なくできている	C	新規は作成できているが、更新が遅延している	
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防する。(水分量・必要栄養量の確認と把握)	小野能登	計画 実施	リスク者リストアップ	水分表・食事形態見直し	脱水予防研修	疾病別対応研修		疾病別対応研修	B	入院者ゼロ。	水分表・食事形態見直し			疾病別対応研修	水分表・食事形態見直し		脱水症・低栄養による入院者がゼロ	B	脱水症・低栄養では入院はいない。	
			②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践する	小野能登松枝	計画 実施	リスク者のリストアップ	予防計画作成	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)・予備知識研修	半期の評価	C	褥瘡発症者が2名。	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	年間評価	褥瘡発症者ゼロ	C	下半期で1名発症。年間を通して3名。全員改善しており、現在は予防のため観察継続している。	
			③看護職員・介護職員と栄養士、調理員の連携を図り、安全かつ適切なケアが行えるようになる	小野能登松枝	計画 実施	カンファレンス	カンファレンス	食事形態調理方法見直し	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	B	入院者ゼロ。	カンファレンス	食事形態調理方法見直し	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	脱水症・低栄養による入院者がゼロ(H25年度 0件)	B	入院者ゼロ	
			④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画、実践する	小野能登松枝	計画 実施		下剤使用者把握	玄米ご飯実施開始		モニタリング	C	下剤使用者は減少していないが頻度は少なくなった。	モニタリング		ファイバー1名実施		モニタリング	モニタリング		大腸刺激性下剤使用者を1名減らす(現在6名使用)	B	ファイバー使用し大腸刺激性下剤使用者1名減。	
			⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践	小野能登松枝	計画 実施		口腔ケアの状況把握	就寝前口腔ケアの実施計画作成		口腔ケア研修(職員)	半期の評価	B	泊まり者は就寝時の口腔ケアは全員実施出来ている。通いのみの方へのアプローチは不十分。				口腔ケアアンケート実施		年間評価	就寝前口腔ケアは自宅での取り組みが不十分。誤嚥性肺炎での入院は1名。他肺炎での入院が2名いたが、誤嚥性ではなかった。	C		
			⑥医療と介護の連携により、入院者による停止者0件	小野能登松枝	計画 実施		内服状況確認	ダブルチェックカンファレンス実施	ダブルチェックカンファレンス実施	ダブルチェックカンファレンス実施	半期の評価	C	入院による停止者7名。	実施済	実施済	ダブルチェックカンファレンス実施	ダブルチェックカンファレンス実施	ダブルチェックカンファレンス実施	年間評価	入院による停止者ゼロ(H25年度2件)	C	入院による停止者9名。内、再開者が6名。	
5	(1)	感染症の予防	①感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防策の徹底と定期的な確認を行う	小野能登	計画 実施							感染症予防研修(法人)	B	集団感染ゼロ	感染症対策確認加減器設置	インフルエンザ予防接種			年間報告	感染症集団感染ゼロ(H25年度 0件)	B	集団感染ゼロ	
6	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する(栄養士・給食担当・感染症対策委員)	松枝能登	計画 実施			食中毒予防研修(法人)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	B	集団感染ゼロ	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	1年間のモニタリング	食中毒感染者ゼロ(H25年度 0件)	B	集団感染ゼロ	
			②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践	松枝能登	計画 実施	摂食兆候者のリストアップ	食事形態見直し	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	モニタリング	B	経口摂取出来ている。	食事形態見直し	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	食事形態の多様化により、全員経口摂取ができている	A	ターミナルの方も最期まで経口摂取出来ていた。		
			③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画、実施(アクティビティ委員会:給食担当)	佐久間松枝加藤	計画 実施	嗜好調査	開設記念こどもの日憲法記念日	買い・物外食	海の日流しそうめん	お盆夕涼み会	敬老の日秋分の日買い・物外食	B	実施出来ている。	体育の日	文化の日勤労感謝の日	クリスマス忘年会天皇誕生日	おせち料理成人の日	節分建国記念日満足度調査	ひな祭り春分の日	満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価	B	食事メニューや味に関しては80%以上満足されていたが、食事内容と料金に関しては65%と低かった。	
7	(2)	心身の機能低下防止と活動の活性化	①個別リハビリ・集団リハビリを実践し心身機能低下防止を図る(アクティビティ委員会)	佐久間松枝	計画 実施	計画作成		学習療法導入計画作成	学習療法研修参加	中間評価内容検討	B	介護度維持できている。	学習療法家族への周知	学習療法開始	学習療法9名実施			1年間のモニタリング	介護度の維持が80%(H25年度 平均介護度1.91→2.25)	B	介護度維持できている(平均介護度 2.0→2.06)		
			②利用者の喜びや楽しさにつながる役割づくりとレクリエーションや行事の計画、実施	佐久間松枝	計画 実施		開設記念花見	買い・物運動会見学	さつき祭流しそうめん	北野神社祭夕涼み会	買い・物収穫祭	B	計画通り実施出来ている。	紅葉祭り学芸会見学		クリスマス会餅つき&忘年会	初詣	豆まき満足度調査	ひな祭り年間報告	毎月のレクリエーションを実施満足度調査で80%が良いの評価	C	計画通り実施出来たが、満足度は70%前後だった。	
8	(2)	過ごしやすい環境づくり	①共有スペースの整理整頓と、植物に囲まれ季節感と潤いのある生活環境づくり(環境委員会)	西江寒河江	計画 実施		春のしつらえ		夏の準備	夏のしつらえ	秋の準備	秋のしつらえ	B	計画通り実施出来ている。	冬の準備	冬のしつらえ			満足度調査	年間報告	満足度評価で80%が良いの評価	B	季節のしつらいは計画通り実施出来ている。満足度調査での数値化が出来なかったため、質問項目の検討をしていく。
			②利用者の状態に合わせ、個別に過ごせる空間や、季節感を全ての空間で作り出す	西江寒河江	計画 実施		居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	委員会活動報告	B	計画通り実施出来ている。	居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	満足度調査	年間報告	個々に合わせたしつらえと、整理整頓が常にされている	B	整理整頓はされている。	

平成26年度 部門(事業所)別活動計画

事業計画No.				重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9	(2)	楽しみや喜びのある暮らしづくり	①利用者個々に合わせた役割づくりを行う	松枝佐久間	計画 実施	手作り昼食・おやつ(毎月)	できることできないことの確認 未実施	役割を計画 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	評価	D	着手出来ていない。	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 1名に実施	評価	利用者の役割ができる	B	在宅復帰のため1名に取り組み開始し実施出来ている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			②季節や天候に合わせた行事やアクティビティの計画・実施	松枝佐久間	計画 実施		開設記念花見 実施済み	買い物運動会見学 実施済み	さつき祭流しそうめん 実施済み	北野神社祭夕涼み会 実施済み	買い物収獲祭 実施済み	B	計画通り実施出来ている。	紅葉狩り学会見学 実施済み		クリスマス会餅つき&忘年会 実施済み	初詣	豆まき満足度調査 実施済み	ひな祭り年間報告 実施済み	毎月のレクリエーションを実施 満足度調査で80%が良いの評価	C	計画通り実施出来たが、満足度は70%前後だった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			③地域の方々やご家族と共に楽しむことができる行事の実施	松枝佐久間	計画 実施		一斉清掃 実施済み	買い物 実施済み	ぬくもり友の会と交流会 実施済み		収穫祭とボランティアの交流会 実施済み	B	計画通り実施出来ている。			餅つき&忘年会 実施済み				計画どおり実施できる 各企画に30%以上の方が参加する	B	計画通り実施出来ている																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			①基礎介護研修を現任職員が講師となり、研修の実践	谷本能登	計画 実施										食事ケア研修(成田・佐々木) 実施済み	排泄ケア研修(森・佐久間) 実施済み	トランスフェアー研修(津野・柳原) 実施済み	入浴研修(能登・室橋) 実施済み	認知症ケア研修(松枝) 実施済み	効果測定 未実施	基礎介護力が向上する 効果測定で全員60点以上取る	B	計画通り実施出来ている																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
10	(3)	基礎介護力の向上	②外部研修への計画的参加。	能登	計画 実施		学習療法研修(松枝・佐久間)	新任介護職員研修(西江)	新任介護職員研修(加藤) 認知症実践者研修(柳原)		新任介護職員研修(林)	B	計画通り実施出来ている。							高齢者ケア研究会参加 未参加		研修に参加し、職場に1つ以上還元し、業務改善やケアを向上する	B	ほぼ計画通り実施出来ている																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差が内容に統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する	能登谷本	計画 実施	1週間毎の面談OJT 実施済み	1週間毎の面談 実施済み	2週間毎の面談 実施済み	面談 実施済み	面談 実施済み	面談 実施済み	B	計画通り実施出来ている。 新任職員は離職していない。							面談 実施	新任職員が辞めることなく成長する (H25年度 0名)	B	面談は計画通り実施できている。 新任職員退職無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
11	(3)	新任職員・現任職員の育成	②現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるように育成する	能登松枝	計画 実施	役割の確認 実施済み		面談 実施						基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修面談 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み	基礎介護研修 実施済み

平成 26 年度
特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑
実態調査報告書

(自：平成 26 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 27 年 3 月 31 日)

1. 入居者状況

(1) 利用（入退所）状況

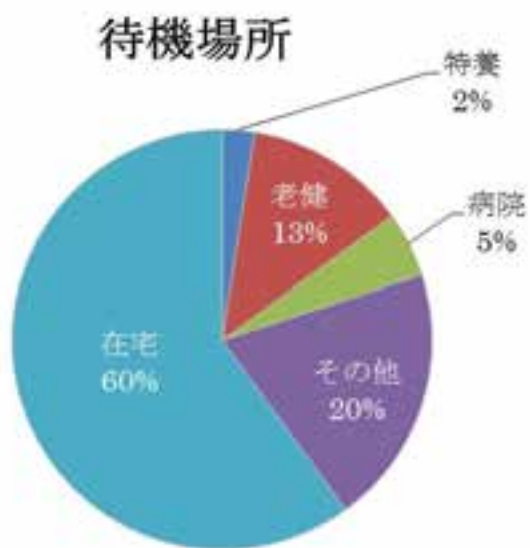
年 度	定 員	新年度より 繰越人員			新規入所			死亡・退所人員						翌年度へ 繰越人員		
		男	女	計	男	女	計	死亡			退所			男	女	計
								男	女	計	男	女	計			
63	50				18	34	52	1	0	1	1	0	1	16	34	50
元	50	16	34	50	2	1	3	2	0	2	1	0	1	15	35	50
2	50	15	35	50	2	4	6	0	3	3	3	0	3	14	36	50
3	50	14	36	50	0	8	8	1	2	3	2	3	5	11	39	50
4	50	11	39	50	1	5	6	4	3	7	0	1	1	8	40	48
5	50	8	40	48	2	1	3	0	1	1	0	0	0	10	40	50
6	50	10	40	50	6	2	8	6	1	7	0	1	1	11	39	50
7	50	11	39	50	3	6	9	1	7	8	0	2	2	13	36	49
8	50	13	36	49	2	3	5	1	2	3	1	0	1	14	36	50
9	50	14	36	50	4	4	8	3	5	8	0	0	0	13	37	50
10	50	13	37	50	3	4	7	3	3	6	1	0	1	12	38	50
11	50	12	38	50	0	4	4	0	3	3	1	0	1	11	39	50
12	50	11	39	50	4	4	8	1	6	7	1	0	1	13	37	50
13	50	13	37	50	3	7	10	2	6	8	0	2	2	14	36	50
14	50	14	36	50	4	5	9	2	4	6	1	1	2	15	36	51
15	50	15	36	51	4	8	12	6	5	11	1	1	2	15	36	51
16	50	15	36	51	5	6	11	6	7	13	0	2	2	14	35	49
17	50	14	35	49	7	8	15	5	7	12	0	1	1	15	35	50
18	50	15	35	50	3	8	11	3	1	4	2	5	7	13	37	50
19	50	13	37	50	2	9	11	0	4	4	1	5	6	14	37	51
20	50	14	37	51	8	7	15	2	6	8	4	4	8	17	34	51
21	50	17	34	51	6	9	15	0	3	3	6	6	12	16	35	51
22	50	16	35	51	1	9	10	4	3	7	1	2	3	11	40	51
23	50	11	40	51	5	12	17	2	4	6	2	6	8	13	39	52
24	50	12	40	52	2	7	9	0	5	5	1	2	3	12	40	52
25	50	12	40	52	1	3	4	1	2	3	1	0	1	11	41	52
26	50	11	41	52	5	7	12	0	2	2	4	6	10	12	38	50

(2) 入居者住所地（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	男性	女性	合計
鷹栖町	12	35	47
旭川市	0	3	3
合計	12	38	50

(3) 入居者待機者状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	特養	老健	病院	その他	在宅	合計
鷹栖町	1	5	2	8	24	40
旭川市	0	2	1	3	4	10
比布町	0	0	1	0	0	1
滝川市	0	0	0	0	2	2
札幌市	0	0	1	1	0	2
帯広市	0	0	0	1	0	1
計	1	7	5	12	30	55

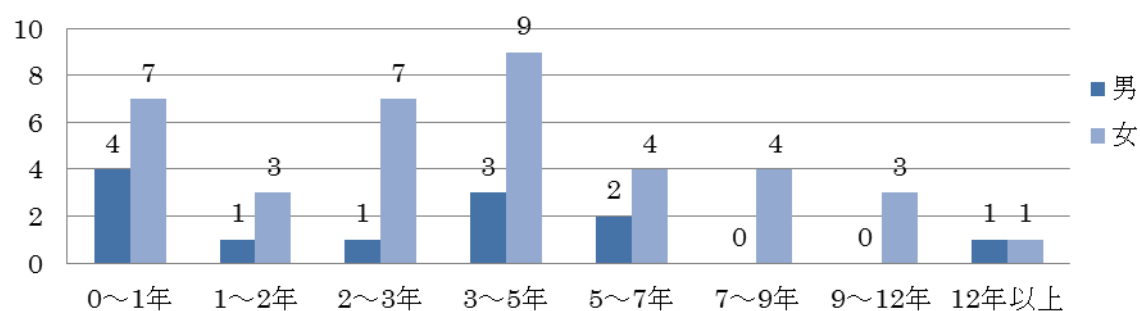


(4) 在所期間一覧表（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	男	女	合計
0～1 年	4	7	11
1～2 年	1	3	4
2～3 年	1	7	8
3～5 年	3	9	12

5～7 年	2	4	6
7～9 年	0	4	4
9～12 年	0	3	3
12 年以上	1	1	2
合 計	12	38	50

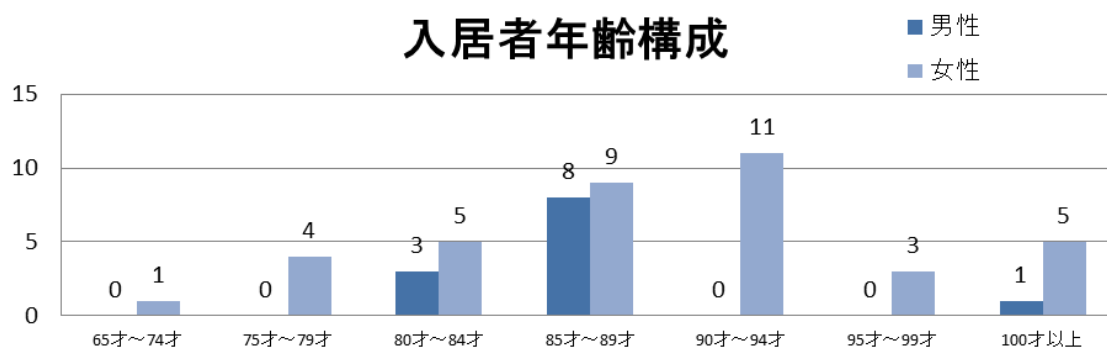
在所期間別入居者人数



(5) 入居者年齢構成 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	在 籍 者		
	男性	女性	計
65 才～74 才	0	1	1
75 才～79 才	0	4	4
80 才～84 才	3	5	8
85 才～89 才	8	9	17
90 才～94 才	0	11	11
95 才～99 才	0	3	3
100 才以上	1	5	6
計	12	38	50

入居者年齢構成



(6) 介護度の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	5	8	8	9	20	50
男性	1	2	4	1	4	12
女性	4	6	4	8	16	38

入居者要介護度分布



食事状況



(7) 食事状況（平成26年3月31日）

	自立	見守り	一部介助	全介助	経管栄養	合計
合計	20	10	10	9	1	50
男性	8	1	3	0	0	12
女性	12	9	7	9	1	38

(8) 移動状況（平成26年3月31日現在）

	歩行		杖	歩行器など		車いす	
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助
合計	2	3	1	4	3	9	28
男性	1	1	1	0	2	3	4
女性	1	2	0	4	1	6	24

移動手段の状況



入浴状況



(9) 入浴状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	一般浴		個室浴	車いす浴	臥床浴	合計
	自立	介助				
合 計	0	14	23	13	0	50
男 性	0	5	6	1	0	12
女 性	0	9	17	12	0	38

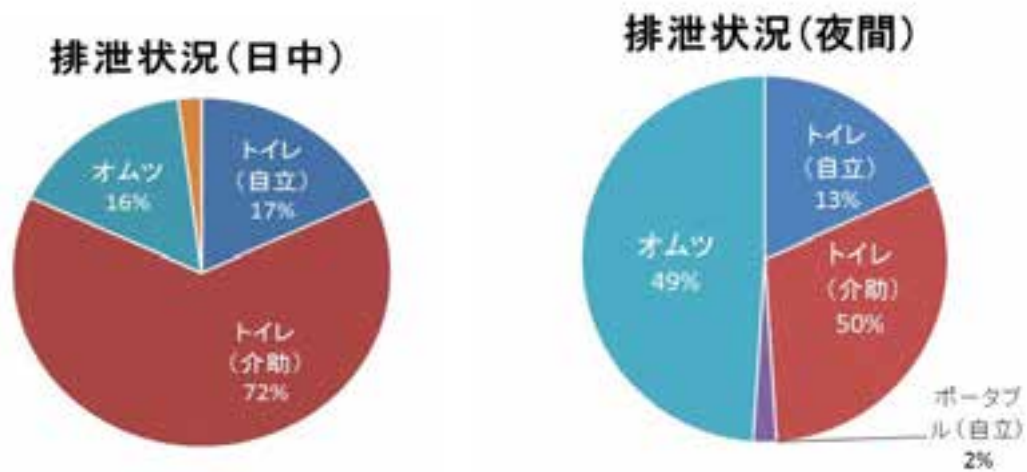
(10) 排泄状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

日中

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
計	9	32	0	0	8	1	50
男 性	2	8	0	0	1	1	12
女 性	7	24	0	0	7	0	38

夜間

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
計	9	15	0	1	24	1	50
男 性	3	5	0	0	3	1	12
女 性	6	10	0	1	21	0	38



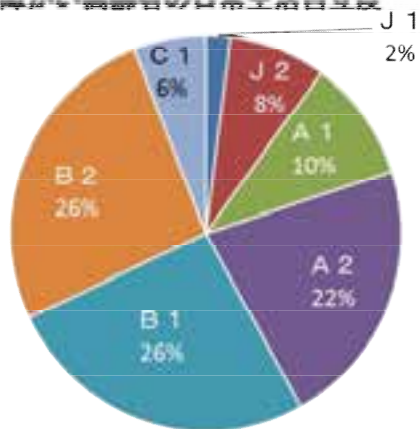
(11) 入居者疾患分類（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	男	女	計
脳血管障害	6	15	21
糖尿病	2	6	8
高血圧	2	6	8
心疾患	0	4	4
視力障害		1	1
関節炎・リュウマチ	1	2	3
パーキンソン氏病		1	1
認知症(アルツハイマー等)	4	17	21
悪性腫瘍(癌)	1	1	2
脊椎損傷	1		1
泌尿器疾患	5		5
貧血	1	1	2
消化器疾患	1	2	3
合計	24	56	80

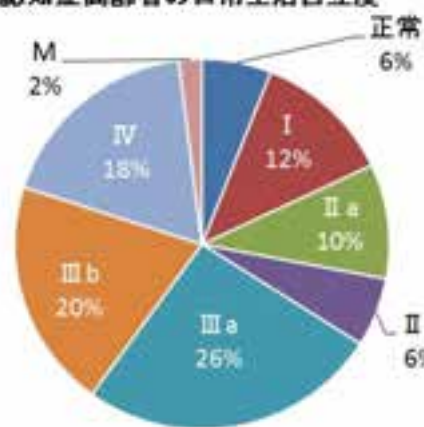
(12) 身体状況（障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定）

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
計	1	4	5	11	13	13	3	0	50
男 性	1	0	1	3	4	3	0	0	12
女 性	0	4	4	8	9	10	3	0	38

障がい高齢者の日常生活自立度



認知症高齢者の日常生活自立度



(13) 認知症の状況（認知症高齢者の日常生活自立度判定）

	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
計	3	6	5	3	13	10	9	1	50
男 性	2	2	3	0	3	1	1	0	12
女 性	1	4	2	3	10	9	8	1	38

(14) 入院状況

No.	病院名	診療科目	症状・病名
1	佐野病院	内科	誤嚥性肺炎
2	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換・誤嚥性肺炎
3	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
4	森山病院	脳神経外科	胃瘻ボタン交換
5	佐野病院	内科	輸血
6	森山病院	脳神経外科	胃瘻ボタン交換
7	佐野病院	内科	膀胱炎
8	佐野病院	内科	誤嚥性肺炎
9	佐野病院	内科	低栄養・肺炎
10	旭川医療センター	内科	肺炎
11	佐野病院	消化器内科	総胆管結石
12	森山病院	脳神経外科	頭部縫合
13	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
14	旭川医療センター	脳神経内科	てんかん発作
15	森山病院	脳神経外科	多発性脳梗塞

16	旭川医療センター	神経内科	下痢・電解質異常
17	佐野病院	内科	心不全・胸水
18	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
19	日赤病院	消化器内科	吐血・胃ポリープ
20	佐野病院	内科	胃瘻ボタン交換
21	厚生病院	泌尿器科	左水腎症・肺炎
22	佐野病院	内科	栄養低下
23	市立旭川病院	皮膚科	蜂窩織炎
24	森山病院	脳神経外科	胃瘻ボタン交換
25	佐野病院	内科	嘔吐
26	佐野病院	消化器内科	便秘
27	旭川医療センター		てんかん発作
28	佐野病院	内科	肺炎・心不全
29	佐野病院	内科	肺炎
30	佐野病院	内科	肺炎
31	佐野病院	内科	脱水
32	佐野病院	内科	総胆管結石・肺炎・膀胱炎



(15) 通院状況 (定期通院含む)

病院名	診療科目	計
浅井医院	内科	22
あさひ眼科	眼科	15
佐野病院	内科	1
	血管外科	1
	泌尿器科	4
	神経科	6
	外科	5
	眼科	1
	皮膚科	4
鷹栖歯科	歯科	14
高橋整形外科病院	整形外科	1
旭川医療センター	循環器科	9
	内科	2
	耳鼻科	1
	脳神経内科	9
福祉村サテライト	整形外科	38
	外科	2
もとまち皮膚科	皮膚科	16
森山病院	整形外科	11
	内科	7
	脳神経外科	4
	泌尿器科	10
	眼科	4
旭川脳神経外科	脳神経外科	3
永山環状通眼科	眼科	4
旭川脳神経内科	神経内科	12
フクダペインクリニック	内科	10
上村産婦人科	婦人科	2
北彩都病院	内科	7
藤井病院		1
勤医協一条病院	外科	4
	合 計	230

2. 事故発生統計

(1) 事故の内容

内 容	件数
転倒	15
転落	47
ぶつけた	11
誤飲(誤嚥)	0
誤投薬	8
投薬忘れ	6
異食	1
その他	16
圧迫	17
搔いた	0

(2) けがの程度

程 度	件数
無傷	61
発赤(後に消失)	2
擦り傷	6
切り傷	12
内出血	22
やけど	0
腫れ	4
骨折	2
死亡	0
その他	4
打撲	1
表皮剥離	4
出血	3
打撲、裂傷、腫れ	0

(3) 事故の種類

種 類	件数
介助中	43
単独	78
自傷	0

(4) 事故の発生時間

時 間	件数
5:00	3
6:00	9
7:00	9
8:00	5
9:00	3
10:00	7
11:00	8
12:00	6
13:00	4
14:00	7
15:00	12
16:00	5
17:00	6
18:00	2
19:00	10
20:00	4
21:00	3
22:00	1
23:00	0
0:00	2
1:00	2
2:00	4
3:00	1
4:00	6

(5) 事故の発生（発見）場所

場 所	件数
リビング	5
浴室	12
トイレ	8
居室	53
廊下	6
食堂	22
その他屋内	5
屋外	1
不明（後に発見）	9

平成 26 年度
多機能型グループホーム鷹栖なごみの家
実態調査報告書

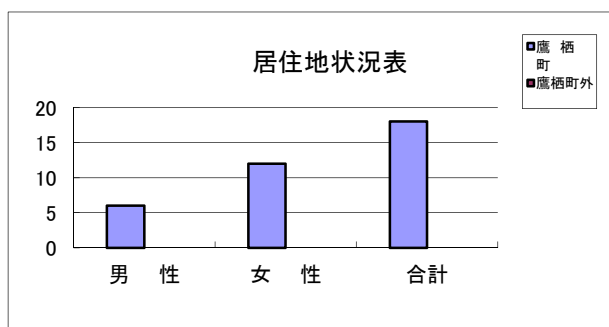
(自：平成 26 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 27 年 3 月 31 日)

1 入退所状況

入所者数	退所者数	退所理由	在籍者数	男 性	女 性
4	5	搬送先で死去1名 なごみの家で死去1名 長期入院で3名	18	6	12

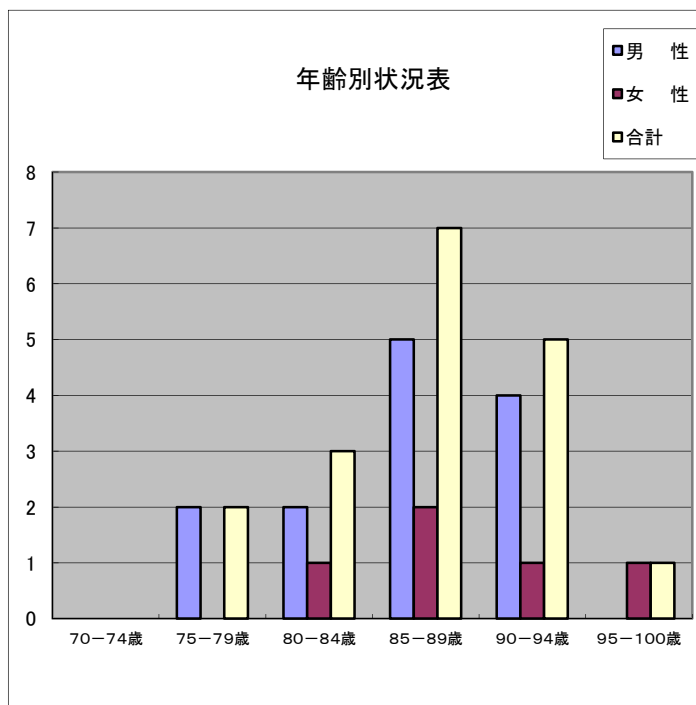
2 居住地別

	男 性	女 性	合 計
鷹 栖 町	6	12	18
鷹栖町外	0	0	0
合 計	6	12	18



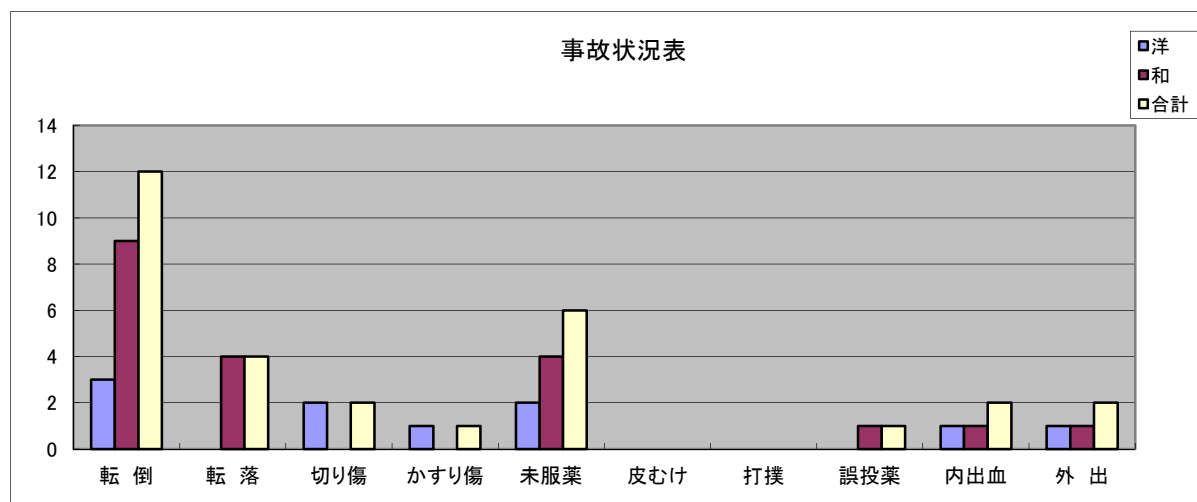
3 年齢別

	男 性	女 性	合 計
70－74歳	0	0	0
75－79歳	2	0	2
80－84歳	2	1	3
85－89歳	5	2	7
90－94歳	4	1	5
95－100歳	0	1	1
合 計	13	5	18
平均年齢	83	89.1	87.1
最高年齢	91	98	
最低年齢	77	81	



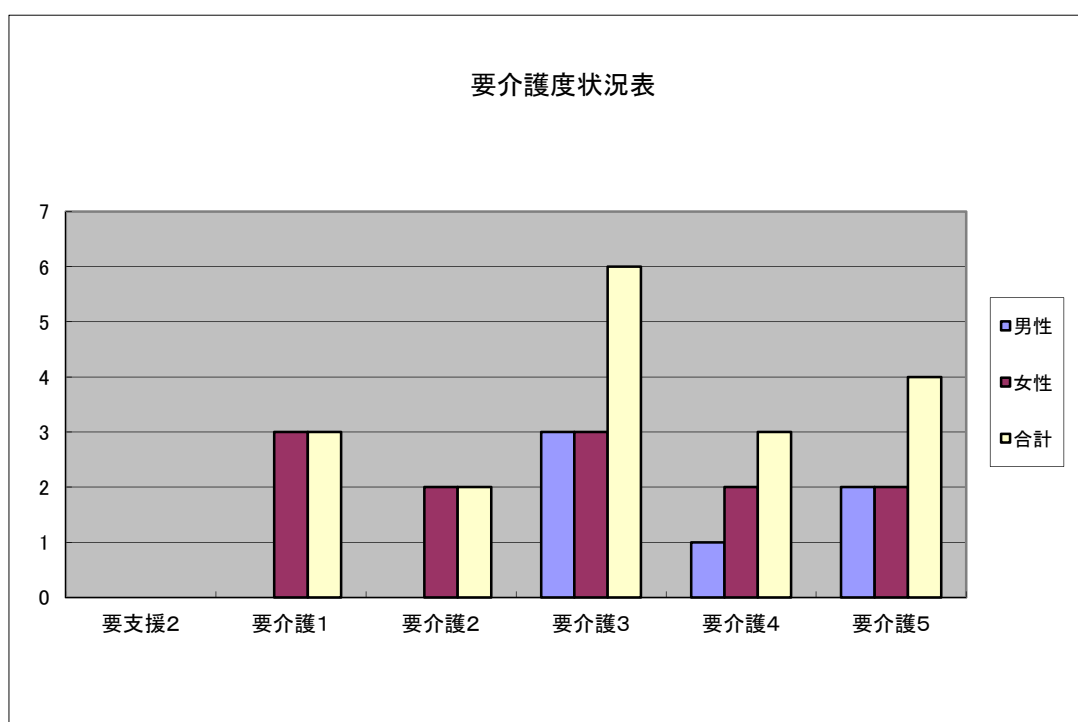
4 事故状況

	洋	和	合計
転 倒	3	9	12
転 落	0	4	4
切り傷	2	0	2
かすり傷	1	0	1
未服薬	2	4	6
皮むけ	0	0	0
打撲	0	0	0
誤投薬	0	1	1
内出血	1	1	2
外 出	1	1	2
その他	0	2	2
合 計	10	22	32



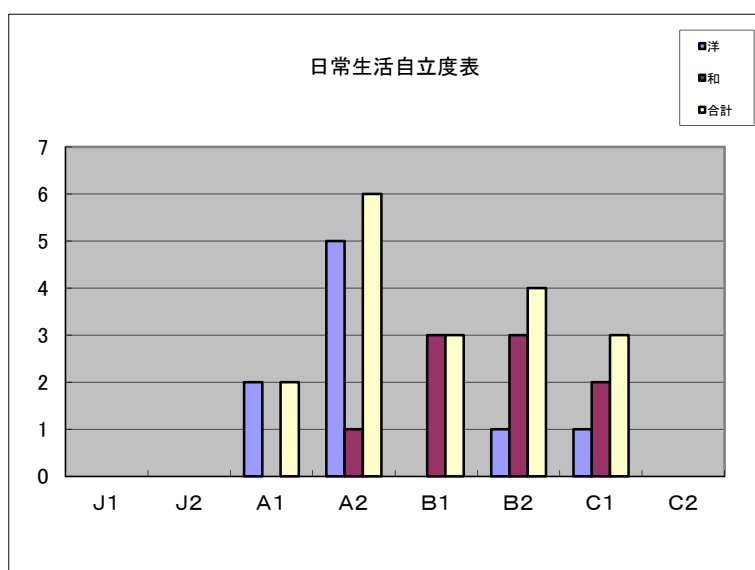
5 要介護度別

	男性	女性	合計	構成比
要支援2	0	0	0	0%
要介護1	0	3	3	17%
要介護2	0	2	2	11%
要介護3	3	3	6	33%
要介護4	1	2	3	17%
要介護5	2	2	4	22%
合 計	6	12	18	100%



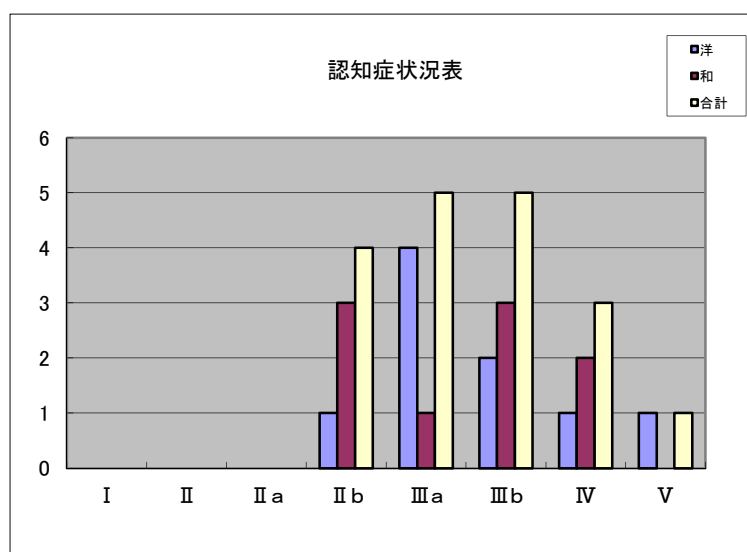
6 日常生活自立度

	洋	和	合計	構成比
J1	0	0	0	0%
J2	0	0	0	0%
A1	2	0	2	11%
A2	5	1	6	33%
B1	0	3	3	17%
B2	1	3	4	22%
C1	1	2	3	17%
C2	0	0	0	0%



7 認知症状況

	洋	和	合計	構成比
I	0	0	0	0%
II	0	0	0	0%
II a	0	0	0	0%
II b	1	3	4	22%
III a	4	1	5	28%
III b	2	3	5	28%
IV	1	2	3	17%
V	1	0	1	6%

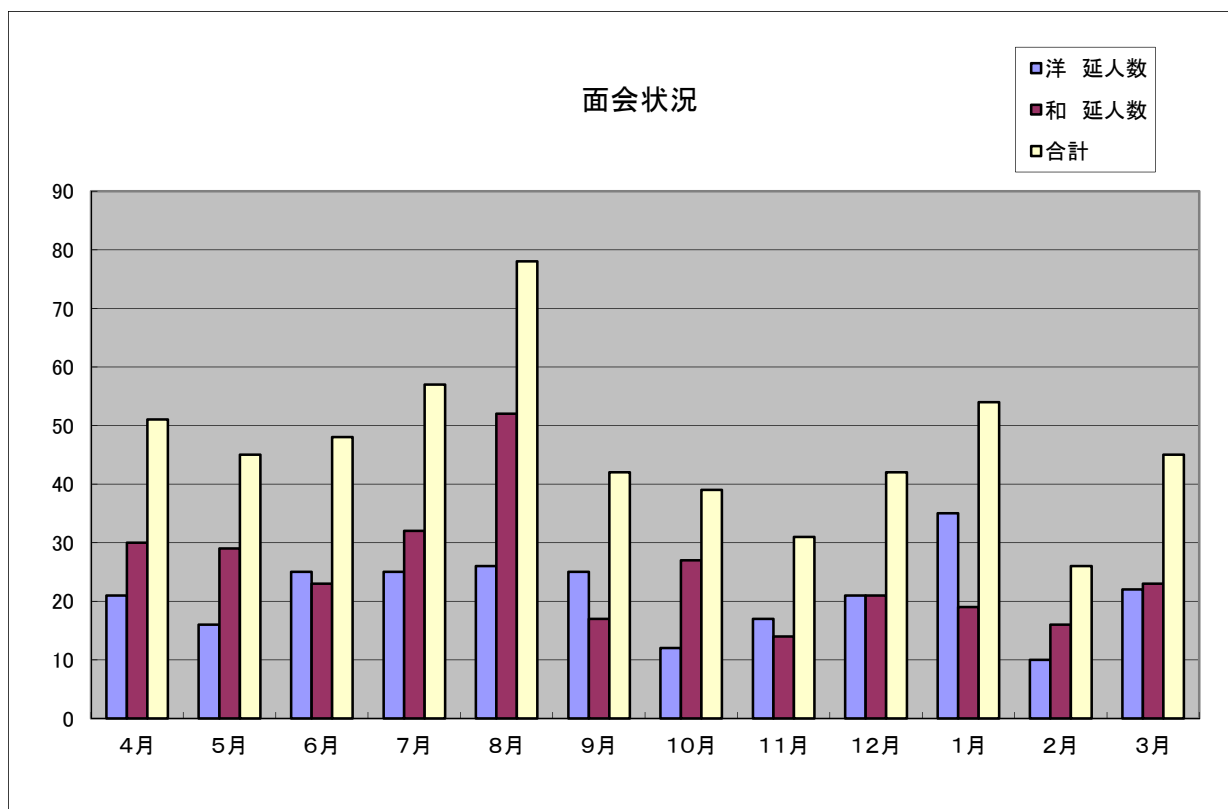


8 入院状況

	実人数	延日数
整形外科系	1	14
精神科系	0	0
内科系	6	101
消化器系	1	6
脳神経外科系	1	15

9 面会状況

	洋 延人数	和 延人数	合計	1日平均
4月	21	30	51	1.7
5月	16	29	45	1.45
6月	25	23	48	1.6
7月	25	32	57	1.8
8月	26	52	78	2.5
9月	25	17	42	1.4
10月	12	27	39	1.2
11月	17	14	31	1
12月	21	21	42	1.3
1月	35	19	54	1.7
2月	10	16	26	0.9
3月	22	23	45	1.4
合計	255	303	558	1.5

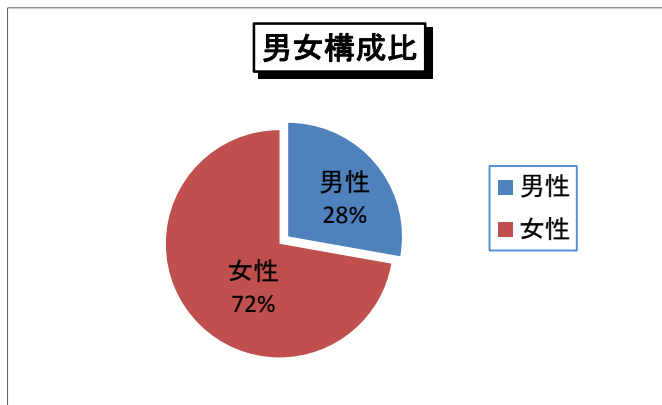


平成 26 年度
小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家
実態調査報告書

(自：平成 26 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 27 年 3 月 31 日)

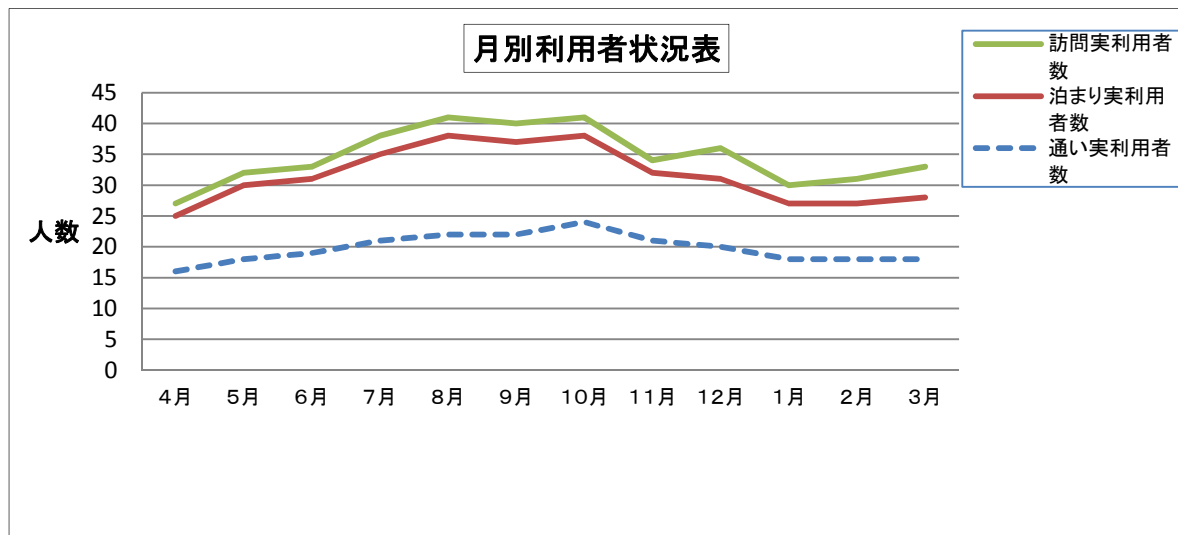
1. 利用登録者

男性	女性	合計
5	13	18



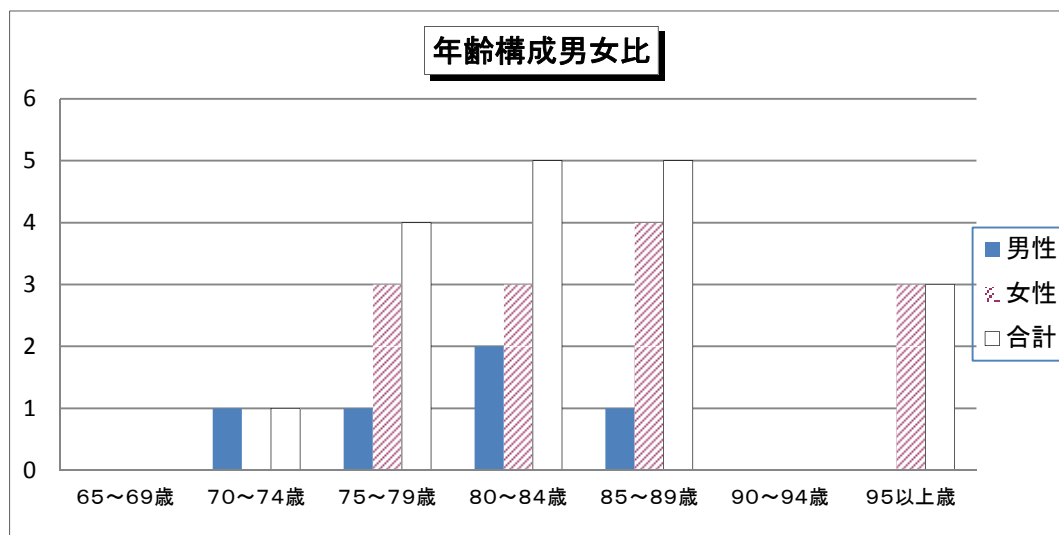
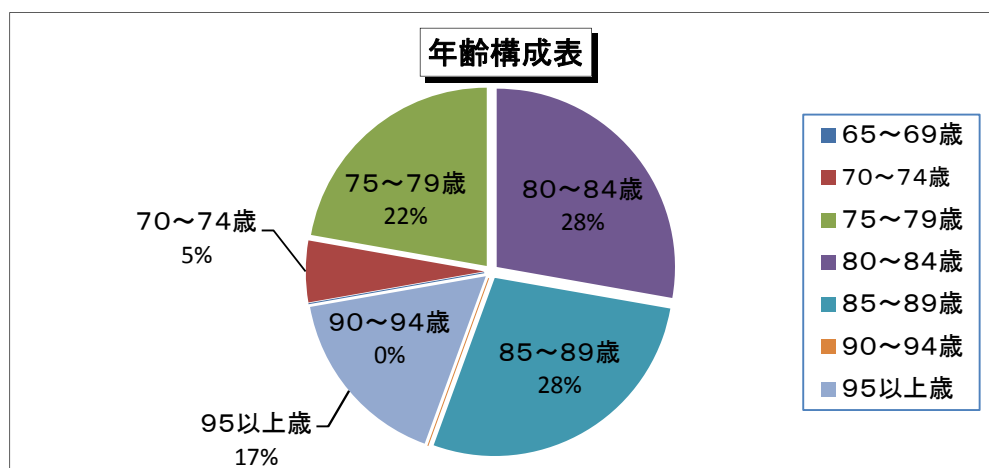
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	停止者	月初登録者数
4月	16	9	2	0	0	16
5月	18	12	2	0	1	17
6月	19	12	2	1	0	18
7月	21	14	3	2	1	19
8月	22	16	3	0	1	21
9月	22	15	3	0	0	21
10月	24	14	3	2	3	22
11月	21	11	2	2	1	21
12月	20	11	5	1	2	20
1月	18	9	3	0	0	18
2月	18	9	4	1	0	18
3月	18	10	5	0	0	18
平均	19.8	11.8	3.1	0.8	0.8	19.1



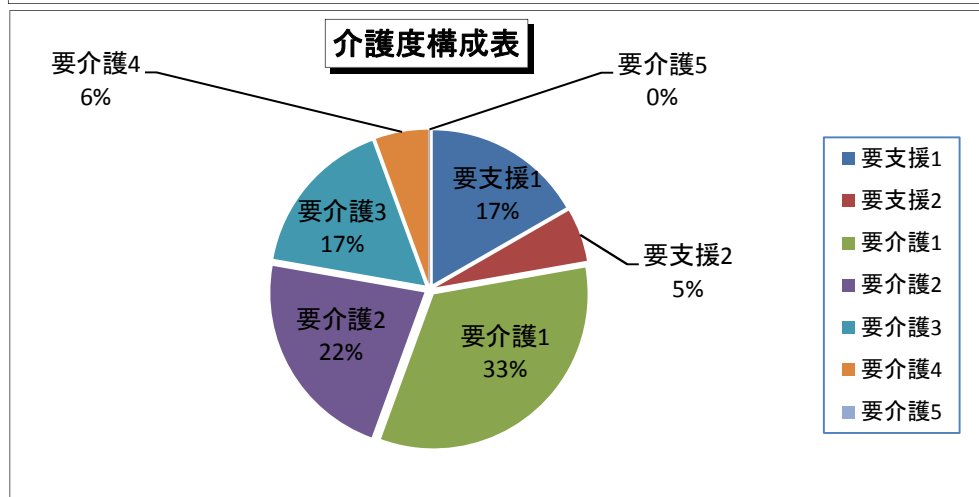
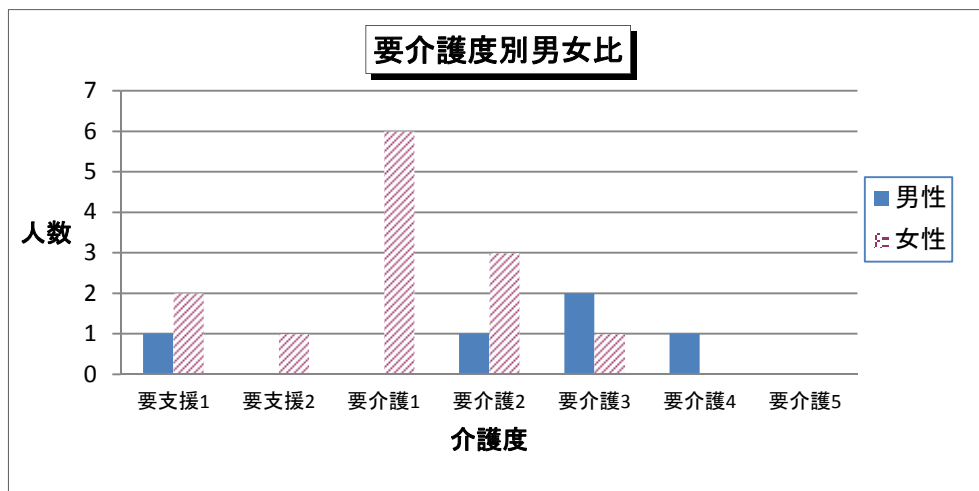
3. 年齡

年齡	男性	女性	合計
65～69歲	0	0	0
70～74歲	1	0	1
75～79歲	1	3	4
80～84歲	2	3	5
85～89歲	1	4	5
90～94歲	0	0	0
95以上歲	0	3	3
合計	5	13	18
平均年齡	76.6	84	83.3
最高年齡	89	97	97
最低年齡	73	77	73



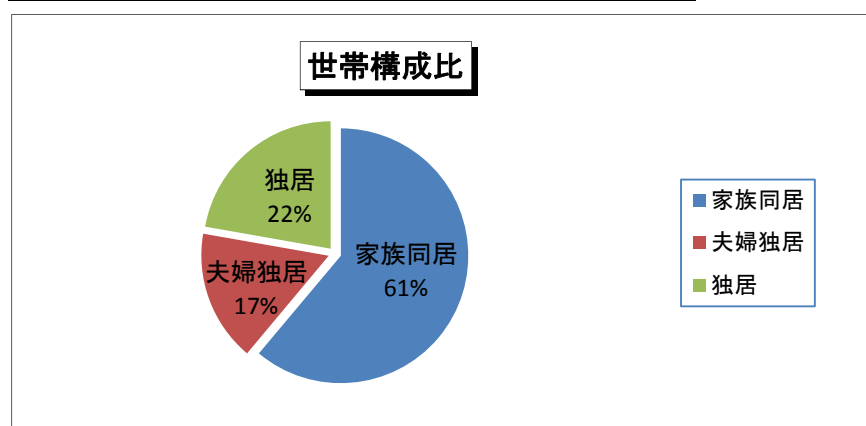
4. 要介護度別

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	1	2	3	13%
要支援2	0	1	1	6%
要介護1	0	6	6	44%
要介護2	1	3	4	25%
要介護3	2	1	3	6%
要介護4	1	0	1	6%
要介護5	0	0	0	0%
合計	5	13	18	100%



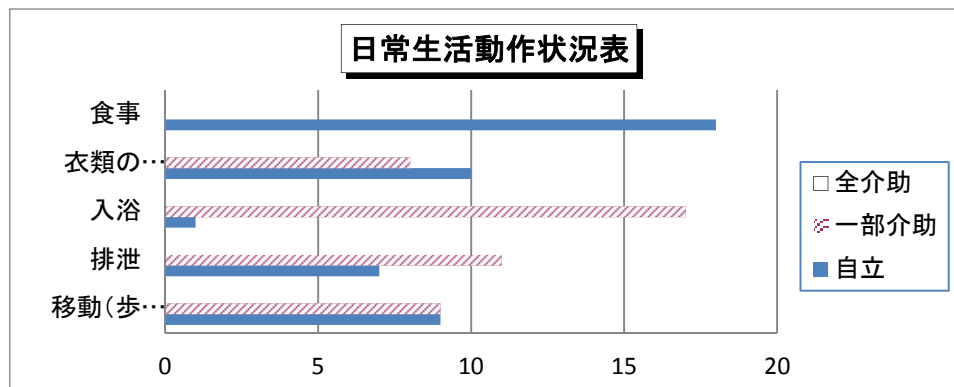
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
11	3	4	18



6. ADL(日常生活動作)状況

分類	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	9	9	0	18
排泄	7	11	0	18
入浴	1	17	0	18
衣類の着脱	10	8	0	18
食事	18	0	0	18

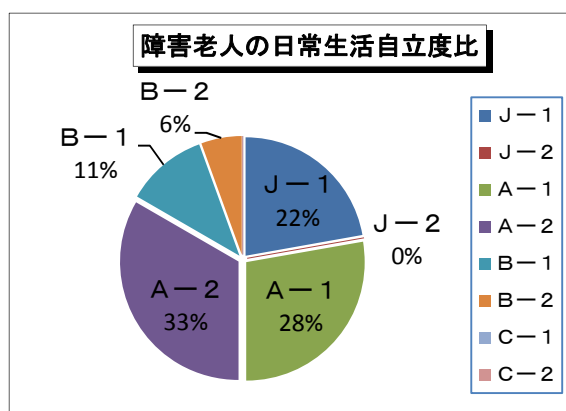
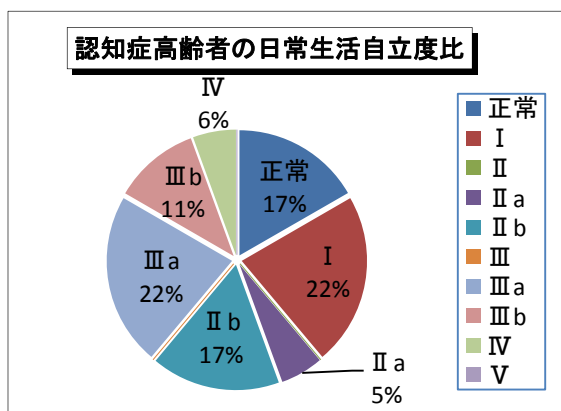


7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	3
I	4
II	0
II a	1
II b	3
III	0
III a	4
III b	2
IV	1
V	0
合計	18

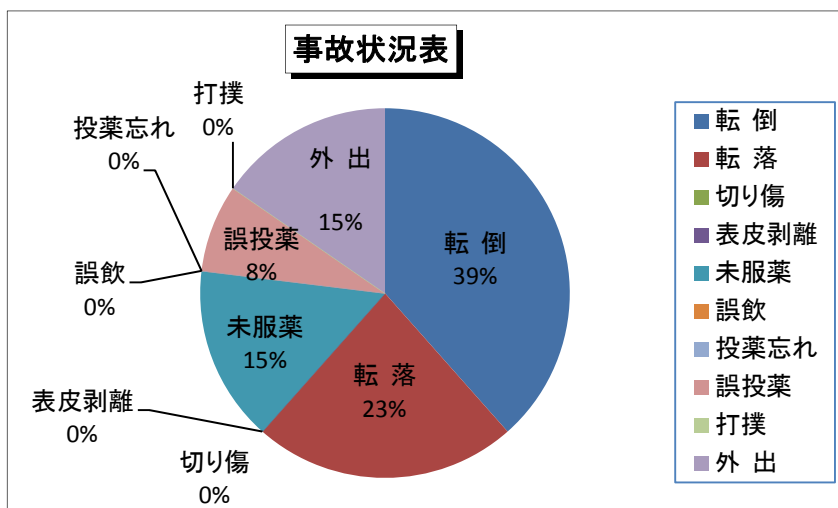
8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	4
J-2	0
A-1	5
A-2	6
B-1	2
B-2	1
C-1	0
C-2	0
合計	18



9. 事故状況

内容	件数
転 倒	5
転 落	3
切り傷	0
表皮剥離	0
未服薬	2
誤飲	0
投薬忘れ	0
誤投薬	1
打撲	0
外 出	2
合 計	13

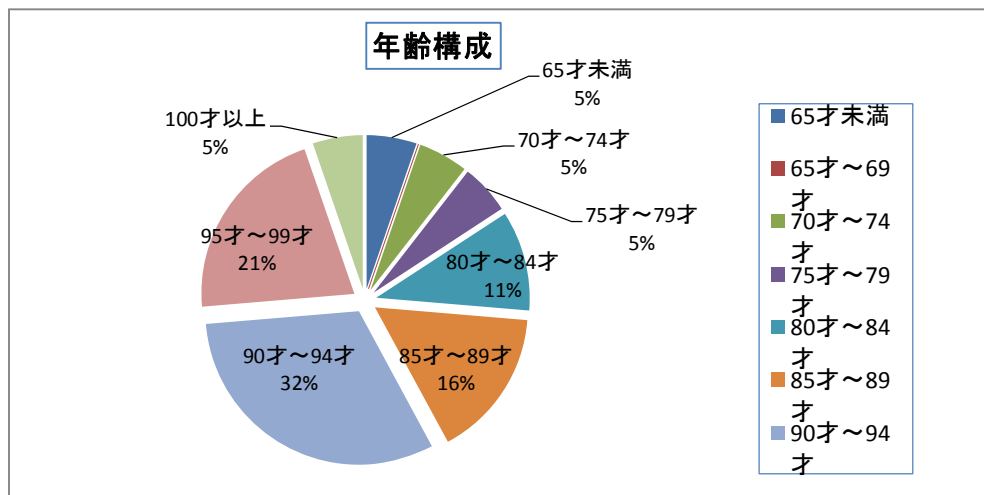
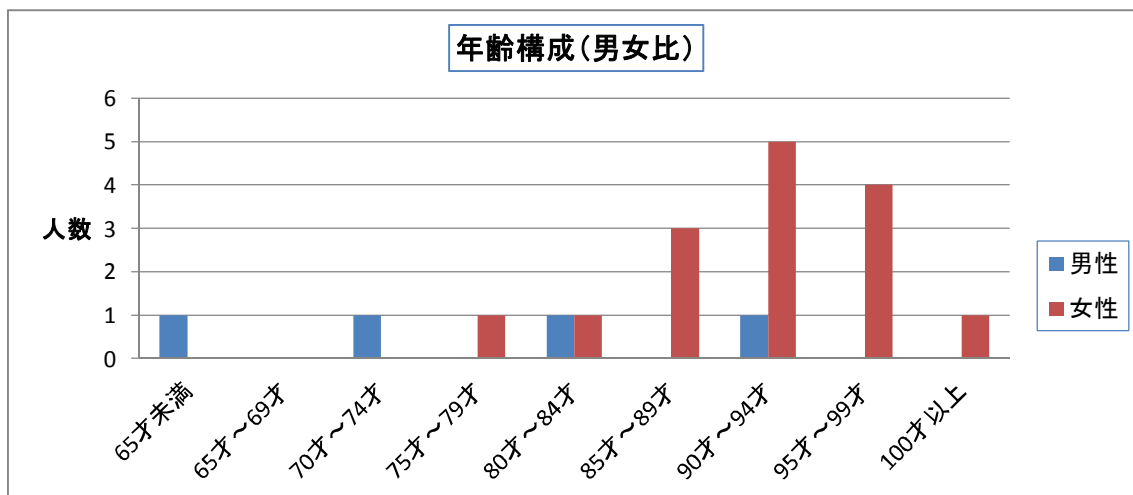


平成 26 年度
地域密着型特別養護老人ホームぬくもりの家えん
実態調査報告書

(自：平成 26 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 27 年 3 月 31 日)

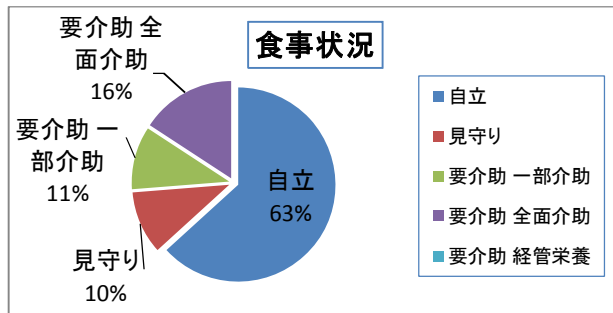
1.入居者年齢構成(平成27年3月31日現在)

	在 籍 者			
	男性	女性	計	
65才未満	1	0	1	【最高年齢】 男性 90 歳 女性 101 歳 【最低年齢】 男性 63 歳 女性 77 歳 【平均年齢】 男性 76.5歳 女性 91.5歳 全体 88.4歳
65才～69才	0	0	0	
70才～74才	1	0	1	
75才～79才	0	1	1	
80才～84才	1	1	2	
85才～89才	0	3	3	
90才～94才	1	5	6	
95才～99才	0	4	4	
100才以上	0	1	1	
計	4	15	19	



2.食事状況(平成27年3月31日現在)

	自立	見守り	要介助			合計
			一部介助	全面介助	経管栄養	
男性	2	0	1	1	0	4
女性	10	2	1	2	0	15
合計	12	2	2	3	0	19



3.移動状況(平成27年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす使用		合計
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助	
男性	1	0	0	0	0	2	1	4
女性	2	1	0	1	2	5	4	15
合計	3	1	0	1	2	7	5	19

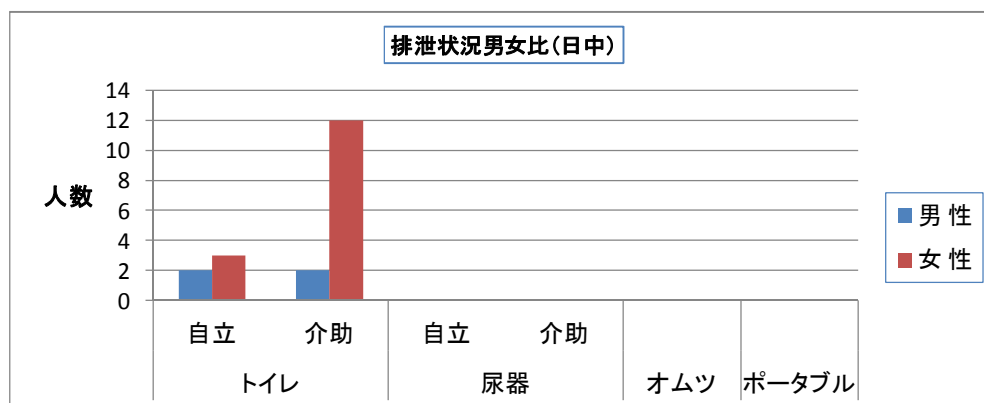
4.入浴状況(平成27年3月31日現在)

	一般浴		車いす浴	合計
	自立	介助		
男性	0	2	2	4
女性	2	5	8	15
合計	2	7	10	19

5.排泄状況(平成27年3月31日現在)

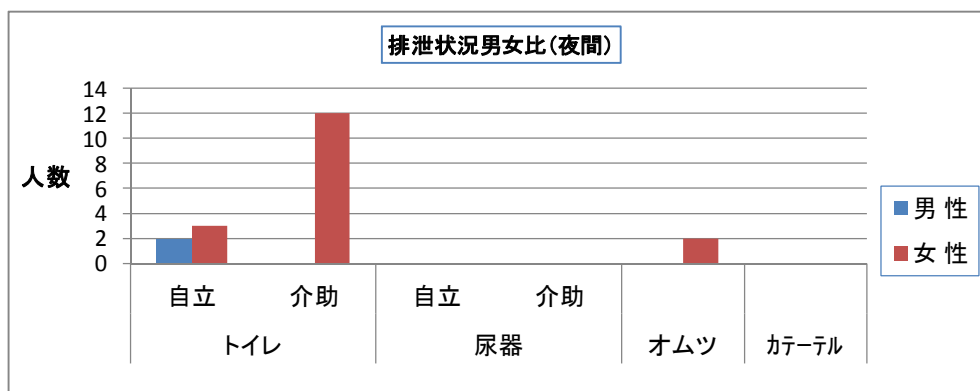
日中

	トイレ		尿器		オムツ	ポータブル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	2	2	0	0	0	0	4
女性	3	12	0	0	0	0	15
計	5	14	0	0	0	0	19



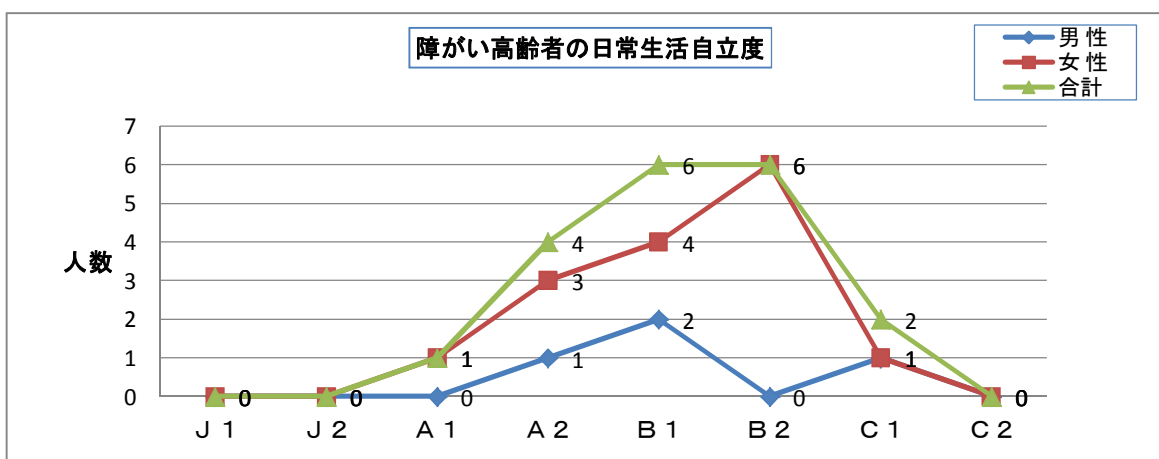
夜間

	トイレ		尿器		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男 性	2	0	0	0	0	0	2
女 性	3	12	0	0	2	0	17
計	5	12	0	0	2	0	19



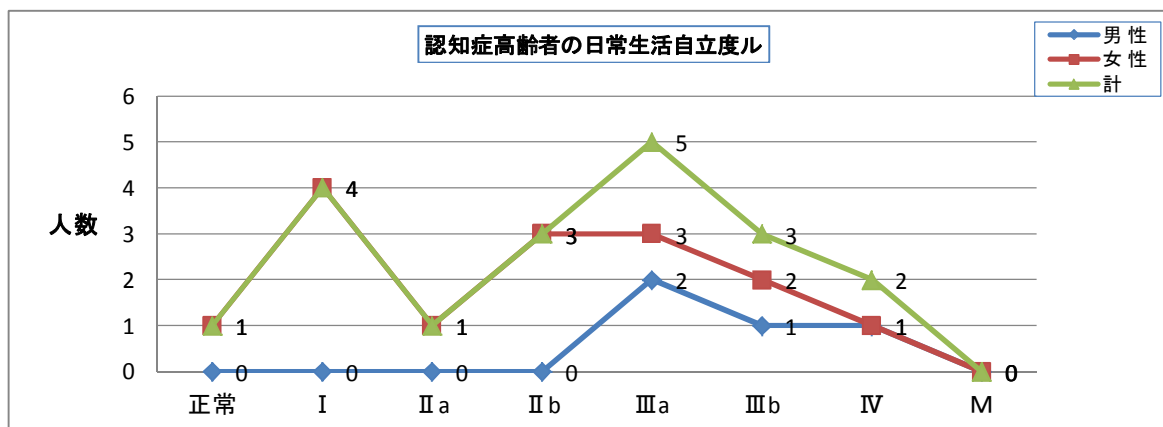
6.身体状況(障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定)

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
男 性	0	0	0	1	2	0	1	0	4
女 性	0	0	1	3	4	6	1	0	15
合計	0	0	1	4	6	6	2	0	19



7.認知症(精神)状況(認知症高齢者の日常生活自立度判定)

	正常	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	計
男 性	0	0	0	0	2	1	1	0	4
女 性	1	4	1	3	3	2	1	0	15
計	1	4	1	3	5	3	2	0	19



平成 26 年度
小規模多機能ホームぬくもりの家えん
実態調査報告書

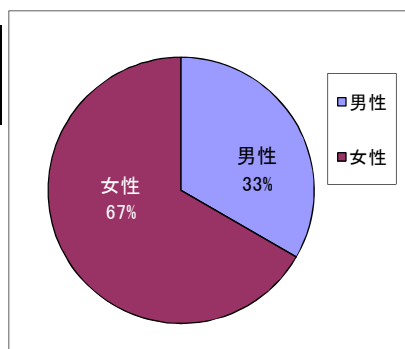
(自：平成 26 年 4 月 1 日 ～ 至：平成 27 年 3 月 31 日)

平成26年度小規模多機能ホームぬくもりの家えん実態報告書

(調査対象期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日迄)

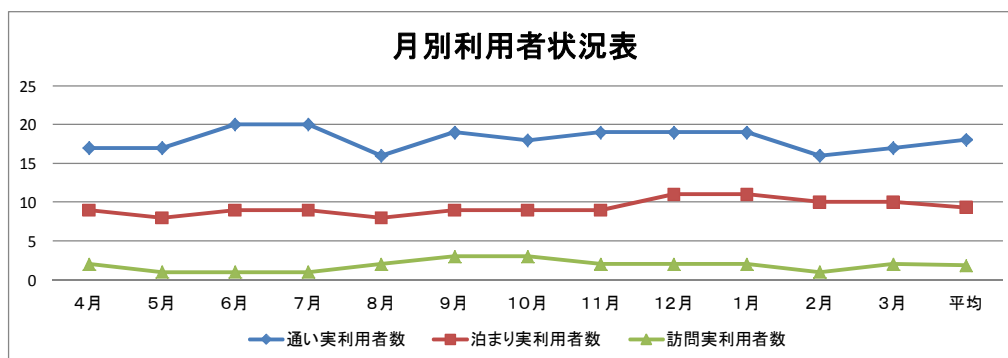
1. 利用登録者

男性	女性	合計
9	18	27



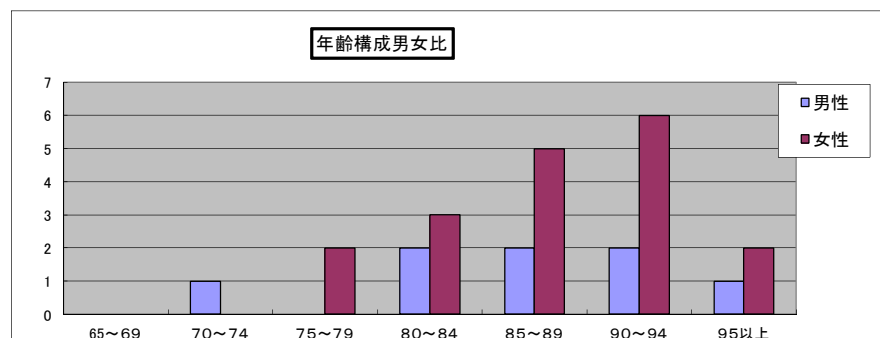
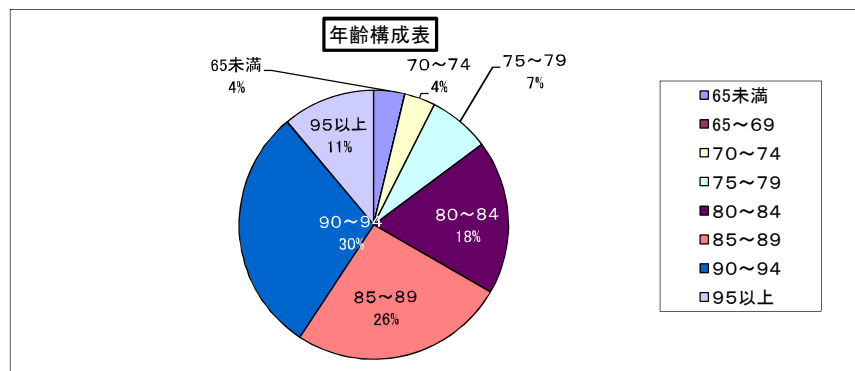
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	休止者	停止者
4月	17	9	2	1	0	1
5月	17	8	1	2	0	1
6月	20	9	1	1	0	1
7月	20	9	1	5	0	4
8月	16	8	2	0	0	1
9月	19	9	3	0	0	1
10月	18	9	3	1	0	1
11月	19	9	2	3	0	1
12月	19	11	2	1	0	1
1月	19	11	2	1	0	3
2月	16	10	1	1	0	0
3月	17	10	2	0	0	1
平均	18	9	2	1	0	1



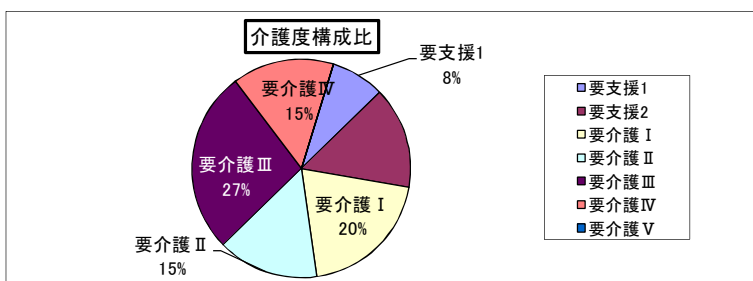
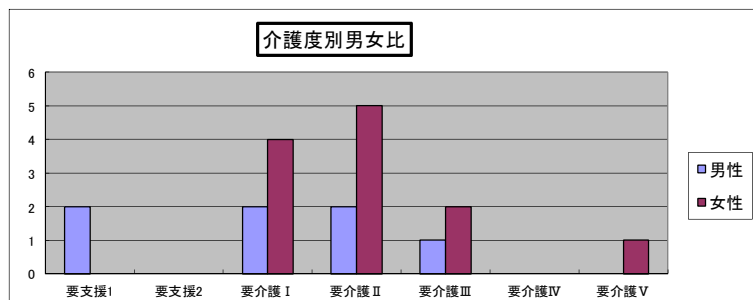
3. 年齢

	男性	女性	合計
65未満	1	0	1
65～69	0	0	0
70～74	1	0	1
75～79	0	2	2
80～84	2	3	5
85～89	2	5	7
90～94	2	6	8
95以上	1	2	3
合計	9	18	27
平均年齢	80.6	87.5	85.9
最高年齢	98	100	
最低年齢	59	79	



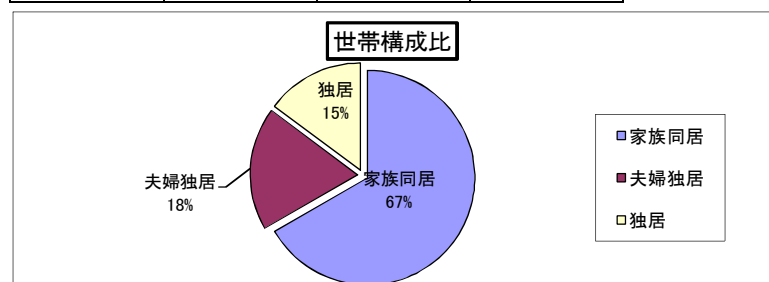
4. 要介護度別

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	2	2	8%
要支援2	0	0	0	15%
要介護Ⅰ	3	6	9	20%
要介護Ⅱ	3	5	8	15%
要介護Ⅲ	2	3	5	27%
要介護Ⅳ	1	1	2	15%
要介護Ⅴ	0	1	1	0%
合計	9	18	27	100%



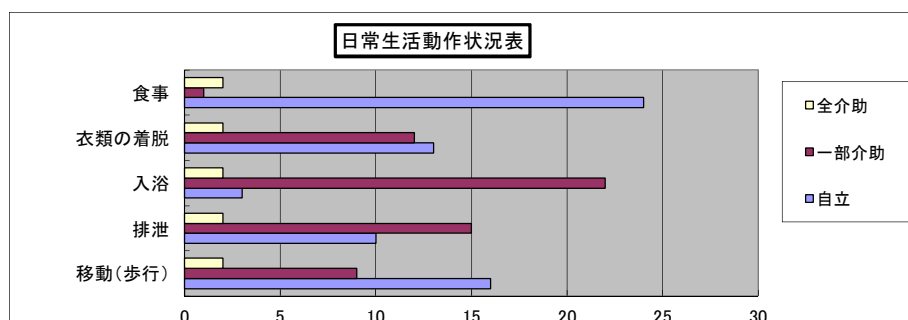
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
18	5	4	27



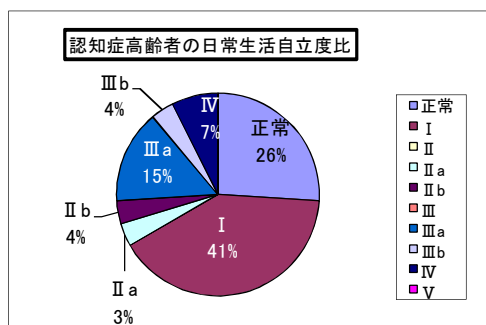
6. ADL(日常生活動作)状況

	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	16	9	2	27
排泄	10	15	2	27
入浴	3	22	2	27
衣類の着脱	13	12	2	27
食事	24	1	2	27



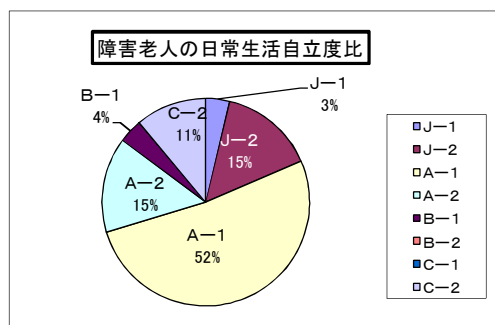
7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	7
I	11
II	0
II a	1
II b	1
III	0
III a	4
III b	1
IV	2
V	0
合計	27



8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	1
J-2	4
A-1	14
A-2	4
B-1	1
B-2	0
C-1	0
C-2	3
合計	27



9. 事故状況

内容	件数
転倒	14
転落	9
傷・内出血	12
かき傷	0
裂傷	0
未投薬	21
行方不明	0
その他	0
合計	56

